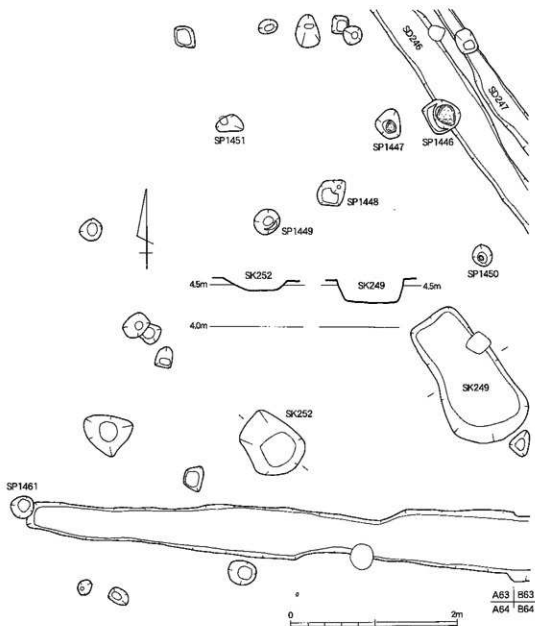


第330図 SK228・243出土遺物実測図

第5節 包含層の遺物

包含層出土の土師器・陶磁器等

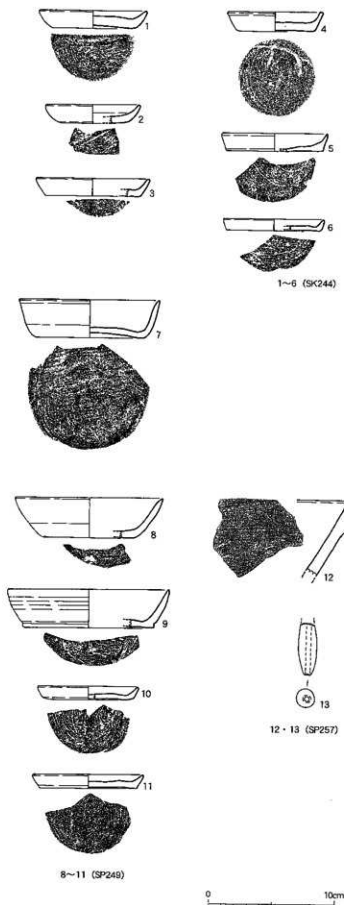
(第374図1~14) 1はT60区出土の土師器皿である。体部下部から外湾気味に反り返り、口径13.0cm、底径8.2cm、器高3.9cm。見込みには指なで痕がある。淡茶褐色を呈する。2もT60区出土で、常滑焼の甕である。3はT・U・V60区付近採集の棒状土師質製品である。4はV60区出土の瓦質土器で胴下部に型押し成形による亀甲紋が前面に着いている。内面は指なで、指押さえ痕が残る。淡灰色を呈する。5は安山岩製の下臼で、側面はのみで縦方向に刻んでいる。下部の直径は31.0cm(図は実物の1/4)。6・7・9はW61区出土。6は備前焼の甕口縁部である。7は瓦質土器の銅で、胴内面調整は板なで、外面と口縁部はなで。9は土師器皿の底部である。底径6.0cm。10・11はW64区出土の土師質土鍾である。8はW63区出土の瓦質土器の鉢で、にぶい橙色を呈する。



第331図 SK249・252と周辺実測図

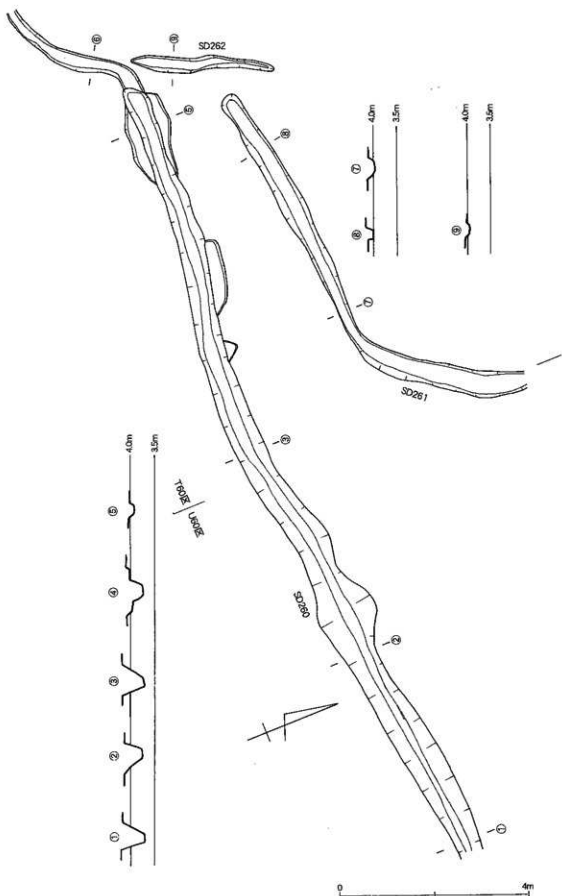
12は口径12.2戦地底、底径8.5cm、器高4.5cm。胎土内に赤茶色の軟らかい粒が多い。13は内面にロクロ目を残す在地系土師器である。口径11.9cm、底径6.8cm、器高う2.7cm。橙褐色を呈する。14は青磁碗である。高台の突出部から内側は露胎で、色調は灰オリーブ色を呈する。

(第375図1~14) 1はX61区出土の内面にロクロ目のある在地系土師器である。口径10.0cm、底径5.8cm、器高2.2cm。2はX62区出土の土師器で口縁端部が細まりながら外湾するもの。口径12.4cm、底径7.7cm、器高4.0cm。14世紀中葉に属す遺物である。3はX63区出土の土師器で、口径11.1cm、底径7.4cm、器高3.4cm。にぶい黄橙色。4はX63区出土の内面にロクロ目を残す在地系土師器で、口径8.3cm、底径5.3cm、器高2.1cm。にぶい黄橙色。5は1期あるいは2期の京都系土師器である。口径13.4cm、器高2.1cm。灰黄色を呈する。6はX63区出土の3期の京都系土師器で、口径9.0cm、器高2.0cm。茶褐色を呈する。

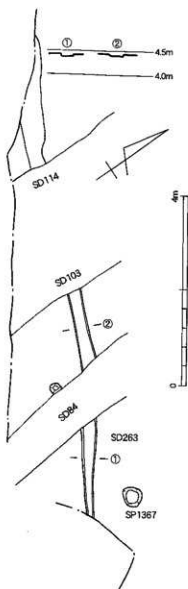


第332図 SK244~257出土遺物実測図

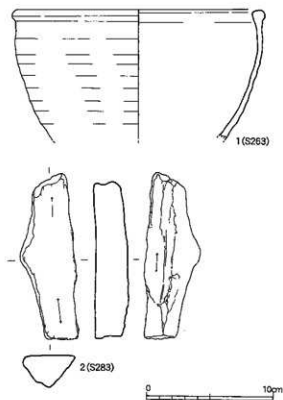
7はX61区出土の瓦質土器鉢で、口径33.0cm、底径18.2cm、器高12.4cmである。器面調整は外面はへら削り、口縁部周辺から内面はなで調整。8はX61区出土の3期の京都系土師器である。口径13.4cm、器高2.4cm。淡黄灰色。9はX61区出土の土師質土器蓋で、黄褐色を呈する。口径6.2cm、器高4.3cm。10はX62区出土の備前焼甕である。口縁部は短く折り返して丸く収める。中世4期（15世紀前葉～15世紀第2四半期の遺物である。11はX62区出土で、中世5期の備前焼権鉢である。12はX62区出土の軒先丸瓦で、現存長は7.6cm×7.0cm。13はX62区出土の上師質土鉢。14はX62区採集の青銅製の環状製品である。直径2.8cm、厚さ4mm、重さ7.1gである。15はX62区出土の弥生土器甕の底部である。底径5.5cm。16はX62区出土の弥生時代高坏である。脚部の直径は5.2cm。17はX62区出土の青磁碗で、見込みに花紋の刻印がある。破片を円形状に加工しており、直径3.7cm×3.2cm、底径5.2cm。18はX63区出土の中国景徳鎮窯系の青花皿B群で、口径10.0cm。19はX63区出土の景徳鎮窯系の青花皿。20はX64区出土の華南三彩製品で、内面には指で押さえた跡が残る。釉の色調はオリープ灰色、茶褐色を呈する。20-2はX64区出土の華南三彩。壺の頸部破片で、釉は明緑色を呈する。21はX64区出土の瓦質土器鍋の底部付近である。外面には髷の叩き目がつく。暗褐色。22はX64区出土の内面にロクロ目の残る土師器で、口径8.2cm、底径4.5cm、器高1.6cmである。口縁部に煤が付着しているので灯明皿として使われたことが分かる。



第333图 SD260~262实测图



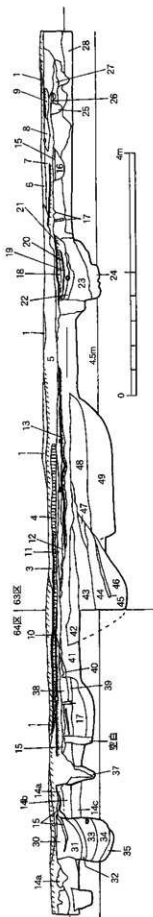
第334図 SD263実測図



第335図 SD263・283出土遺物実測図

23はX64区出土の京都系土器の小皿である。口径4.3cm、器高1.2cm、24はX64区出土の備前段甕である。25はX64区出土の古代の須恵器高坏である。26・27・28はX63区出土の土師質の土鏝である。29はX64区出土の播鉢で内面に交叉した摺り目をもつ、備前焼か、淡灰色を呈する。30はX64区出土の古墳時代土師器高坏である。31～33はX64区出土の土師質土鏝である。

(第376図 Y63区出土遺物実測図1～8) 1～8はY63区から出土した。1は砥石で、両面は使用によって窪んでいる。長さ9.8cm、幅4.6cm、最大の厚さ1.9cm、重さ104.1gである。2も砥石で一端を欠損する。両面を使用し、長さ17.2cm、幅5.4cm、最大の厚さ2.0cm、重さ289.7gである。3は安山岩製の下白破片で、現状の高さは10.4cm、4は砥石で、表面全体を使用している。長さ5.6cm、幅3.3cm、厚さ1.1cm、

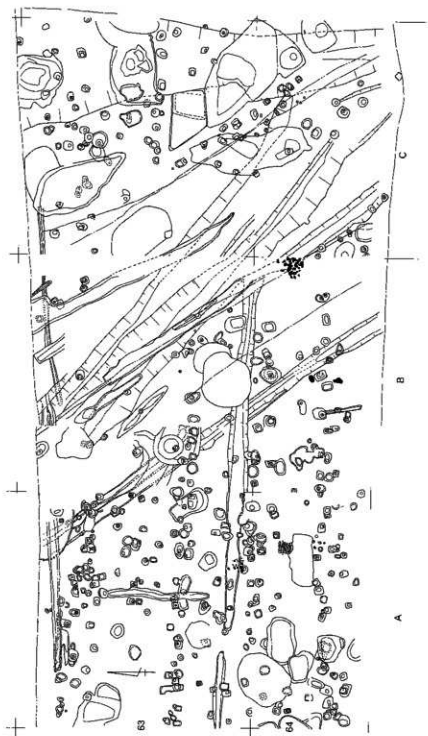


第336図 C区西壁図

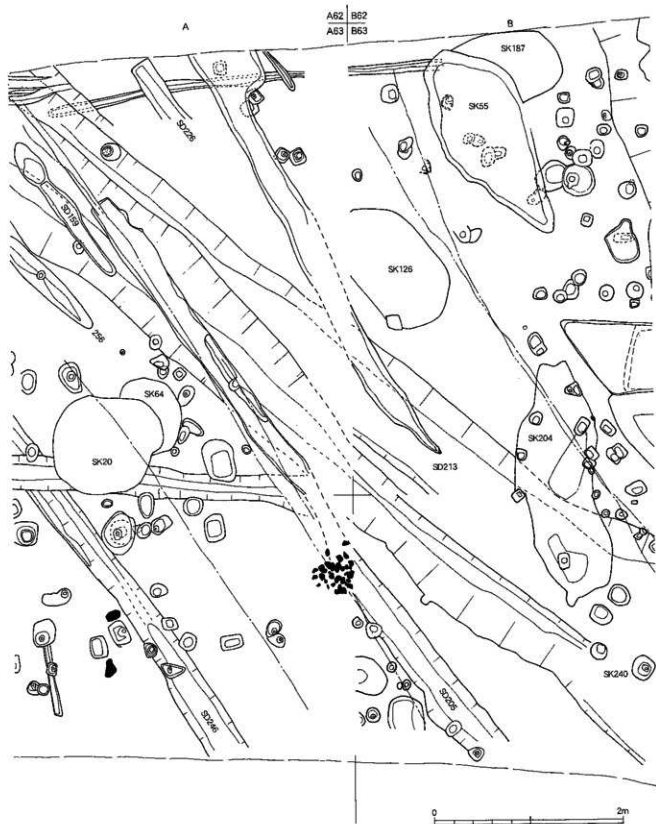
重さ35.4gである。5は青銅製の刀子破片である。長さ4.6cm、幅1.3cm、厚さ4mm、重さ6.4gである。6・7は緑色のガラス玉。6は直径4.5mm、厚さ5.5mm、7は直径5mm、厚さ3mm、8は最初の検出面から5cm下の面出土した緑色のガラスで、平面は円形、片側が盛り上がり、表面の中心を貫いて溝状に窪んでいる。平坦な面には接着痕らしきものがあるので、指輪等に使われたものか。

(第377図1~25) 1~25はY63区から出土した。1は在地系土師器の底部を円形に加工したものである。長さ5.6cm×5.7cm、底径5.5cm。2は3期の京都系土師器の灯明皿である。口径10.4cm、器高1.9cm、淡黄色を呈する。3は中国景德鎮窯系の白磁皿である。口径12.4cm。4は3期の京都系土師器で、口径12.2cm、器高2.9cm、淡灰茶色。5は3期の京都系土師器で、口径9.8cm、器高2.0cm、暗灰色を呈する。6は3期の京都系土師器の灯明皿である。口径12.9cm、器高2.7cm、淡明褐色を呈する。7は3期の京都系土師器である。口径108.4cm、淡黄色を呈する。8は3期の京都系土師器である。口径10.0cm、器高2.3cm。淡灰茶色を呈する。9は3期の京都系土師器の灯明皿である。口径9.0cm、器高2.0cm、淡黄色を呈する。10は3期の京都系土師器である。口径9.0cm、器高1.9cm、淡黄色を呈する。11は3期の京都系土師器である。口径8.9cm、器高1.9cm、淡明黄色を呈する。12は瀬戸美濃製の天目碗で、底径4.2cm。13は中国龍泉窯系青磁底部で、見込み中央部は露胎。底径6.0cm。14は中国漳州窯系の青花皿で、口径13.6cm、底径7.5cm、器高2.8cmである。15は景德鎮窯系の五彩碗で染付けの色は青に加えにぶい赤茶色と黄土色がある。口径12.0cm。16は景德鎮窯系の青花碗底部である。畳付だけが露胎で、砂が付着している。17は、州窯系の青花碗で底径4.9cm。畳付だけが露胎である。18は瓦質土器の浅鉢で口径31.0cm、器高9.8cmである。器面調整はなで。19は瓦質土器の甕で、胎土に5~7mm大の石英を少量含む。口径36.0cm。淡灰色を呈する。20・21・25は土師質土器で、21は長さ4.3cm、幅2.5cm、重さ21.5gである。22~23は土師質土器片を円形に加工したもの。

(第378図1~21) 1は内面にロクロ目を残す在地系土師器で口径10.0cm、底径5.6cm、器高2.3cmである。胎土に阿他茶色粒を含む。2は2期あるいは3期の京都系土師器である。口径14.5cm、器高2.4cm、淡期灰色。3は3期の京都系土師器の灯明皿で、口径12.4cm、器高2.9cm、暗茶褐色。4は3期の京都系土師器で、口径9.0cm、器高1.9cm、淡茶色。5は土師質土器片を円形に加工したもの。6・7・8は土師質土器。9は景德鎮窯系の青花皿である。口径10.0cm、10は景德鎮窯系のB群の青花皿である。畳付だけが露胎。口径9.4cm、底径5.4cm、器高2.0cm。11は景德鎮窯系の青花碗である。底径7.5cm。

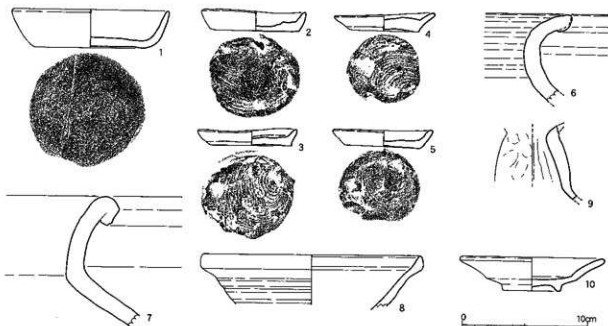


第337圖 A・B區遺構重複狀況

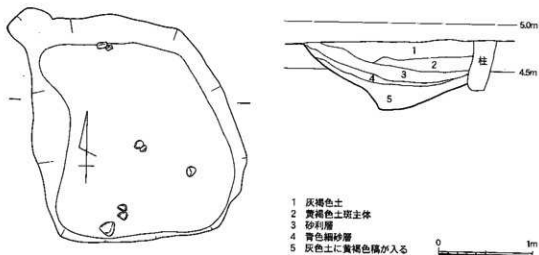


第338图 A·B63-64区遺構重複状況

12は漳州窯系の青花碗で、底径4.4cm。13は景德鎮窯系の青花碗である。14は龍泉窯系の青磁碗で沈線による連便紋をもつ。16世紀中頃前後の遺物である。15は華南三彩の置物で、中央部で型合わせたもの、底部は六角形。釉は黄緑と緑を使っている。高さ5.4cm、底径4.8cmである。16はロクロで作った華南三彩である。釉は緑色。17はロクロ仕上げの華南三彩の小壺で、口径4.0cm。内部は口縁部以外露胎である。釉は緑色。18は結晶片岩製の砥石破片である。現存部の長さは9.8cm、幅は5.2cm、重さは319.4gである。19は緑色のガラス玉破片である。縦7.5mm、横8mm、厚さ7mm、重さ1.2gである。



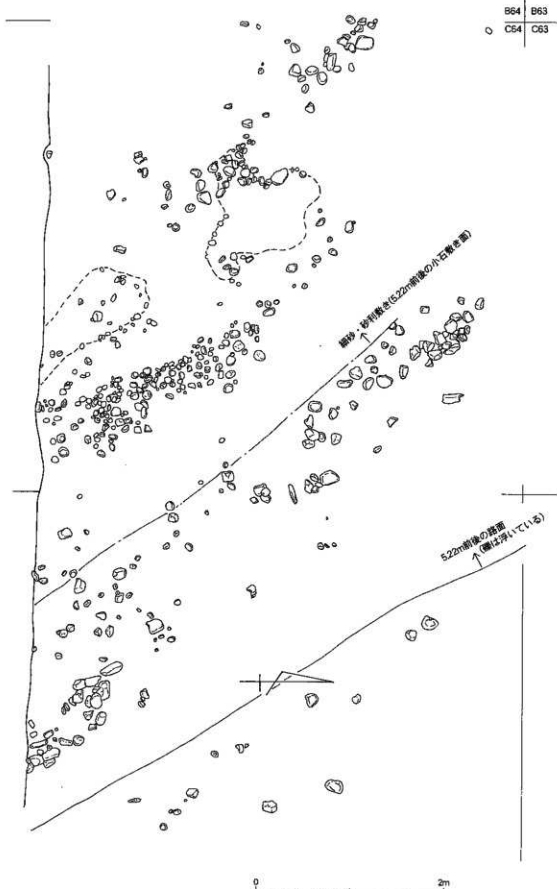
第339図 SD213出土遺物実測図



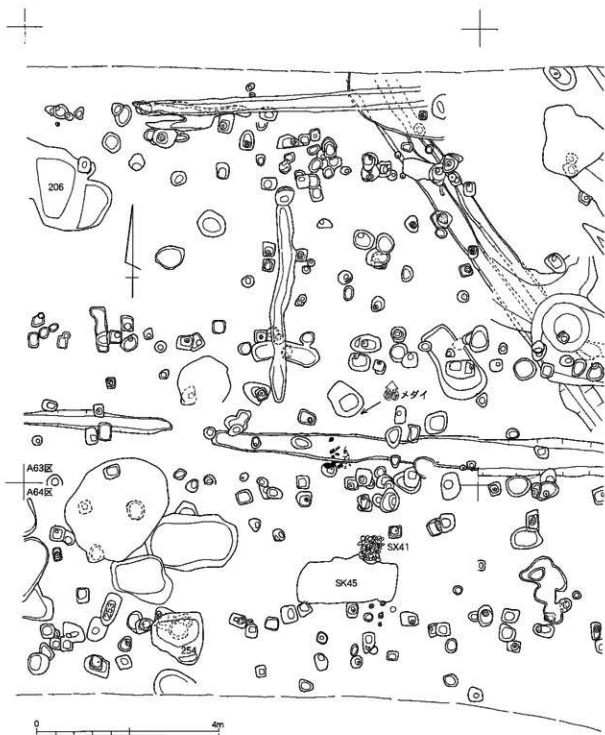
- 1 灰褐色土
- 2 黄褐色土斑主体
- 3 砂利層
- 4 青色細砂層
- 5 灰色土に黄褐色腐が入る

第340図 SK216層序図

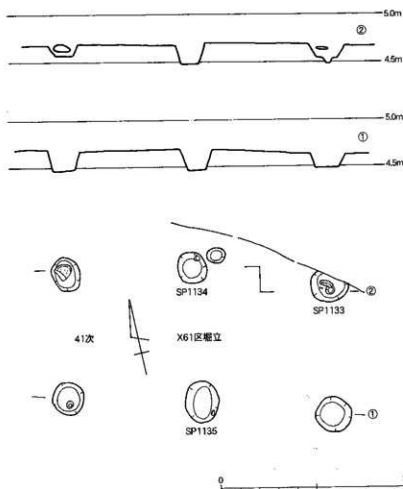
B54 B63
C54 C63



第341-1図



第341-2図 A63-64区の遺構重複状況



第342図 SB1実測図

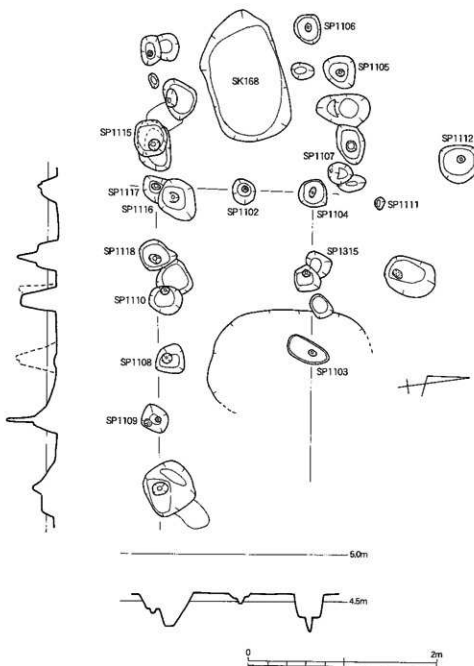
20は弥生時代の高坏脚部。21は青銅製の煙管煙首である。頭の直径は1.4cm。22は弥生土器壺である。外面はヘラ磨きしている。底径5.8cm。

(第379図1~5) 1は土師器坏で口径12.0cm、底径9.8cm、器高3.3cmである。淡茶褐色を呈する。2は中世5期の備前焼甕である。口縁部は粘土帯をやや長めに折り返し、外側に玉縁状をなす。3は中世6期の備前焼櫛鉢である。口径31.2cm。4は土師質土器片を円形に加工したもの。5は青銅製の刀子である。

(第380図1~23)

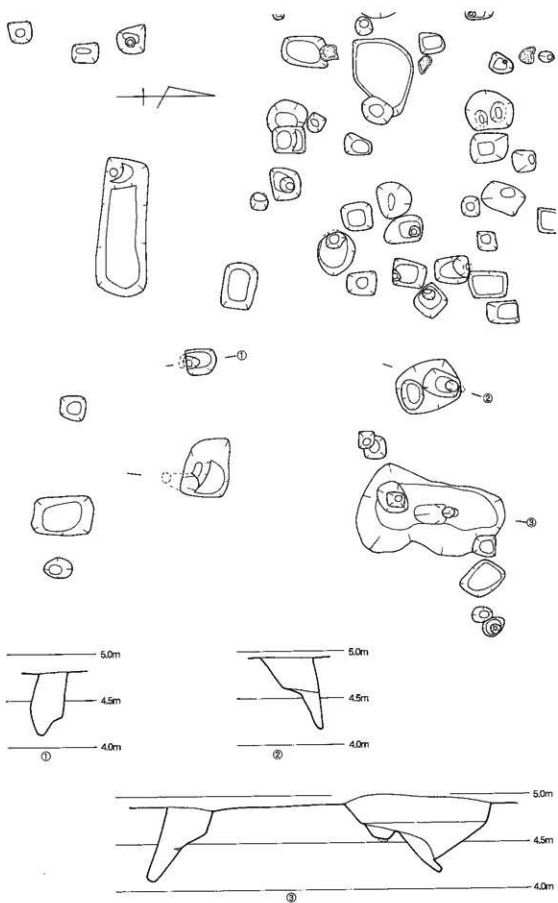
1~23はX64区から

出土した。1は内面にロクロ目を残す在地系土師器で、口径12.0cm底径7.8cm、器高2.3cmである。明黄褐色を呈する。2~5は3期の京都系土師器で口径12.6cm、器高2.4cmである。淡黄色。3は口径12.0cm、淡黄灰色。4は口径9.3cm、器高1.9cm、橙褐色。5は口径10.9cm、器高2.1cm、淡黄色。6は中国 州窯系の青花碗である。口径12.0cm、底径3.4cm、器高5.7cm。壺付から高台内側は露胎で、高台に囲まれた部分は施釉している。7は 州窯系青花皿である。口径10.9cm。8は白磁で、高台内側と壺付は露胎である。底径5.0cm。9は白磁碗片を円形に加工したもの。底径4.0cm。10は白磁の蓋である。放射状に沈線紋を施している。口径6.6cm。11は景德鎮窯系の青花碗である。高台部はないが顕頭芯碗である。12は華南三彩鳥形水注の背中部分である。胎は黄色と薄緑色である。13は中国製陶器鉢である。櫛描きによる波状文部は茶色に彩色されている。色調は暗赤褐色を呈する。14は平瓦片を打ち割って円形に加工したもの。縦横は5.3cm×5.0cm、厚さ1.9cm、重さ58.1gである。15~20は土師質の土鉢。15~17は細身で、18~20は太い。21は青銅の鎌(はばき)である。長さは3.6cm、厚さは1.0cmである。22は青銅製品。長さ6.1cm、厚さは3mmから5mm、重さは87gである。23は厚さ2mm、長さ3.7cm、重さ2.4gの青銅製品で、鍋か。24は瓦質土器火鉢の脚部である。



第343図 SB2実測図

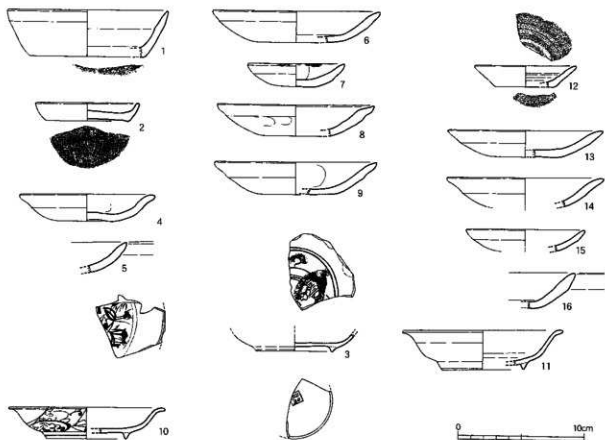
(第381図1~30) 1~30はZ63区から出土した。1~8は3期の京都系土師器である。口径・器高は次のとおりである。1 (14.5cm・3.0cm)、2 (10.7cm・2.5cm)、3 (12.4cm・-)、4 (8.9cm・2.1cm) 5 (11.8cm・2.2cm)、6 (12.2cm・4.0cm)、7 (8.1cm・1.9cm)、8 (5.0cm・1.9cm)。9は土師質土器碗片を円形の加工している。底径4.5cm。10は景徳鎮窯系青花皿で、底径5.5cm。畳付部分のみが露胎。11は漳州窯系青花碗で、底径6.2cm。畳付から内側全体が露胎。12は_州窯系の青花碗で、畳付は砂付着、全体に施有している。底径6.7cm。13は景徳鎮窯系青花碗である。14は備前焼徳利である。口径5.6cm。15・16は華南三彩の菊花皿。二次的板熱によるものか釉は赤茶色の潤色を呈する。青色の他、赤茶色、灰色を



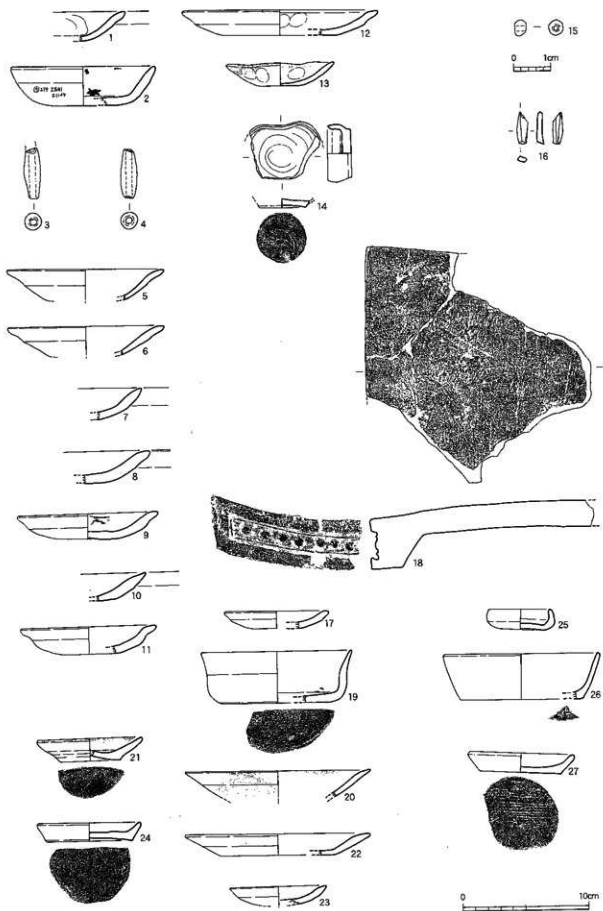
第344图 SB3实测图

施している。17は五彩皿である。青色・赤茶色・灰緑色で施紋している。18は青磁碗である。内面下部は軸がない。口径16.6cm。19は白磁皿である。見込み、高台及び内側は露胎である。口径13.4cm、底径7.2cm、器高2.4cm。20は同じく白磁皿で露胎の特徴も19と類似する。口径12.4cm、底径3cm、器高2.1cmである。21は龍泉窯系青磁碗である。色調は白に近い白青で、壺付から内側は露胎。見込みにも蛇の目状雜刺ぎがある。口径13.2cm、底径5.7cm、器高5.3cm。22は中国製黒釉陶器皿である。内面は暗褐色、外面全体が露胎である。口径9.4cm、底径4.0cm、器高2.3cmである。23は瓦質土器の脚部。24は土師質土器片加工品。25は和泉砂岩製の上臼である。直径19.4cm。26は凝灰岩製の下臼である。27～30は土師質土器片を加工したもの。

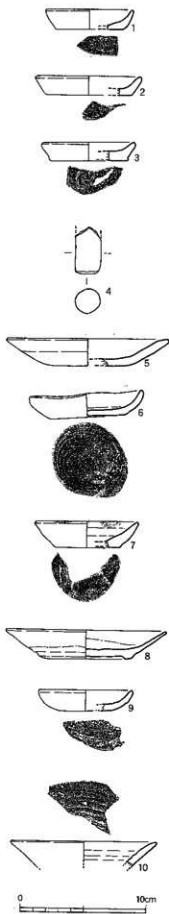
(第382図1～16) 1～16はZ63区から出土した。1は鉄製の柄杓で持ち手を欠損する。全体の長さは9.1cm、器部分の口径は8.8cm。2は青銅製の鏝あるいは鈔のような品物である。薄い板が二枚くっついた状態で、一枚には表面の中央部に帯びが廻る。全体の長さは5.1cm、厚さ1mm、重さ13.3gである。3は青銅製の刀子。で、長さ10.1cm、幅1.4cm、厚さ4mm、重さ24.0gである。4は埴瓦。内側には布目と組圧痕がつく。5～9は軽い土師質土鉢、10～14は太い土師質土鉢である。15は椀の頂上に用いる雁振瓦である。胎土に石英・角閃石を少量含む。内側には紐で粘土塊から波がした際のこびき痕が残る。厚



第345図 SP1019～1088出土遺物実測図



第346图 SP1115~1260出土遺物実測図

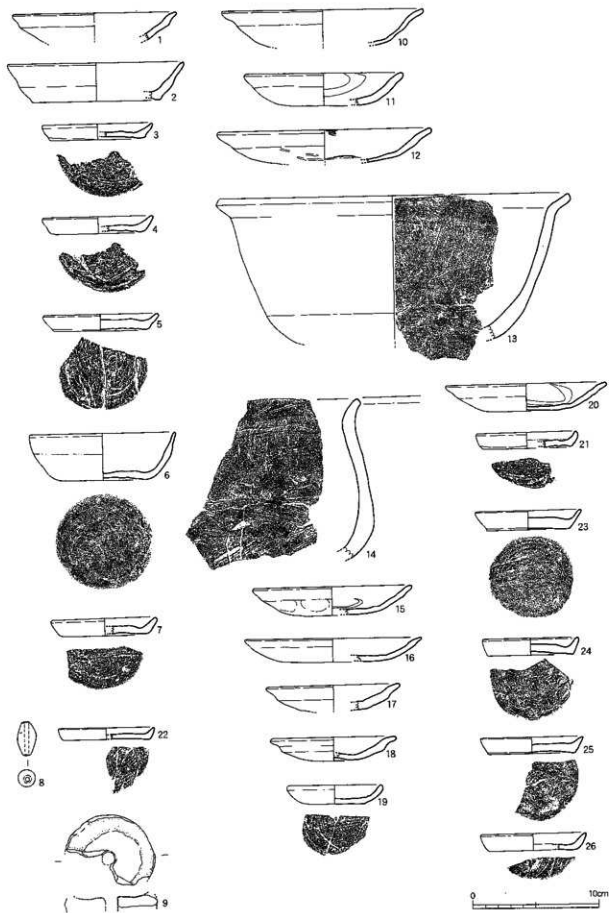


第347図 SP1262~1313
出土遺物実測図

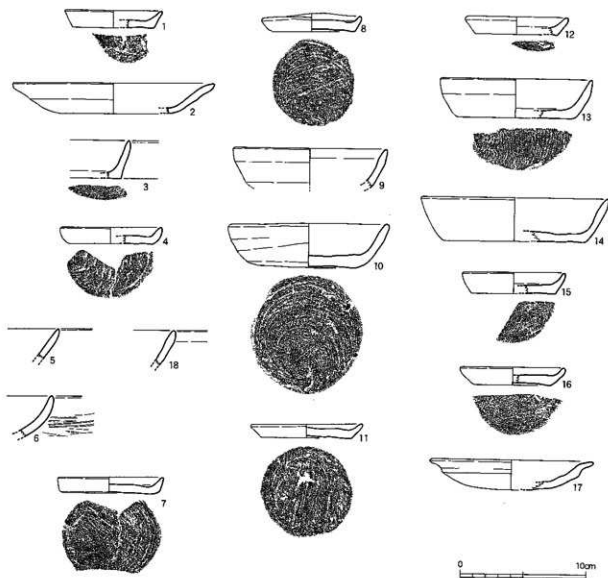
さは1.7cm, 16は瓦同様の焼成で、床に敷く埴である。厚さは3.1cm。胎土に石英を少量含む。

(第383図1~28) 1~29はA63区から出土した。1・2は内面にロクロ目を残す在地系土師器である。1は体部の傾きが強く、その分、底部との境界が目立たないので、京都系土師器を模倣したとみられる。口径13.0cm、底径6.9cm、器高2.3cm。色調は淡褐色を呈する。2は小皿である。口径8.0cm、底径4.2cm、器高1.9cm。橙褐色。3~7・15・16は2期頃の京都系土師器である。口径・器高は次のとおりである。3 (16.8cm・2.2cm)、4 (13.6cm・2.4cm)、5 (3cm・2.1cm)、6 (13.2cm・2.6cm)、7 (12.8cm・2.0cm)、15 (10.3cm・2.8cm)、16 (8.5cm・1.7cm)。9~11・18は京都系土師器の小皿である。口径・器高は次のとおりである。9 (4.5cm・1.5cm)、10 (4.7cm・1.5cm)、11 (4.1cm・1.5cm)、18 (4.7cm+αcm・1.9cm)。8・12~17は3期の京都系土師器である。口径・器高は次のとおりである。12 (11.7cm・3.6cm)、13 (—・4.5cm)、14 (10.3cm・2.8cm)、15 (10.3cm・2.8cm)、16 (8.5cm・1.7cm)、17は (8.7cm・2.0cm)。19は州窯系系の青花碗で、色調は浅黄色を呈する。20は肥前系陶器の清緑皿である。1640年頃の遺物である。内面には自然釉が掛かる。色調は灰黄色である。21は初期伊万里の染付け碗である。畳付部は露胎で、他は施釉されている。底径4.6cm。22~26は景徳鎮窯系の青花である。22は口径12.0cmの碗。23は口径12.6cm、底径7.4cm、器高2.7cmのB群の皿である。畳付から内側は露胎。24は口径13.4cmの碗。25は口径13.4cm、底径5.6cm、器高6.0cmの碗である。26はC群の碗で底径5.2cm。畳付と高台内側下部は露胎。27は州窯系の青花碗で、底径は5.8cm。畳付だけは露胎である。28は白磁皿である。内面はオリーブ灰色、外面は灰白色。口径14.4cm、底径7.4cm、器高2.8cmで、畳付だけは露胎である。

(第384図1~25) 1~25はA63区から出土した。1は中国製の白磁皿で、口径13.4cm、底径7.8cm、器高2.0cmである。2は青磁碗である。高台の内側には鉄釉による二重の圈線がつく。底径6.4cm。3は青花碗である。底径6.4cm。4・5は同一個体片で、朝鮮陶器の皿である。紋様は表面に白い土置いて描いている。高台は削りだして、底径4.8cm。色調は灰赤褐色である。6は華南三彩で内面にも優雅かかる。外面は緑色を呈する。7は華南三彩彫形水注の蓋である。暗緑色の釉が掛かる。直径4.0cm。8は青磁碗で、色調はオリーブ黄色である。口径は12.8cm。9は口径12.4戦地の青磁碗で、色調は明緑灰色である。10は朝鮮陶器碗である。灰色から黄灰色を呈している。11は青磁碗である。見込み中央部に漢字の刻印がある。底径は5.0cm。12は瓦質土器の鉢である。器面は外面が刷毛目、口縁部と内面がなで調整である。13は瓦質土器の鉢である。器面調整は外面がヘラ削りの後、ヘラ磨き、内面がなでの後にヘラ磨きである。口径は30.0cm、底径は17.0cm、器高10.5cm。14・15は土師質の土鉢である。16~18は土師質土器の破片を円形に加工したものである。18は中央に穴があり、紡錘車である。19は青銅製品で、性格不詳。20は青銅の煙管葎首である。21は青銅製の柄杓である。全長5.3cm。容



第348图 SP1324~1403出土物实测图



第349図 SP1408～1832出土遺物実測図

器部分の直径は4.4cm、深さは2.0cm。22は青銅製の刀子。23は鉄製の棒状製品である。全長の2/3ほどはネジ巻いており、一旦は尖っている。火箸であろう。長さ20.2cm、厚さ4mm、重さ20.8gである。24は古墳時代の小型丸底甕で、最大径は8.6cm、25は弥生時代の甕底部である。底径8.4cm。

(第385図1～6) 1～6はA63区から出土した。1は赤間石類似の石材で、性格不詳製品である。図の平面は磨かれ、平面図上端は切断されている。硯か何かを製作する途中に出た廃棄物かも知れない。長さ10.7cm、幅2.7cm、重さ77.4gである。2は結晶片岩製の砥石である。長い部分はすべて作業面として使われている。長さは21.4cm、厚さは6.2cm、重さは814.8gである。3は石材不詳の砥石で、長さ4.5cm、4は褐色の石材で硯の破片であろう。表面は磨かれている。長さ5.2cm、幅2.2cm、重さ9.2gである。5・6は白色のガラス玉である。5は直径5mm、厚さ4mm、6は直径4mm、厚さ2mmである。



4~7(A区東壁2層出土)

第350~353図 銭貨拓影

(第386図1~22) 1~22はA64区から出土した。1・2は内面にロクロ目を残し、体部が強く傾く土師器である。底部は糸切り彫しであるがなで消されており、京都系土師器を模倣したものであろう。どちらも橙色である。1は口径13.1cm、底径6.9cm、器高3.0cm、2は口径11.8cm、底径6.3cm、器高2.8cmである。3は土師器小皿である。口径8.4cm、底径4.4cm、器高2.2cm、淡橙灰色である。4~9は3期の京都系土師器灯明皿である。口径・器高・色調は次のとおりである。4 (8.6cm・器高2.0cm・淡灰白色)、5 (12.5cm・2.5cm・淡灰色)、6 (12.2cm・2.4cm・淡灰橙色)、7 (10.9cm・2.4cm・淡灰褐色)、8 (8.7

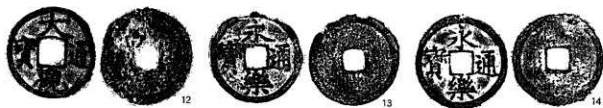


W61区

X62区

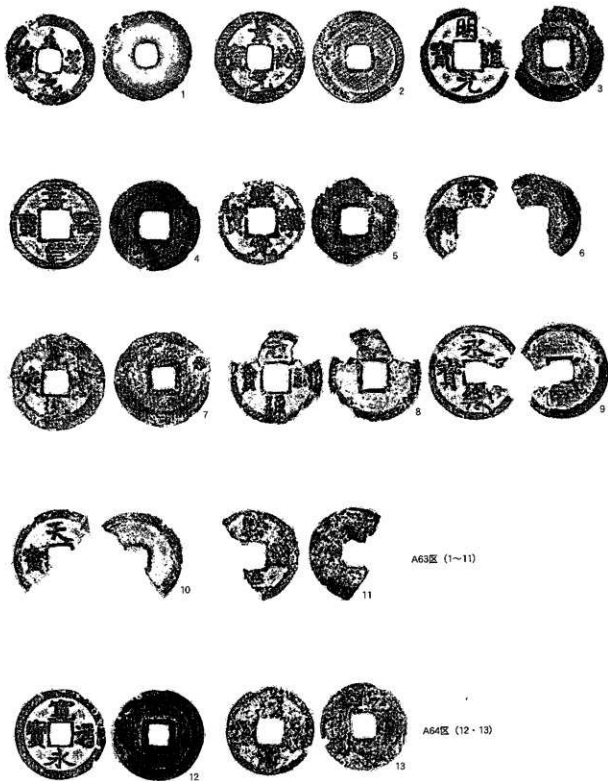


Y64区 (3~4)



Z64区 (6~15)

第354~357图 W61~Z64区出土钱拓影



第358・359圖 A63区出土錢貨拓影

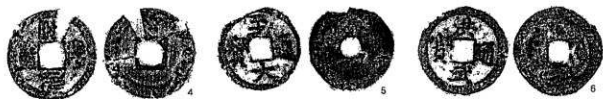
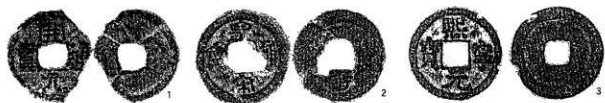


Y63区 (1~5)

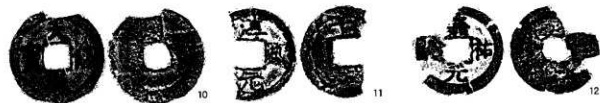


Z63区 (6~15)

第360・361图 Y63・Z63区出土钱货拓影



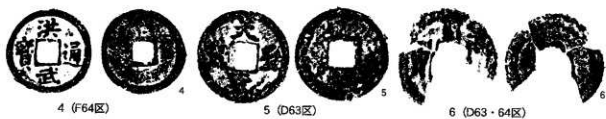
B63区 (1~9)



C63区 (10~14)



1~3 (F63区)



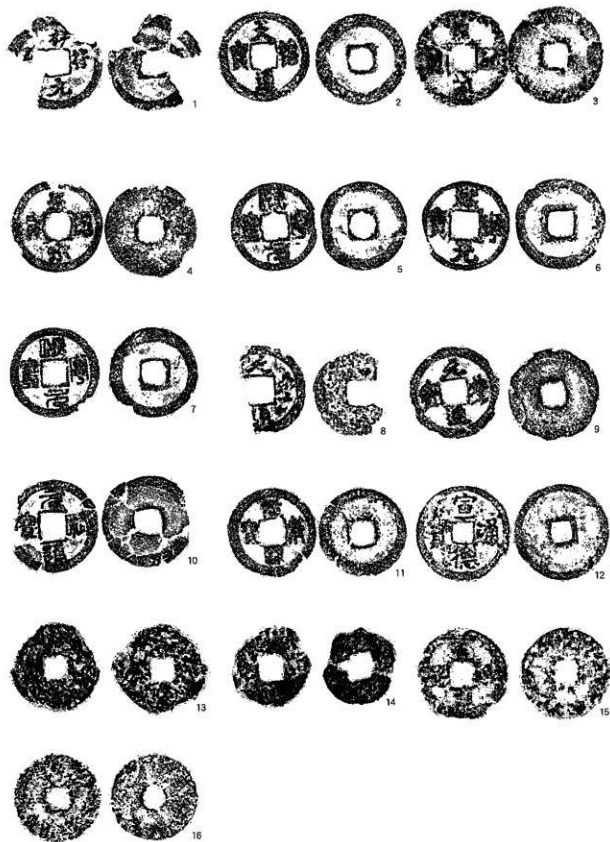
4 (F64区)

5 (D63区)

6 (D63·64区)



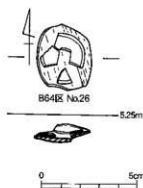
7~9 (E63区)



第369图 B64区出土钱拓影



第371図 C64区出土銭貨拓影

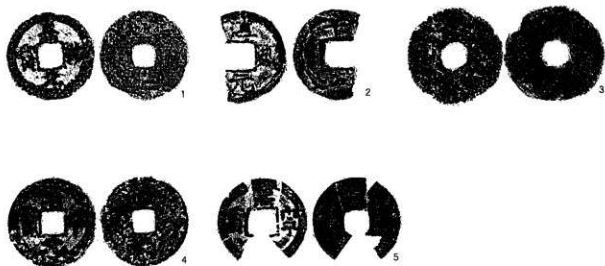


第370図B64区銭貨出土状態実測図

cm・1.8cm・黒褐色)、9 (14.2cm~11.1cm・4.6cm・黄橙色)、10~12は景德鎮窯系の青花である。10は碗で口径11.6cm。11は青花群の皿。口径12.4cm、底径5.4cm、器高3.1cm。畳付のみが露胎である。12は皿。13~15は中国製白磁皿。口径・底径・器高は次のとおりである。13 (12.0cm・6.2cm・2.8cm)、14 (17.0戦地医・8.8cm・3.3cm)、15 (18.0cm・-・-)。16・17・19は華南三彩である。16は鳥形水注で釉は緑色と黄色がある。17は肩押し成形の菊花皿で、畳付と内側少しが露胎で色調は翡翠釉を呈する。底径は3.3cm。19は鳥形水注である。黄色・白色・薄茶色を呈する。18は五彩の鳥形水注である。左側の側面部分の破片。20は増埴で、口径6.1cm、器高3.2cm。21は弥生土器らしき破片を加えたもの。22は凝灰岩製の紡錘車である。直径4.3cm、厚さ1.5cm、重さ13.0g。

(第387図1~21) 1~21はA64区から出土した。1は瓦質土器の鍋で、口縁上部に屈曲がある。蓋を置くためであろう。器面調整はヘラ削りである。口径48.0cm。胎土に石英が多い。2も瓦質土器の鍋である。器面はなで調整している。3は近世1期の備前焼指鉢である。口縁端部が外側に傾き、摺り目は放射状の上から斜行させている。口径32.0cm、底径11.9cm、器高12.2cm。4~14は土師質の土器である。15~20は鉄製品。15は毛抜きで、長さ9.3cm、重さ13.4gである。16は鉄製の平たい製品だが錆で覆われ性格不明である。17は断面が四角の棒状製品で、長さ14.7cm、厚みは4mm、重さは8.5gである。18・19は釘で、断面は四角である。20は折り曲げて環状にしたもので、直径3.2cm、断面は0.5cm~0.1の平たいかたちである。重さは6.0g。21は鉛製の火縄銃弾である。直径1.3cmで重さは4.4gである。

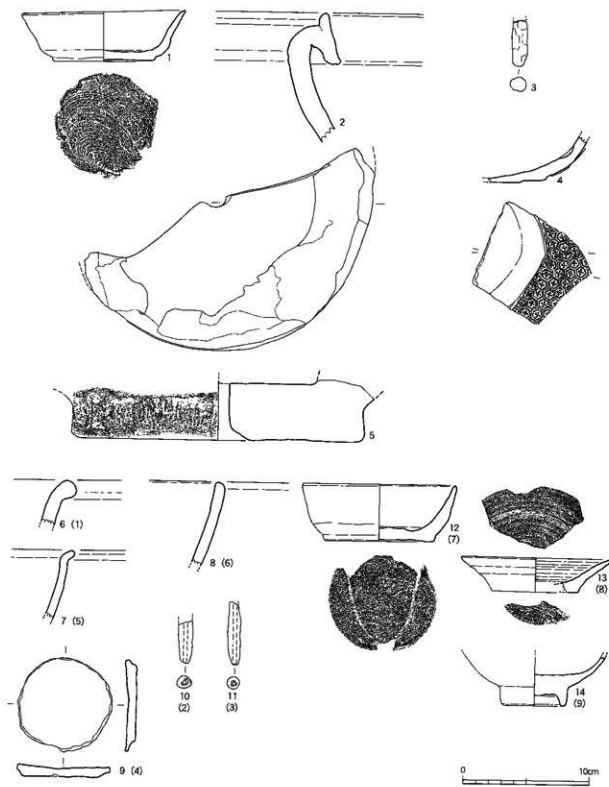
(第388図1~4) 1~4はA区の東端に残した土層観察用土手から出土した。1は2層出土の京都系土師器小皿で、口径5.5cm、器高2.0cmである。2は4層出土で口径5.3cm、器高1.5cmである。3は土層区中のP4とした遺物で、中世6期の備前焼壺である。肩部に指掛き波状文をもち、口径11.8cm、最大径20.8cm。4は9層出土の石製火打ち石である。実測図の中図下面是原石面のままである。4.0cm×3.9cm、厚さは1.4cmで重さは24.5gである。



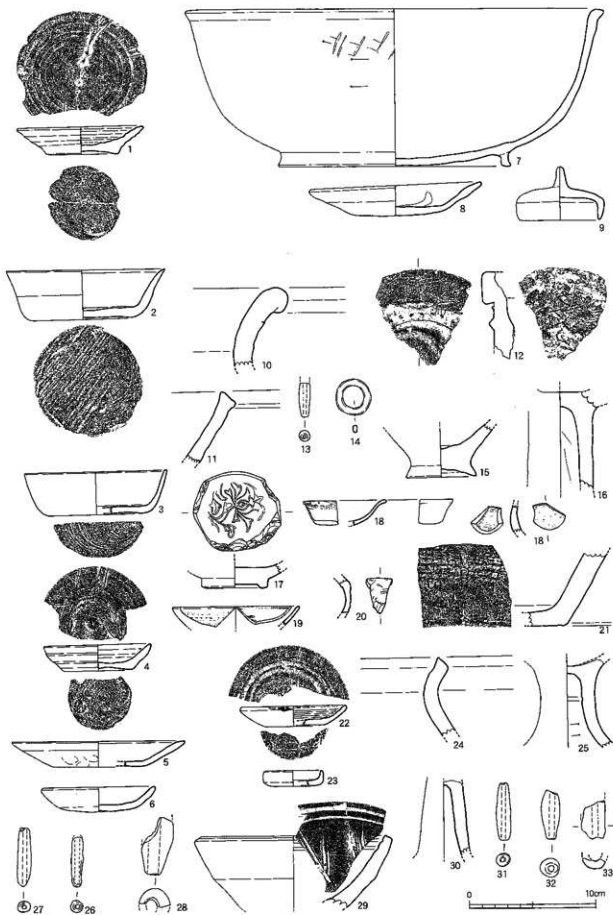
第372・373図 41次調査区一括採上げ銭貨拓影

(第390図1~22) 1~22はB63区から出土した。1~3は在地系土師器である。1は体部が直線的に同じ厚さで外反し、口径12.6cm、底径8.8cm、器高3.2cmである。黄褐色を呈する。2は内面にロクロ目を残すもので、口径9.5cm、底径6.0cm、器高1.7cmである。見込部に不定方向のなで痕がある。黄褐色。3は口径7.0cm、底径6.0cm、器高1.2cm。4・5は2期か3期の京都系土師器である。4は灯明皿として使われ、口径9.0cm、器高2.0cmでやや薄手。黄橙色。5は底部よりも体部が厚い皿で口径12.0cm、器高3.5cmである。暗茶褐色。6は土師質の燗台で、底部が厚い一般的な型である。底径6.3cm。7・8・10は景徳鎮窯系の青花である。7は碗、8も碗で底径5.2cm。疊付は禽胎。10はB群の皿で口径12.8cm、底径6.4cm、器高3.1cm。疊付は露胎。9は濠州窯系の青花碗で疊付は無軸。底径は5.4cmである。11は華南三彩の盤。軸は緑色と黄土色である。12は白磁皿。13は青磁碗の底部を円形に打ち欠いたもの。底径4.6cm。14は白磁皿で、口径16.0cm、底径9.3cm、器高3.8cm。疊付は無軸。15は青磁皿で疊付は無軸。底径は7.2cm。16は白磁碗で底径は5.6cmである。17は青磁碗で色調は灰オリーブ色を呈する。18は中世5期の備前焼甕である。19は中世6期の備前焼摺り鉢である。20は土師質土器片を加工したもの。21は瓦質土器の甕で器面調整はロクロ目による回転なのである。口径20.0cm。22は瓦質土器のなべである。

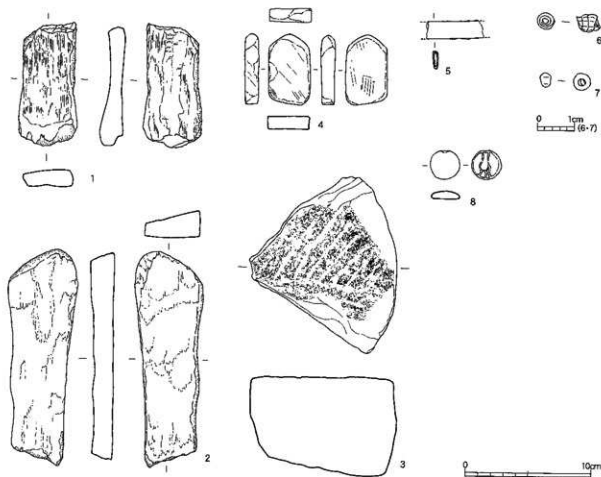
(第390図1~25) 1~25はB63区から出土した。1は大分県杵築市山香町六太郎産の六太郎石製火打ち石である。縦4.7cm、横2.7cm、厚さ1.1cm、重さ19.7gである。2~4は砥石で、2は細かな石質の石材で、稜平坦面を使っている。長さ11.8cm、幅6.5cm、厚さ1.6cm、重さ185.1gである。3は4結晶片岩製で断面は三角形である。両端は磨いている。長さは16.7cm、幅は3.4cm、厚さは1.8cm、重さは159.2gである。4は粘板岩のような石材で図の上部は切断面、株を欠損している。長さ7.6cm、幅3.2cm、厚さ8mm、重さ34.0gである。5は凝灰岩製の紡錘車状せいひんである。縦4.7cm、横3.9cm、重さ7.3gである。6~8は土師質の土鐘である。9は青銅製の分銅で長さ1.2cm、幅8mm、厚さ3mm、重さ1.3gである。10は鉄製釘である。11~25はガラス玉である。全て白色で、直径・厚さは次のとおりである。11 (5mm・5mm)、12 (4.5mm・4.5mm)、13 (4.5mm・5mm)、14 (5mm・3mm)、15 (4mm・3mm)、16 (5mm・4mm)、17 (5mm・3mm)、18 (4mm・4mm)、19 (4.5mm・4mm)、20 (5.5mm・3mm)、21 (5mm・3.5mm)、22 (4.5mm・4mm)、23 (5.5mm・4mm)、24 (5mm・4mm)、25 (4.5mm・3.5mm)。



第374图 T60区·V60区·W61区·W63区·W65区出土器物实测图

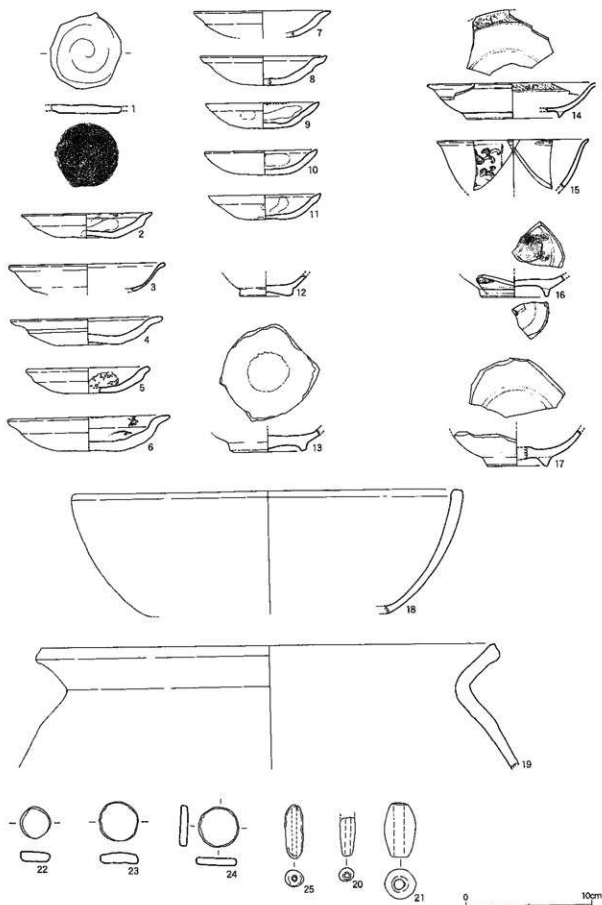


第375图 X61~64区出土遺物実測図

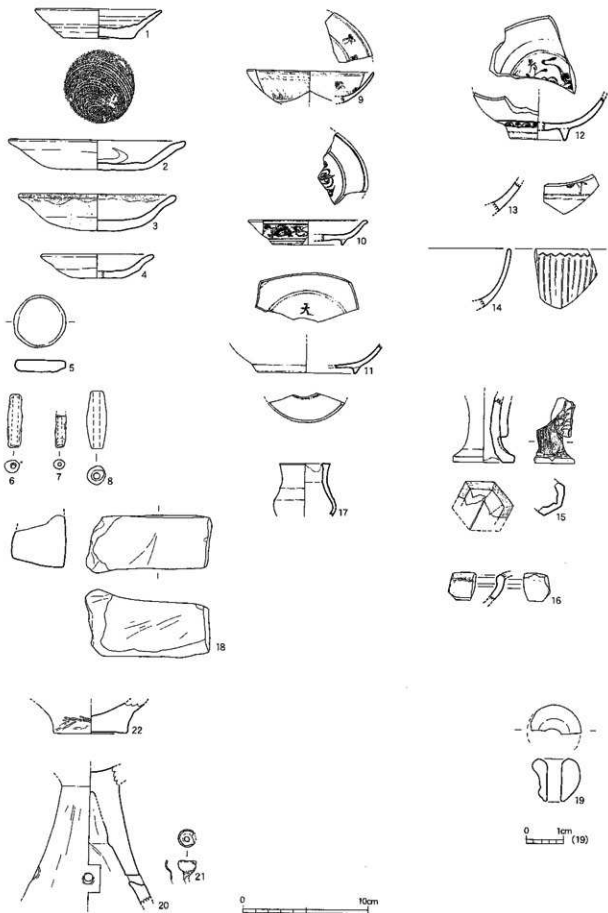


第376図 Y63区出土遺物実測図①

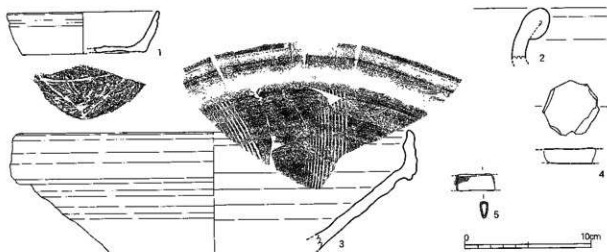
(第391図1~22) 1~22はB64区から出土した。1~5は内面にロクロ目をもつ在地系土師器で、1・2・3は底部との境界が不明瞭でかつ体部が強く傾く、底部の糸切りをなで消しており、在地系土器製作技術で京都系土器を模倣したとみられる。口径・底径・器高・色調は次のとおりである。1 (12.0cm・5.0cm・2.5cm・暗黄褐色)、2 (12.4cm・7.3cm・2.4cm・暗黄褐色)、3 (12.4cm・7.4cm・2.5cm・暗黄褐色)、4 (9.0cm・5.6cm・1.9cm・淡黄褐色)、5 (9.7cm・4.8cm・2.8cm・淡黄灰色)、7~9は1期あるいは2期の京都系土師器で、7は灯明皿である。10は3期の京都系土師器の灯明皿である。口径・器高・色調は次のとおりである。7 (13.6cm・2.3cm・暗灰色)、8 (12.0cm・1.9cm地区・黄灰色)、9 (12.4cm・2.6cm・暗灰色)、10 (9.0cm・2.8cm・黄灰色)、11は京都系土師器小皿で、淡黄色を呈する。12は景徳鎮窯系の青花皿C群で、底径2.6cm。13は17世紀中葉の初期伊万里の染付け碗で、底径4.7cm。前面に施釉し、畳付には砂が付着する。14は景徳鎮窯系の青花碗である。15は 州窯系の青花皿で、口径11.2cm、底径3.4cm、器高2.8cmである。16は青磁碗で底径4.9cm。畳付から内側は露胎である。17は青磁碗で、底径5.4cm。底面は露胎。18は青磁皿で、見込みに砂目積み痕がある。底径4.8cm。19は白磁小坏で、畳付は露胎で、底径2.8cm。20は備前焼徳利で、口径5.9cm。21は薄い草色釉の陶器徳利である。口径3.5cm。22は華南三彩の型押し成形菊花皿で、翡翠釉。



第377图 Y63区出土遗物实测图②



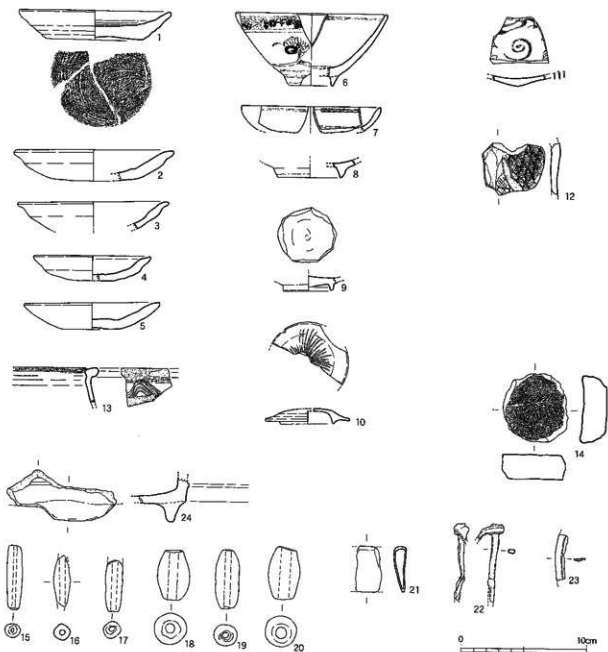
第378号 Y64区出土文物实测图



第379図 Y62区出土遺物実測図

(第392図1~15) 1~15はB64区から出土した。1は中世6期の備前焼桐り鉢で、口径30.0cm、2~4は土師質の土鍾である。5は土師質の紡錘車で直径4.2cm、厚さ1.4cm、重さ12.4gである。6・7は土師質土器を円形に加工したもの。8は青銅製の鏡で、直径8.0cm厚さ1mm、重さ0gである。周縁部には断面方形に厚い部分がある。中心部には突起があるが穴は明いていない。9は鉄製の火打ち金である。横7.5cm、縦2.6cm、厚さ4mm、重さ14.7gである。10は白色のガラス玉で、直径3mm、厚さ2mmである。11もガラス玉で直径14mm、厚さ12.5mm、重さ3.3gである。淡緑色である。12は青銅製の目貫である。3個の円が重なった形で、巴紋らしきものが浮き彫りされており、内側中央には突起の痕跡がある。長さ3.0cm、厚さ2mm、重さ2.4gである。13は青銅製の棒状製品である。長さ5.4cm、重さ2.5g。14は青銅製の小柄である。長さ6.4cm、幅1.2cm。15は和泉砂岩製の下臼である。外側側面はノミ痕があり、その他は磨き上げられている。

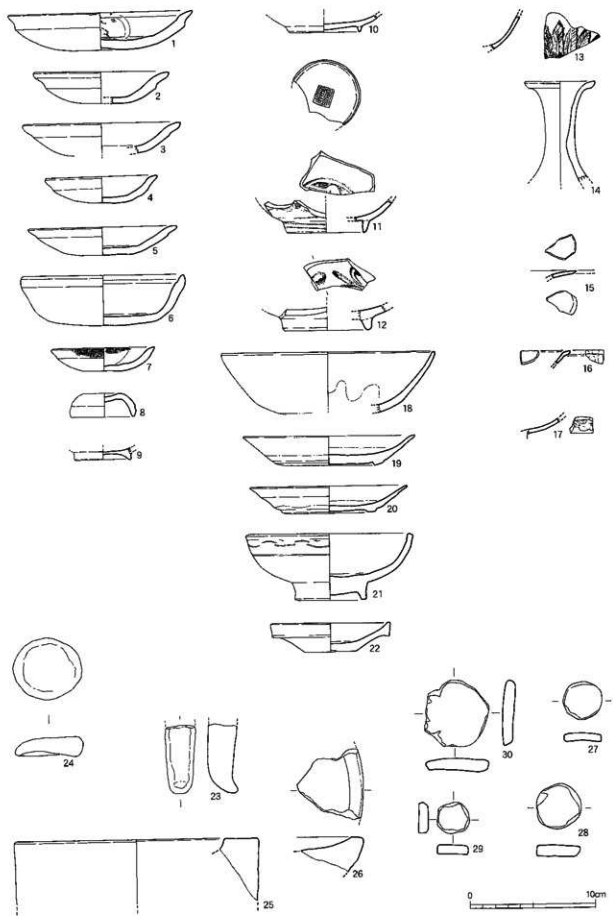
(第393図1~24) 1~24はC63区から出土した。1は糸切り籬しの底部をなで消し、内面に口クロ目を残すが体部は強く傾いており、京都系土師器を模倣した七器である。口径11.9cm、底径6.1cm、器高2.7cm、橙色。2~5は京都系土師器である。4は1期の土器である。5は内側に銅が溶着している。口径・底径・色調は次のとおりである。2 (13.2cm・2.3cm・淡黄色)、3 (12.6cm・2.9cm・灰褐色)、4 (10.2cm・2.1cm・灰黄橙色)、5 (7.9cm・1.9cm・-)。6は漳州窯系青花碗である。7は江戸時代の肥前系染付け磁器碗である。8は漳州窯系の碗で、口径13.2cm。9は五彩皿で、底径6.6cm。10は青磁碗で、底径8.0cm。11は見込みに刻印がある青磁碗で外面に蓮便紋がある。底径5.7cm。12は17世紀中葉の肥前系陶器滑緑皿で、底径4.2cmである。見込みに砂目積み痕がある。13は瀬戸美濃製天目碗で、口径10.0cm。14は華南三彩の胎形水注である。半分ずつ型作りして合わせている。長さ4.7cm。15・16は型押し成形の華南三彩菊花皿で、15は口径7.6cmである。15・16は二次的焙焼で釉が赤茶色である。17は青銅製の小柄で長さ9.1cm、幅1.2cm。18は鉄製刀子で刃と茎は連続的である。長さ18.9cm、幅1.0cm、厚さ2mm、重さ51.2g。19は断面が四角い箸状の鉄器で、長さ22.1cm、幅5mm、重さ52.7gである。20~23は土師質の土鍾。24は土師質土器片を円形に加工したもの。



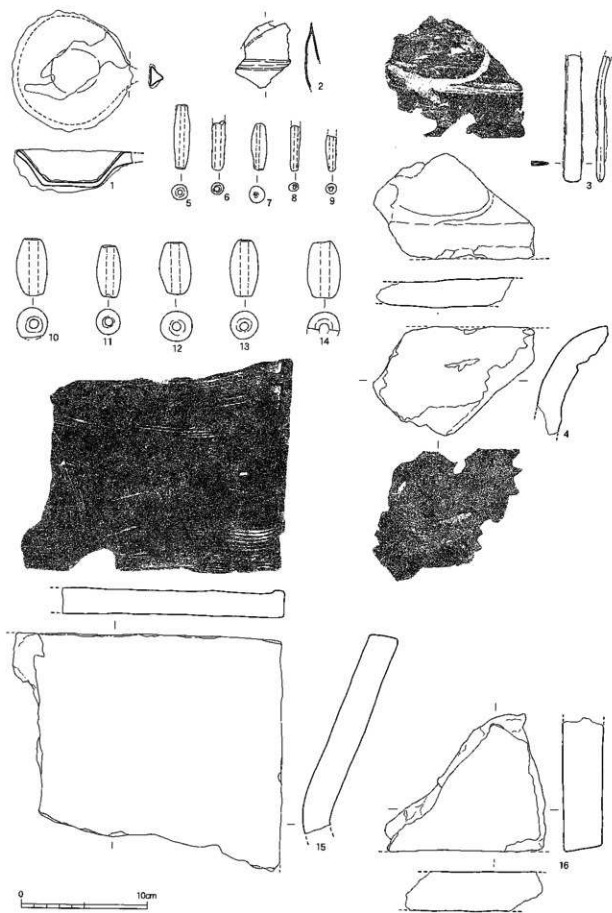
第380図 Z64区出土遺物実測図

(第394図1~4) 1~4はC63区から出土した備前焼である。1は中世6期の播鉢で、口径28.4cm、10条の罫目をもつ。2・3は中世5期の播鉢で2は口径23.0cm、3は口径18.4cm、4は中世6期の甕である。

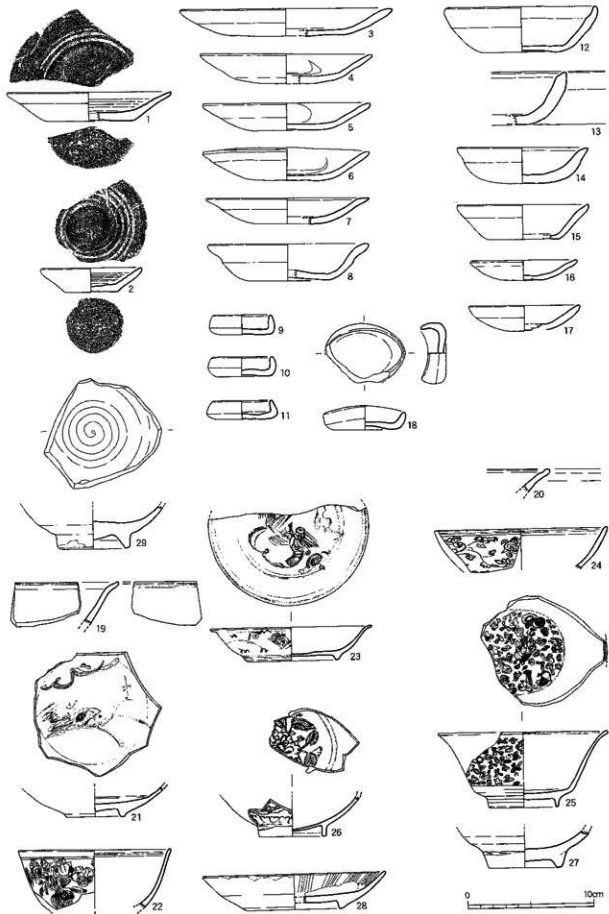
(第395図1~22) 1~22はC64区から出土した。1は在地系土師器坏で、体部の中程が厚い特徴を持ち、口径11.5cm、底径6.6cm、器高2.9cmである。橙褐色。2は土師器坏で、口径7.7cm、底径6.4cm、器高1.3cm、灰橙色。3~8は京都系土師器である。3は2期頃で、口径12.1cm、器高2.0cm、橙色である。4は1期で、口径13.4cm、器高2.3cm、淡黄色である。5は灯明さらで、口径10.8cm、にぶい黄橙色。6は口径8.0cm、器高2.0cm、淡灰褐色。7・8は蓋に図化したが大皿であるのかは不詳。7は口径4.6cm、器高1.4



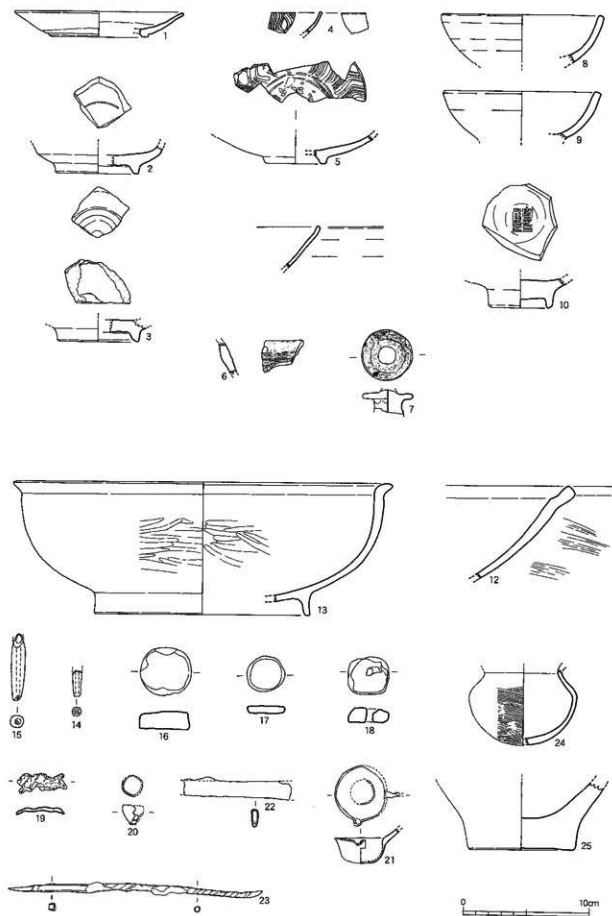
第381图 Z63区出土遗物实测图①



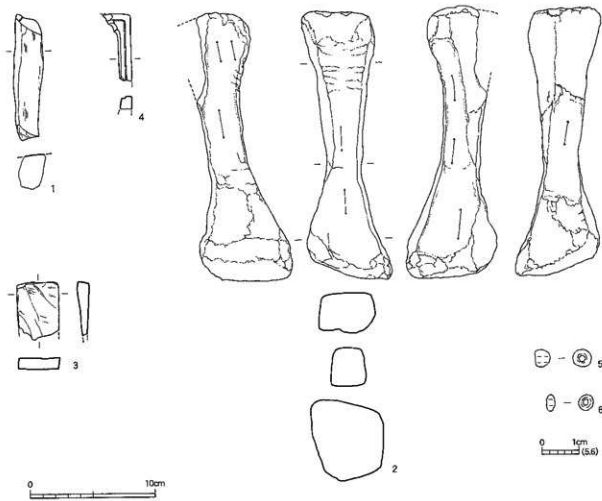
第382图 Z63区出土遗物实例图②



第383图 A63区出土物实测图①



第384图 A63区出土遗物夹测图②

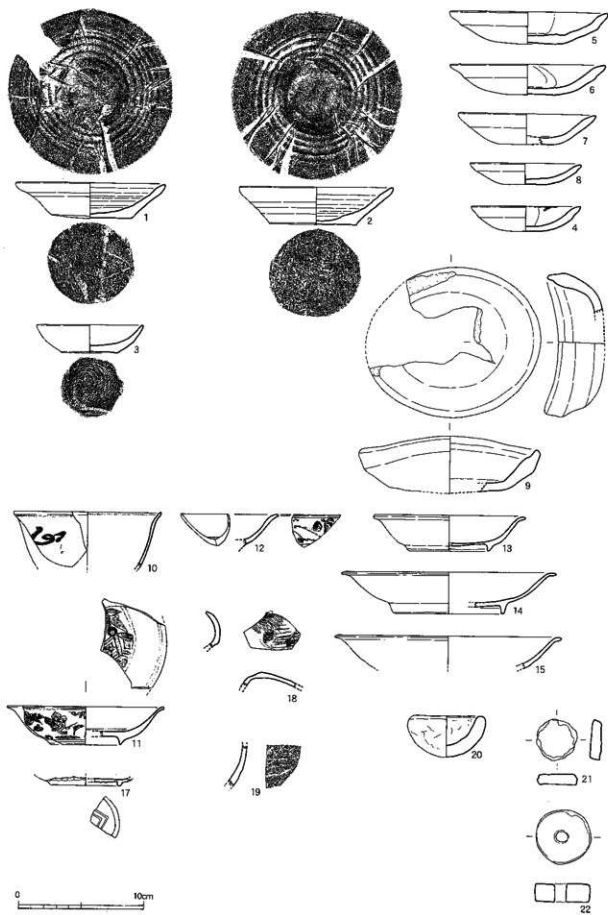


第385図 A63区出土遺物実測図③

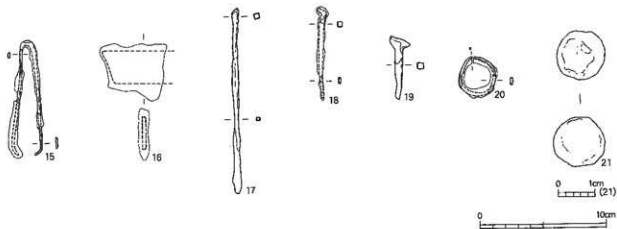
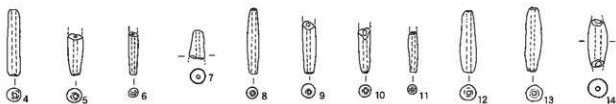
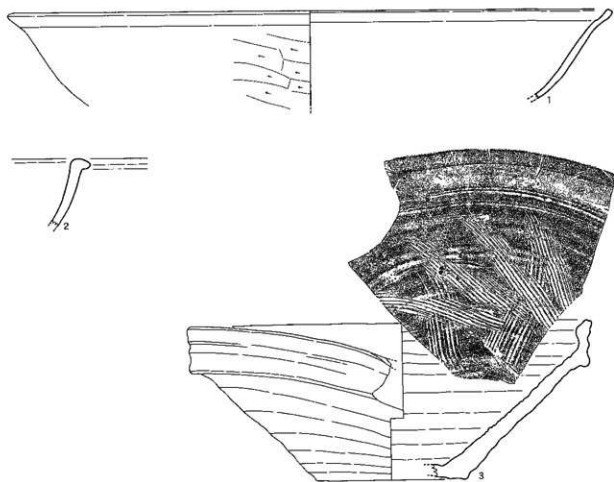
cmでにぶい黄橙色。8は口径4.5cm、器高1.6cmでにぶい黄橙色。9・10は景德鎮窯系の青花皿で、9は底径6.0cm、11は常滑産陶器そぎ皿で、底径は5.6cm。12は朝鮮製ねずみ色釉の陶器で、底径5.2cmである。内面は露胎で豊付には胎土目跡がつく。13は備前焼播鉢、14は瓦質土器鉢、15は瓦質土器鍋、16は常滑焼甕、17は刻印のある瓦質土器、18は白磁碗、19は中国磁州窯の鉄絵磁器、20は華南三彩の型押し成形菊花皿である。21は土師質の土鍾、22は鉄製の環状製品である。縦4.2cm、横3.1cm、厚さ2mmである。

(第396図1・2) 1・2はD62区から出土した。1は漳州窯系青花皿である。底径5.3cm。2は大分県宇佐市高村焼の瓦質土器播鉢で、器壁は均一な厚さで、見込み中央には波状摺り目、体部には密に摺り目を並べている。底径9.0cm。

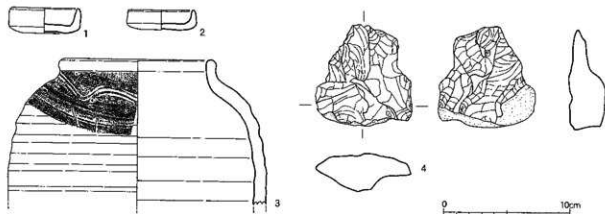
(第397図1~18) 1~18はD63区から出土した。1~3は在処系土師器で、1は口径11.6cm、底径8.8cm、器高3.0cm、色調は浅橙色である。2は口径7.8cm、底径5.7cm、器高2.0cm、色調は淡橙色である。3は口径4.8cm、底径3.3cm、器高1.4cm、色調は淡橙色である。4は景德鎮窯系の青花皿B群で、口径11.6cm、



第386图 A64区出土遗物实测图①



第387图 A64区出土文物实测图②



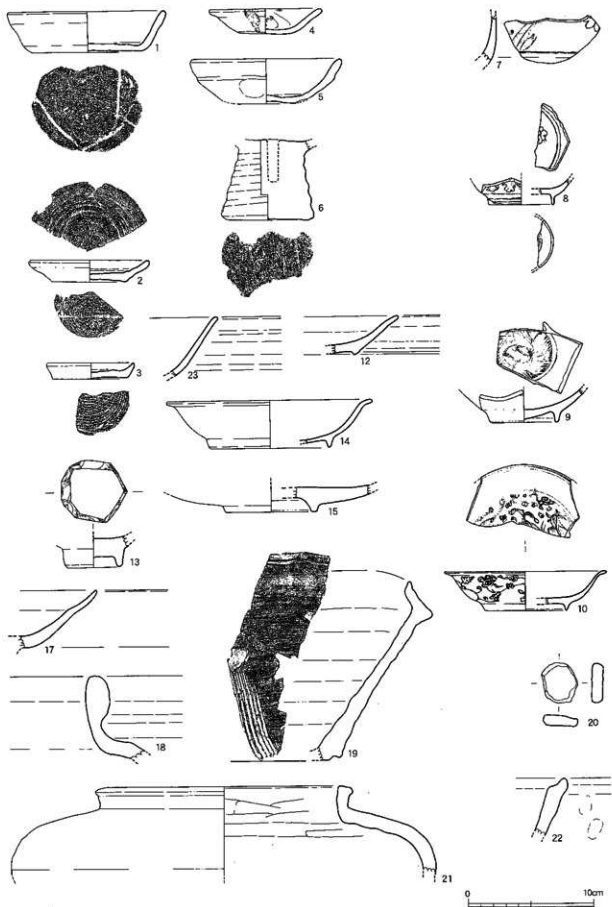
第388図 A区東壁内出土遺物実測図

底径6.0cm、器高2.7cm、豊胎は露胎である。5は潭州窯系の青花碗で、底径は5.0cm、高台とその内側は露胎。6は同安窯系の青磁碗である。7は瓦質の土鈴で、直径3.0cm、高さ3.9cm、8は鉄製の杖で、長さ5.6cm、断面は上部は厚く、先端に向け薄くなる。

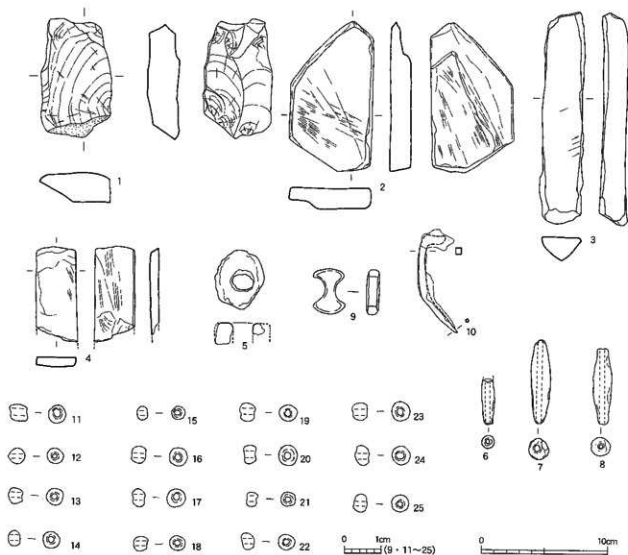
(第399図12~21) 12~21はE64区から出土した。12~15は体部上位が厚く、先端が細くなるというほぼ同じ特徴をもつ土師器環である。糸切り底でもあるが拓影は略した。12は口径16.6cm、底径12.4cm、器高4.1cmで淡黄色を呈する。13は口径13.2cm、底径10.5cm、器高2.9cmで、淡黄色を呈する。14は口径13.2cm、底径10.3cm、器高3.1cm、淡黄橙色を呈する。15は口径12.6cm、底径9.0cm、器高3.1cmで、淡黄橙色を呈する。16は口縁部が丸く内陥する環である。口径8.8cm、底径5.8cm、器高1.4cmで、淡黄橙色を呈する。17は製の増埴である。手づくねで口径9.6cmである。淡黄色を呈する。18は垂木先瓦である。厚さは1.1cmである。19~21は土師質の土鐘である。

重さは19.2gである。9は土師質の碗で、先が細い高台をもつ。色調は黒色で、口径11.2cm、底径4.8cm、器高3.9cmである。10は中世6期の備前焼摺鉢で10条単位の摺り目をもつ。11も同じ頃と同類で、口径21.6cm。12は備前焼鉢で、口径21.0cm、底径14.0cm、器高7.9cm。13は6期の備前焼摺鉢で10条単位の摺り目をもつ。14は瓦質土器の鍋で口径27.4cm、外面下部は格子目叩きである。15は瓦質土器の脚か。16~18は土師質の土鐘である。

(第398図1~11) 1~11はD64区から出土した。1は在地系土師器の小皿で体部は丸く内陥する。底部には糸切り離し後に板状圧痕がついている。口径は8.2cm、底径は6.0cm、器高は1.5cmである。2は3期の京都系土師器である。口径12.2cm、器高2.4cmで色調は黄灰色を呈する。3は青花輪花碗で、口径は9.1cmである。4は瓦器碗で、口径10.1cm、色調は暗灰色を呈する。外面は一部にヘラ磨きがあり、内面はなで調整である。5も瓦器碗で、断面三角形の高台をもつ。器面は横方向のなで調整している。口径10.5cm、高台径3.9cm、器高3.9cmで色調は浅黄色を呈する。6は備前焼の筒形に近い鉢である。体部は先端に向かって細くなりつつ外反する。底部は糸切り離している。口径は10.4cm、底径は8.0cm、器高は7.9cmである。7は東播系須恵器のこね鉢である。8は中世6期の備前焼摺鉢で、口縁部を欠く。放射状に10条単位の摺り目を施している。最大径は28.5cm、底径は14.4cmである。9は土師質土器片を円形に加丁したもの。2.4cm×2.6cmで、厚さは9mm、重さは6.6gである。10-11はやや大型の土師質土鐘である。10は長さ5.7cm、幅2.2cm、重さ25.6gである。11は長さ6.2cm、幅2.1cm、重さ18.6gである。

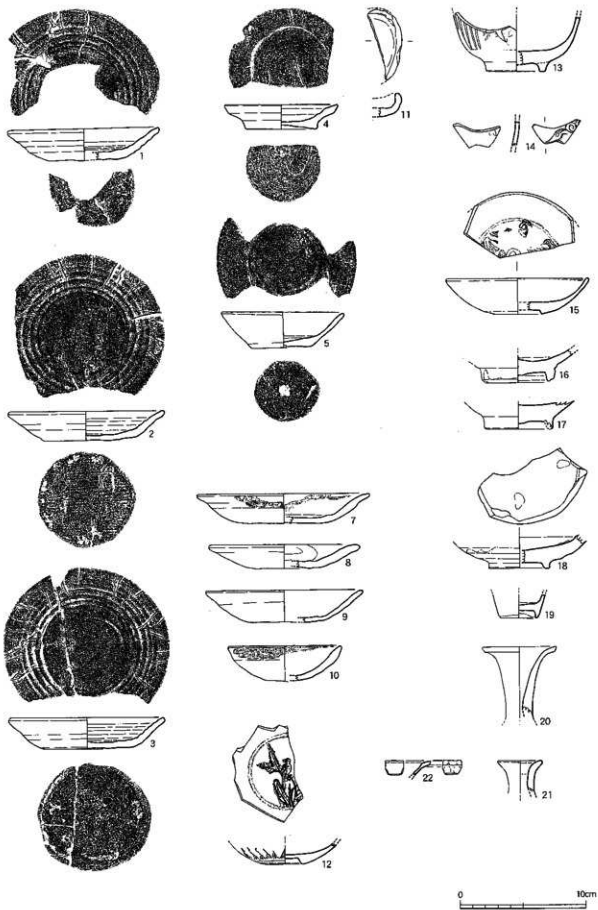


第389图 B63区出土遗物实测图①

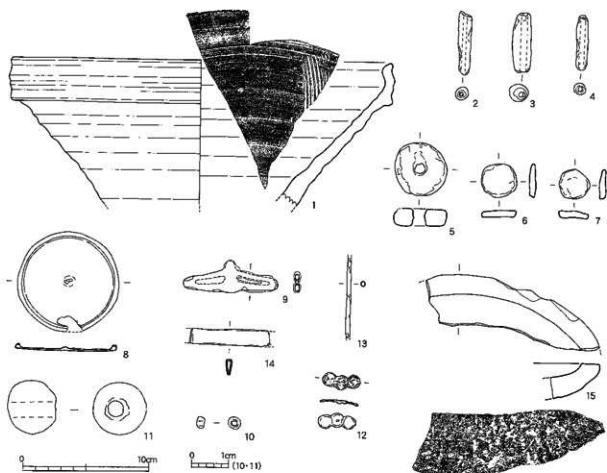


第390図 B63区出土遺物実測図②

(第400図1~16) 1~16はE63区から出土した。1~5は在地系土師器で、1は体部が均一な厚さで、口径11.2cm、底径8.6cm、器高2.3cmである。色調は淡黄色を呈する。2は体部が長く口縁先端が尖り、口径12.4cm、底径8.4cm、器高3.8cmである。色調は橙色を呈する。3は体部中位が膨らみ、口径12.2cm、底径8.8cm、器高2.8cmで色調は橙色である。4は体部下部の傾きが強く、その上は直線的に外反する。口径13.7cm、底径9.1cm、器高3.1cmで、淡黄橙色を呈する。5は口縁端部が細い杯で、口径12.3cm、底径8.6cm、器高3.8cmである。色調は淡黄色を呈する。6~9・11は内面にロクロ目を残す在地系土師器である。このうち7・9・11は口縁部に煤が付着しているので灯明皿として使われたことが分かる。口径・底径・器高・色調は次のとおりである。6 (12.8cm・7.0cm・2.7cm・橙色)、7 (10.2cm・6.0cm・2.1cm・暗褐色)、8 (9.2cm・5.5cm・2.2cm・淡黄褐色)、9 (8.0cm・4.7cm・2.0cm・橙色)、10 (5.3cm・3.5cm・1.3cm・明淡褐色)、11 (7.6cm・7.0cm・1.5cm・淡黄褐色)。12は在地系の土師器小皿である。口径8.0cm、底径6.6cm、器高1.3cmで淡黄色を呈する。13は漳州窯系の青花皿である。見込みは蛇の目状に釉剥ぎ、高台と内側は露胎である。底径5.0cm。14は青磁綾花皿で、見込みの刻印がある。口径14.0cm、底径6.2cm、器高3.4cm。壘付中央から内側は露胎である。15は景德鎮窯系の青花皿B1群である。



第391图 B64区出土遗物实测图①



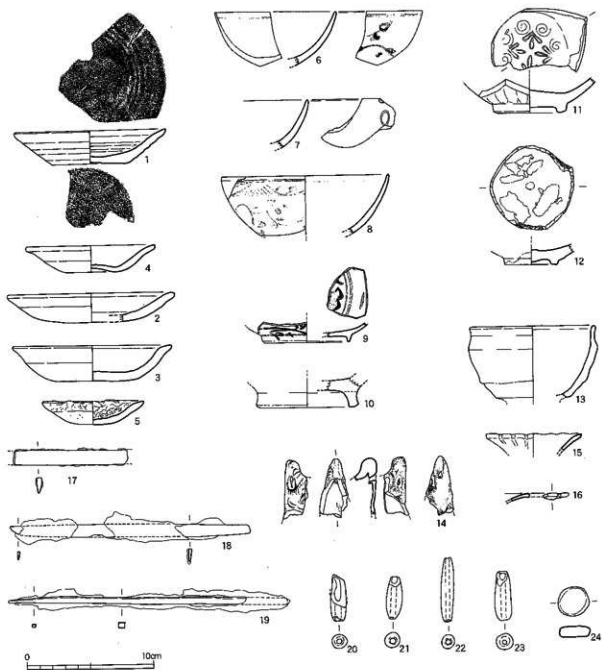
第392図 B64区出土遺物実測図②

16は景德鎮窯系の五彩皿である。赤茶色と青色で描いている。底径は6.4cmである。

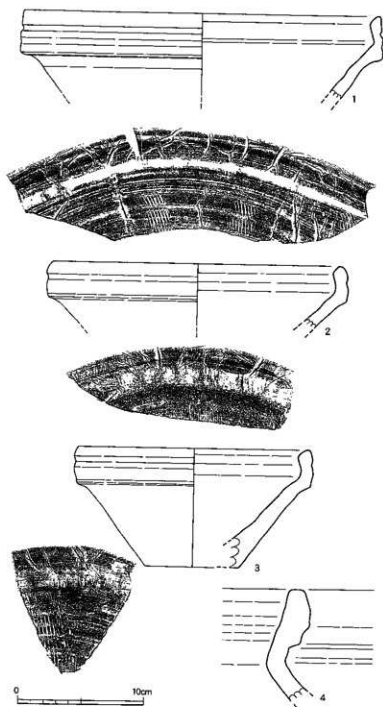
(第401図1~4) 1~4はE63区から出土した。1は中国南部製の焼締め陶器鉢で、口縁部は水平に折り返され、上面に二条の沈線が回る。口径23.1cm、底径12.7cm、器高6.2cmで、色調は淡茶色を呈する。内面の底と体部の境付近には自然軸が掛かる。2は中世3期(14世紀中葉~15世紀前葉)の備前焼き甕である。器面はナデ仕上げされている。口径24.0cm、3は瓦質土器の火鉢である。口径36.0cm、底径32.2cm、器高17.9cmで三脚をもつらしい。4は在地系の瓦質土器火鉢である。口縁部外面に二条の突帯を貼り付け、その間に雷紋の刻印を巡らす。口径34.6cm、5は滑石製石鍋である。羽窯状に鈎が廻る。口径19.0cm、最大径21.2cm。

(第402図1~18) 1~8・10~18はE63区から出土した。1~8は京都系土師器である。1は2期頃で、口縁部は波打つ。2・4は1期で薄手であり、口縁部が外側に折れる。3・5~8は3期である。3・5・7は口縁部に煤が付着しており灯明皿である。京都系土師器系土師器の口径・器高・色調は次のとおりである。1(12.3cm・2.8cm・淡黄褐色)、2(10.8cm・2.1cm・淡明黄色)、3(10.7cm・2.3cm・黒茶色)、4(9.4cm・1.6cm・淡黄色)、5(8.7cm・1.8cm・淡黄色)、6(8.8cm・2.0cm・にぶい黄褐色)、7(8.7cm・2.4cm・淡黄色)、8(8.0cm・1.8cm・淡黄色)。9はE62区出土の濠州窯系の青花皿で、口径10.8cmである。

10・11は土師質の土罐である。12・13は鉄製の釘、14は青銅製の煙管である。15は弥生時代後期の蓋胴部。16は硯片で、長さ5.1cm、幅2.8cm、厚さ9mmである。17は水色のガラス玉で、直径6.5mm、厚さ5.5mmである。18は鉄棒で、縦7.2cm、横6.2cm、厚さ2.78cm、重さ144.9gである。



第393図 C63区出土遺物実測図①

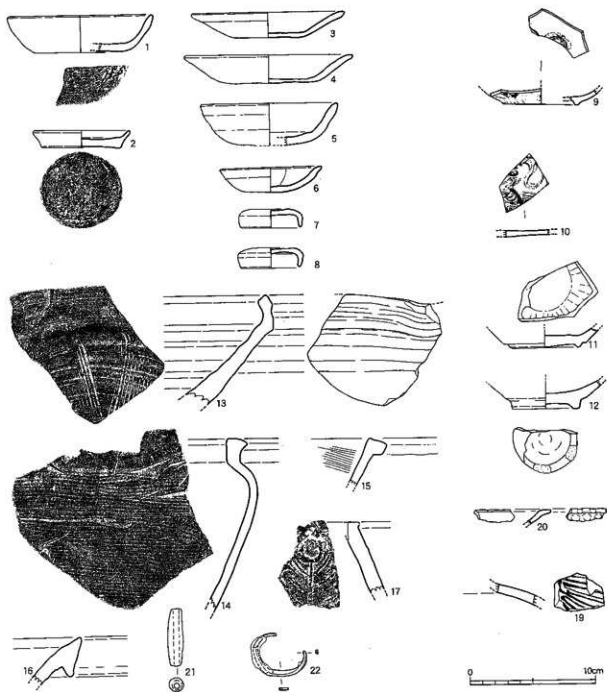


第394図 C63区出土遺物実測図②

頭部分で接合しないが同一個体である。19は環状の鉄製品で断面は円形である。直径5.0cm、厚さ7mm、重さ51.6gである。20は鉄製の刀子である。21は縄文時代晩期の鉢口縁部で、器面はヘラ磨きされている。22は土製の素焼き玉である。

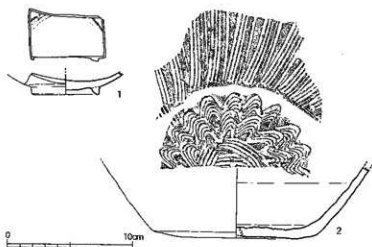
(第403図1~16) 1~16はF63区から出土した。1は在地系土師器杯で内面に口ロ目を残し、口径12.9cm、底径9.7cm、器高3.6cmで褐色を呈し15世紀後葉に属す。2は14世紀末から15世紀前葉の坏で、口径12.9cm、底径8.7cm、器高4.1cmで淡黄色を呈する。3~5は内面に口ロ目を残す在地系土師器で、口径・底径・器高・色調は次のとおりである。3(13.3cm・6.9cm・2.4cm・淡橙灰色)、4(9.4cm・6.2cm・1.8cm・淡黄色)、5(10.6cm・7.4cm・1.8cm・黄褐色)。6は土師器杯で底径6.8cm。7は土師器小皿で口径8.2cm、底径6.9cm、器高1.6cmで淡黄色を呈する。8・9は3期の京都系土師器系土師器である。8は口径12.6cm、器高2.4cmで淡黄灰色である。9は灯明皿で、口径8.8cm、器高2.4cmで暗灰色を呈する。10は常滑焼き甕口縁部破片である。11は中国製白磁皿で口径13.9cm、底径6.7cm、器高2.6cmである。12は備前焼大皿である。13は瓦質土器の八で、口径31.0cm、底径19.6cm、器高9.4cm。器面調整はなで。14は瀬戸美濃製天目碗で、口径11.3cm、底径4.6cm、器高6.7cm。15は瓦質土器鉢で、口径34.6cm。器面調整はなで。16・17は土師質の土鍾。

(第404図18~22) 18~22はF63区から出土した。18は青銅製煙管の



第395図 C64区出土遺物実測図

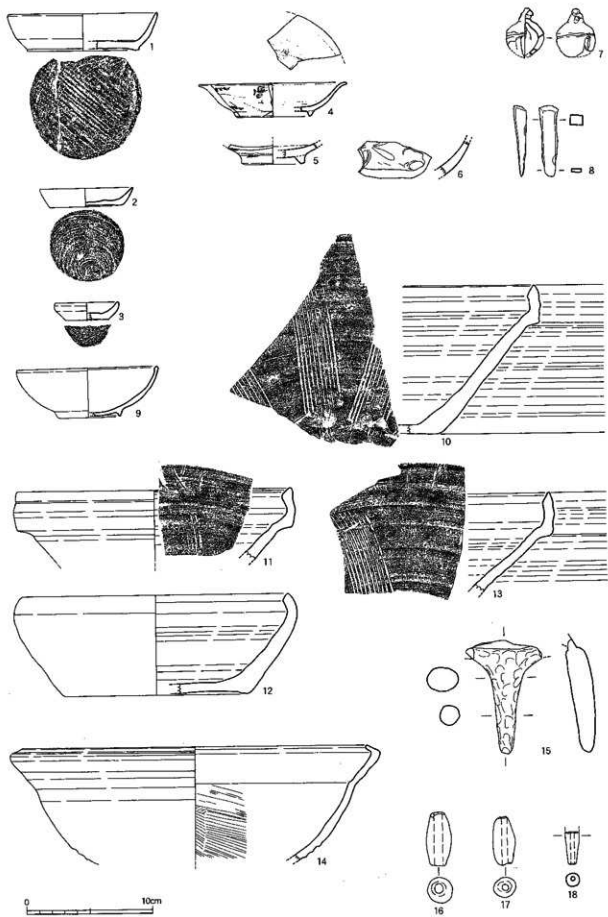
(第405図1~7) 1~7はF64区から出土した。1は短い口縁部が内湾する土師器杯で、口径12.7cm、底径10.1cm、器高2.8cmで淡黄灰色である。14世紀初頭頃か。2は土師器小皿で、口径7.9cm、底径6.4cm、器高1.1cmで黄橙色である。3は土師器杯である。口径12.0cm、底径7.8cm、器高3.5cmで赤褐色を呈する。14世紀中葉から後葉である。4は瓦質土器火鉢。5は古墳時代の円筒埴輪である。外面は赤く塗られている。6は常滑焼き甎の口縁部である。7は土師質の土甌。



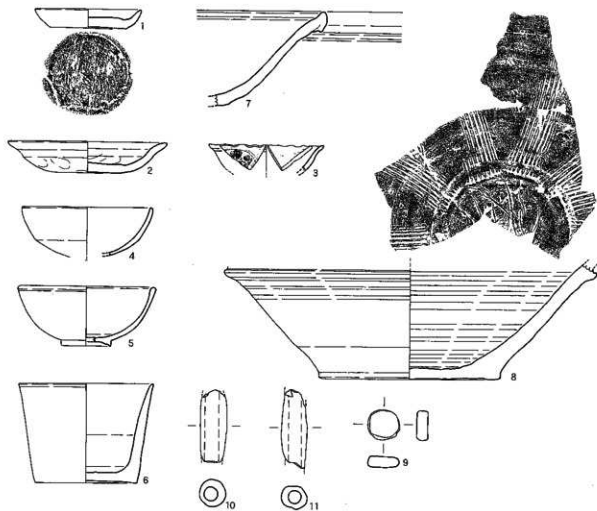
第396図 D62区出土遺物実測図

(第406図1~23) 1~23は調査区周辺で採集されたり排土から採集したものである。1は内面にロクロ目のある在地系土師器で口径11.6cm、底径4.7cm、器高2.8cmで明褐色。2以下は主に口径・底径・器高を列挙する。2 (8.6cm・4.7cm・2.8cm・明褐色)、3 (8.6cm・5.7cm・2.0cm・淡黄褐色)、4 (15.2cm・―・2.9cm・淡黄色)、5 (8.1cm・―・1.8cm・淡黄褐色)、6 (7.2cm・7.3cm・6.5cm・淡黄色)、7 (11.6cm・―・暗褐色)、8 (10.8cm・4.4cm・4.3cm・淡灰色)、9 (―・7.8cm・―・―)、10は土師質土器片加工品 (33.1g)、11は備前焼掘鉢、12はガラス玉で直径4.5mm、2.5mm、緑色、厚さ、13はキリスト教徒が頭に掛けるガラス製のコンタツで、復元直径は12mm、厚さは6mmで元は透明か。14は第69次調査区が耕作されていた時点で採集された青銅の分銅である。縦3.0cm、幅2.5cm、重さ68.1g。宮本佐知子分類のA-4類に該当し、中世末、近世初頭の時期に限定される遺物である (宮本1994)。15は青銅製の鍵で一端を欠損する。長さ10.9cm、幅9mm、重さ23.6g。16は青銅製品で細長い板状物の一端に立法体の青銅がついている。17は鉄製の棒で断面は四角、図上部の方の途中をねじっている。箸か。長さ41.8cm、厚さ5mm、重さ62.6gである。18は土師質土器加工品、19・20は凝灰岩製の紡錘車で、19は直径3.6cm、厚さ1.3cm、重さ8.3g、20は直径6.0cm、厚さ2.8cm、重さ47.7g。21~23は土師質の土鉢。 ※宮本佐知子1994『国内出土の権衡資料』『大阪市文化財論集』

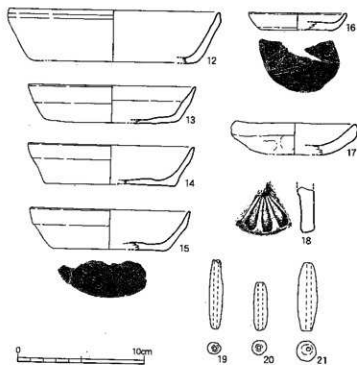
(第407図1~5) 1~5はその他の遺物である。1はA区の焼土面 (中世の遺構を初めて検出できる面) の標高5.2mで出土した鉛製のメダイである。平面形は上部が三角、下部が横長の楕円である。三角部分には側面側から貫通する穴が空いている。円盤部分の一面には円紋・交叉紋等が浮き出ている。長さ2.3cm、幅1.68cm、厚さ5.6mm、重さ11.2gである。2はSK5出土のメダイであるが、ここで説明する。鉛製で高さ1.65cm、幅1.31cm、厚さ0.3mm、重さ3.6gである。4は青銅製の棒状製品。5はA63区出七の土製鈴である。



第397图 D63区出土文物实测图

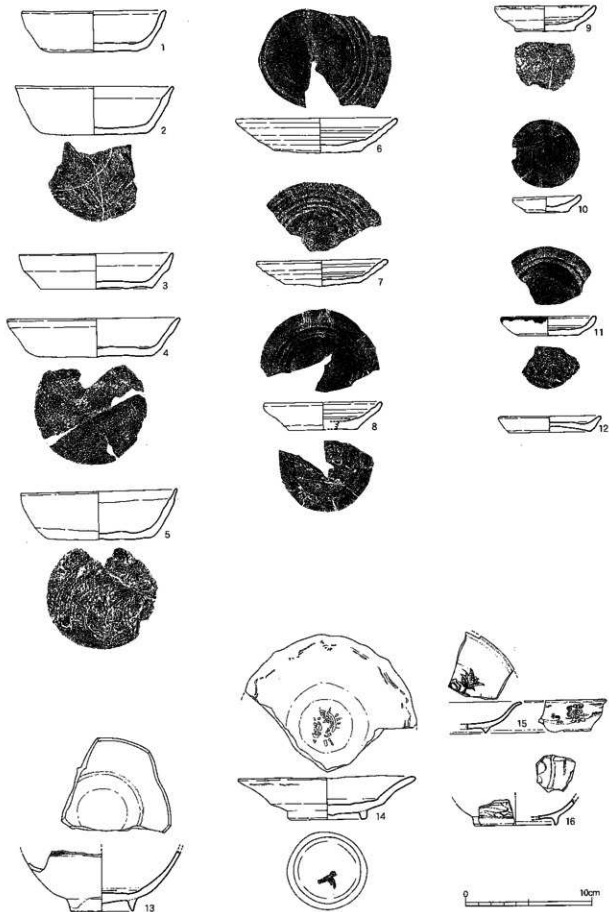


第398图 D64区出土文物实测图

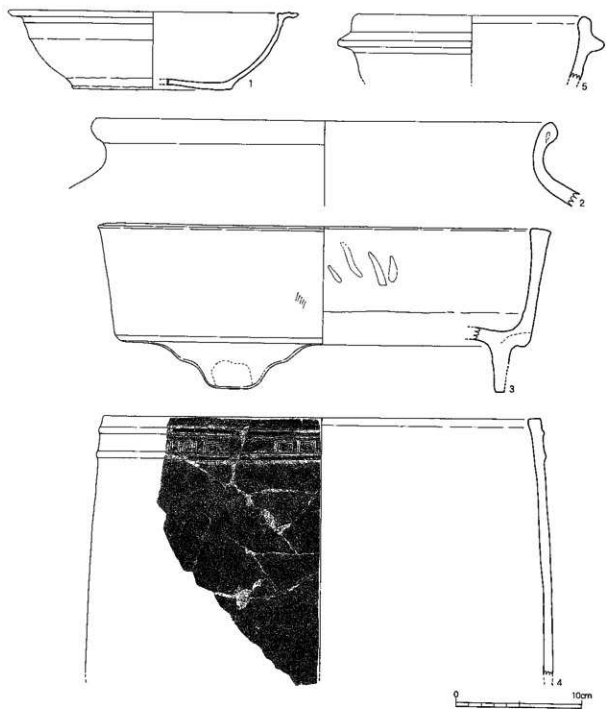


第399图 E64区出土文物实测图

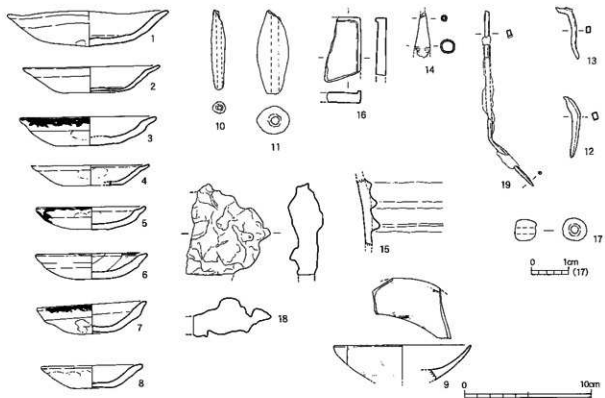
0 10cm



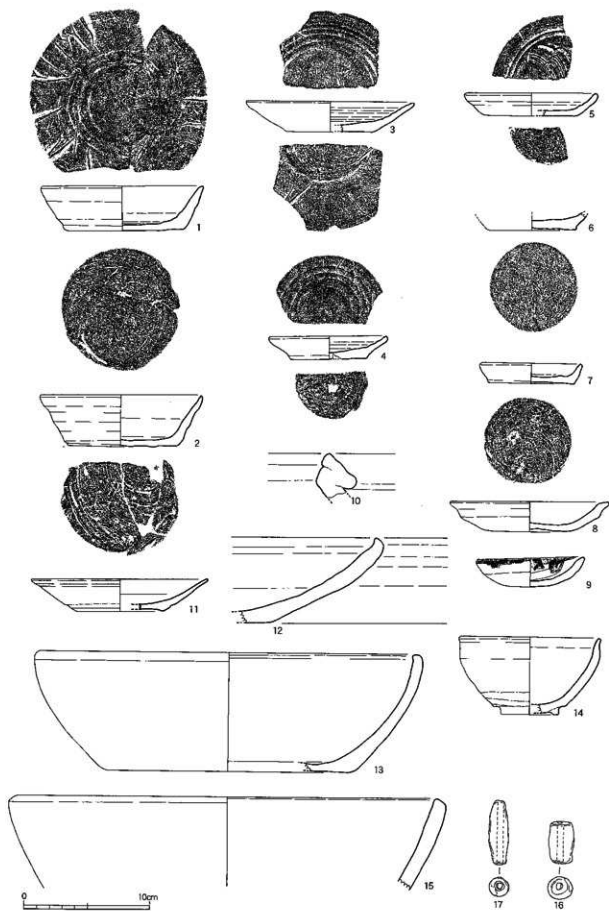
第400图 E63区出土文物实测图①



第401图 E63区出土遗物实测图②



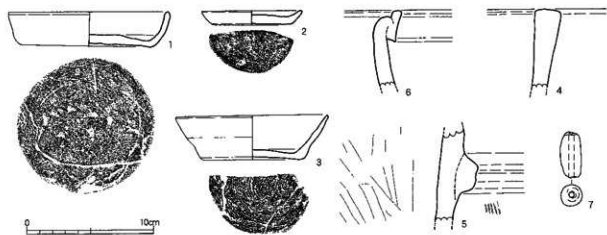
第402图 E63区出土遗物实测图③



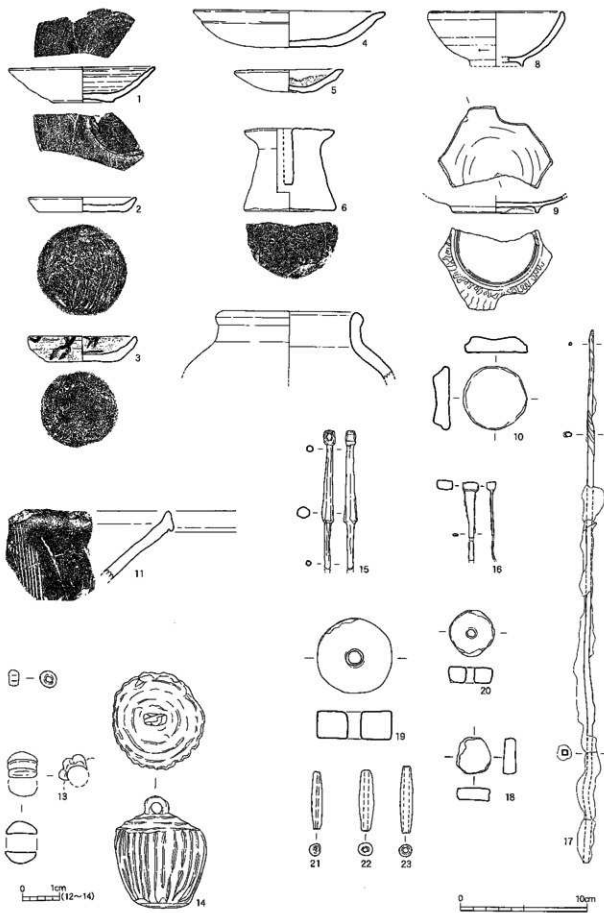
第403图 E63区出土物实测图④



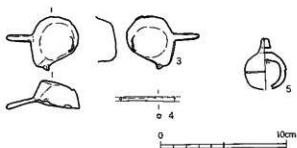
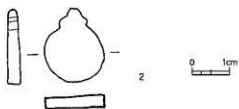
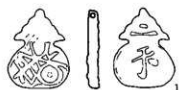
第404图 F63区出土文物实测图①



第405图 F63区出土文物实测图②



第406図 表面採集の遺物実測図



第407図 メダイ・銅製品実測図

第6節 まとめ

遺構の変遷について

第41次調査区では14世紀から近世に至る各時代の遺構が出土した。中世初期の遺跡の特徴について触れておきたい。それ以降については第4分冊で説明する。

第41次調査区では14世紀からの遺構が残されている。SK120(Y62・63区の浅い土坑)・SD151(B63区の溝。SD169と同じ)・SE171(T62区の井戸)・SK175(D64区の小型土坑)・SKSD203(C64区から北上する溝)・SK204(C64区の南北方向の大型土坑)の遺構がそれである。他に出土遺物がなく遺物面からは断定できなかったが、調査区北西部や南西部にある細い溝状遺構群が14世紀に作られたらしい。これに似た溝はW60区からX64区にかけての広い地域に散在する北西から南東に向いて走る溝状遺構群があり、またA63区を中心に東西方向に走る溝状遺構がこの時代の遺構である。これらは小型品であり、耕地の排水路か道路の側溝か、判断できない。14世紀に大型遺構としてあげられるのはB63区付近を南北に走る大型溝であるSD203である。この溝は前回報告した南側の第36次調査区にも存在し、北側の第69次調査区でも存在した特に規模の大きな遺構である。この他、遺物が出土せず確実ではないが粘土探掘坑のいくつかはこの時期ではないかと思われる。この付近では、14世紀には居住域としての遺構がみられず、上記の溝状遺構・粘土探掘坑が主体として使われたようである。

府内町跡と庄の原佐野線調査区との関係

庄の原佐野線関係で調査した場所が中世の府内町では、どこに該当するのかわかっている。

中世大友府内町跡地域では、庄の原佐野線関係の調査が数年来継続してきたが、調査対象地は従来、漠然と府内町跡の「御蔵場南端」に該当すると認識されていた。「府内古図」を現地に置き直した「大分市史」の復元想定図では現況地形の高低差、耕作地の境界線・明治時代の地籍図などから御蔵場の範囲が推定されており、確かに調査区の一部がその範囲内に含まれるのである。具体的には先に報告書を刊行した第55次調査区全部、今回報告する第69次調査区のうち東部の北調査区全部と南調査区の南西部以外、第75次調査区の西部、第77次調査区の北東部は御蔵場想定地に該当する。

ところで、木村幾多郎は「豊後府内城移転と旧府内町」において「府内古図」を検討し、中世大友府内町の主要街路と町名の検討を行っている。その中では古図に描かれた街路の周辺に同じく文字で記されていた町名の範囲を地図上に面として把握した図面を示している(第408図)。これは御蔵場の範囲を大分市史の想定よりも狭めて考えており、大友館の東を南北に貫く第2南北街路のうち、大友館よりも南側で道路の西側は柳町という町屋地帯として推定されている。また、御蔵場南西側を斜行する道路の両側も町屋地帯と考えられ、御蔵場は従来想定域の半分程度になっている。

この地域で行った庄の原佐野線関係の発掘調査結果をみると、東側の南北道路、いわゆる第2南北街路と中央部の斜行道路の両側には町屋跡が展開していたとするほうが、道路東側は御蔵場であるとするよりも理解しやすい。第55次調査区とその南側に続く第75次調査区西部、第41次調査区東部、第36次調査区東部で検出した遺構群はほぼ第2南北街路に平行に竪穴建物が並んだ状態であり、背後に東西方向を意識した掘立て柱建物跡が分布する。このように検出した町屋の主軸方向は東西を意識したもので、西側の斜行道路部分でも道路に直交するわけではない。府内古図では御蔵場の外側にある斜行道路の路面に「鋸町」という表記がされている。調査区の斜行道路両側では町屋の配置状況を上空から見ると鋸状になっているので、鋸町の名が由来したのであろうか。

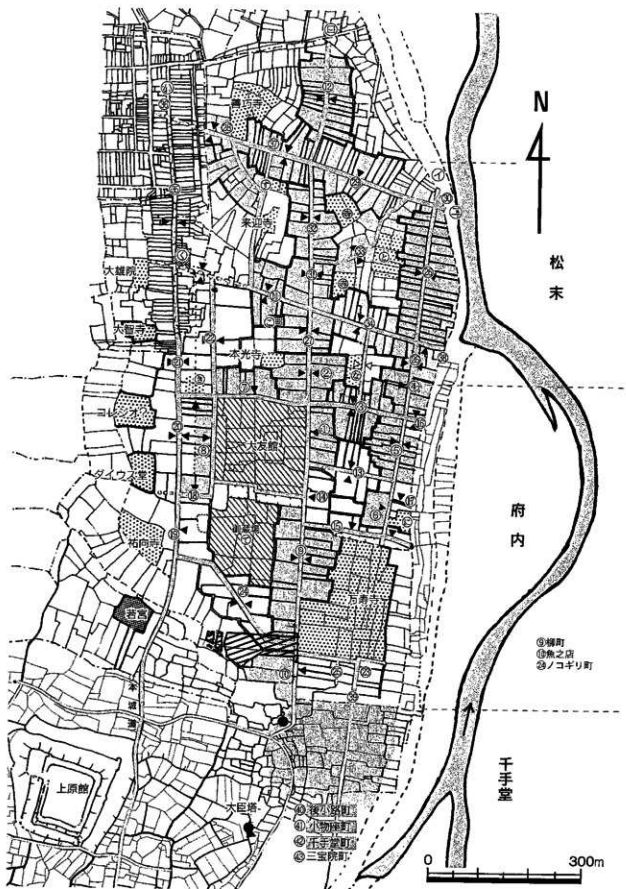
木村によれば大友府内町廃絶後、近世の府内城下町に移転した町がいくつかあり、そのような地域では旧町の地名その他の情報が近世段階にも伝えられていたらしい反面、そうではなかった旧府内町地域に関する情報はあやふやになっていたという。その代表例が御藏場外側の南西部である。丁度、今回報告する各調査区の位置する部分である。近世の府内城下町に町をあげて移住出来なかったのは家臣団居住地であった可能性があると指摘している。第41次調査区南西部で検出した16世紀後葉の溝状遺構(SD84・SD103・SD114)に囲まれた方形部分では、調査範囲では内部に住居跡や井戸等の施設は確認しなかった。町屋的な状況も確認できなかったため、おそらくSD84とSD103の間には土塁が存在し、土塁に囲まれた武士階級の屋敷があった可能性が考えられる。

大友城下町跡では家臣の居住地が発掘調査で確認されたのは一例だけである。第75次調査区東側にある第43次調査区において万寿寺西端の堀が埋め立てられ武士階級の居住地となったと考えられているがそれである。今回報告する第41次調査区西部にも家臣の居住地が存在した可能性を指摘しておきたい。

井戸について

第41次調査区からは13基の井戸を検出した。SE171は調査区西部に位置し、井筒部に曲物を使った型で、その上方に方形の板組を重ねていた。在地系環1点が出土しただけであり詳細な時期は把握しがたいため、これまでの類例から検討しておきたい。曲物を用いた井戸は大友府内城下町跡の井戸集成(高橋2008)によれば、曲物と縦板組隅柱横棧型の組合せ(第10次I調査区SE126-13世紀末~14世紀初頭-)、曲物と上部には桶のタガが出土した例(第10次II北調査区SE300-15世紀中葉以前-)、曲物のみ判明し上部は抜き取られていた例(第5次B調査区SE119-15世紀後葉~未葉-)、曲物と桶の組合せ(第5次A調査区SE506-15世紀末~16世紀初頭-)等の類例があり、本例は曲物と縦板組隅柱横棧型の組合せであることから13世紀末から14世紀初頭の類例があることになり、第41次調査区SE171を14世紀初頭と考えても矛盾しない。

※木村幾多郎2001『府内と府内古図』『南蛮都市・府内』大分市教育委員会・中世都市研究会
高橋信武2008『大友城下町跡の板石組六角井戸について』『豊後府内9』



第408図 調査区（太い斜線部）と町割復原図の関係（木村2001に加筆）

遺構一覽表

第41次調査区遺構一覧表 1

本報告の遺構番号	旧遺構番号	遺構の性格	遺構の位置	検出標高	遺構の時期	特 記 事 項
SF1		遺	C・D区	5.15m		
SK1	S1	土坑	E63/F63区	5.18m		メダイ
SE2	S2	井戸	D64区	5.64m		
SK3	S3	土坑	D63区	4.88m		
SK4	S4	土坑	D63区	5.1m		タイ四耳壺・三彩
SK5	S5	土坑	C63区			礎群
SK6	S6	土坑	F63/64区	5.20m		36次S1と同じ
SE7	S7	井戸	D63区	5.1m		
SD8	S8	土坑	D63区	5.06m		
SK9	S9	土坑	C63区			S3に切られる
SE10	S10	土坑	D63区			S7を切る
SD11	S11	溝状	F64区	5.11m		S1023に切られる
SK12	S12	土坑	F64区	5.10m		
SX13	S13		E64区			銭貨集中部
SX14	S14		E64区			銭貨集中部
SD15	S15	溝状	F63/64区	5.13m		
SD16	S16	土坑	E64区	5.04m		
SK17	S17	土坑	E64区	5.02m		
SK18	S18		D63/64区	4.70m		36次のS18と同じ
SD19	S19	溝状	E64区	5.05m		水田土椽埋土
SD20	S20	土坑	B63区			礎群
SK21	S21	水田関連	Z63/Y63	5.04m		
SK22	S22	土坑	F63区	5.28m		水田土椽埋土
SK23	S23	水田関連	Z63区	5.09m		S24よりも新しい水田面
SE24	S24	井戸	Z63区	5.11m		S23に切られる
SK25	S25	土坑	A64区	5.11m		礎群
SK26	S26	土坑	A64区			礎群
SD27	S27	溝状	B63区・F64区	5.32m		礎長
			A63区	5.31m		
SD28	S28	溝状	BF63/C63区	5.34m (F区)		礎長
SF29	S29	柱穴類	A63区	5.06m		
SP30	S30	柱穴類	A63区	5.06m		
SP31	S31	柱穴類	A63区	5.06m		
SK32	S32	礎群	E63区	4.96m		礎群
SK33	S33	土坑	A64区			S26の南
SX34	S34	叢石	A64区	4.98~5.20m		石列
SK35	S35	土坑	Z64区	5.18m		礎群。36次のS23と同じ。
SX36	S36	土坑	A63区			土師器下向き集中部
SK37	S37	土坑	E63区	5.10m		礎群
SK38	S38	土坑	D63/64/E63区			礎群
SD39	S39	溝状	Z62/63区			浅い。SD40と並ぶ。
SD40	S40	溝状	Z62/63区			浅い。
SX41	S41	土坑	A64区			礎群
SD42	S42	溝	A63区	5.23m		S27の下。焼土
SD43	S43	土坑	E63区	5.03m		焼土が入る
SP44	S44	土坑	E63区	5.03m		
SK45	S45	土坑	A64区	4.99m		埋土に炭化物あり。
SK46	S46	土坑	E65区	4.97m		埋土に炭化物あり。
SK47	S47	土坑	E62-63区	4.92m		
SK48	S48	土坑	E62-63区	5.02m		S46-47に切られる。
SK49	S49	土坑	D62/63区	5.08m		S46と同じか？
SK50	S50	土坑	E63区			S44のことか？
SK51	S51	土坑	A63区	5.10m		礎が入っている
SP52	S52	柱穴類	A63区	5.07m		S51と重複。
SD53	S53	溝状	B63区			S27と同じか？
SD54	S54	溝状	B63/C63/64区	5.26m		道路に平行。道路上部。
SK55	S55	土坑	C63区	5.25m		道路部。
SD56	S56	土坑	B64区			埋土は焼土。
SK57	S57	土坑	F64区	5.08m		SD15を切る。
SK58	S58	土坑	F64区	5.08m		SD6に切られる。
SK59	S59	土坑	F64区	5.08m		SD6に切られる。
SK60	S60	土坑	F64区			SD15を切る。
SK61	S61	土坑	F64区			炭の塊。
SK62	S62	土坑	F64区			SK61の5cm下で検出。
SK69	S63	土坑	F64区	5.20m~4.94m		礎群
SK64	S64	土坑	B63区	5.12m		SK20に切られる。

第41次調査区遺構一覧表2

本報告の遺構番号	日誌欄番号	遺構の性格	遺構の位置	検出高さ	遺構の時期	特 記 事 項
欠番	S65					欠番
SK66	S66	土坑	F64区			S63の下、S60に切られるらしい。
SK67	S67	土坑	F64区			SK66に切られる。
SK68	S68	土坑	F64区			SK66に切られる。
SX69	S69	土坑	C64区			道路面の小石のこと。
SK70	S70	土坑	B63区			道路上面から5cmで検出。
SE71	S71	井戸	Y62区	4.62m		軒瓦瓦
SE72	S72	井戸	Y62区	4.60m		SE71の南。
SE73	S73	井戸	E64区	5.09m		SE78の東側
SD74	S74	溝	F64区			溝群
SD75	S75	溝状	F64区			SD15に切られる。
SK76	S76	土坑	F64区			SK60・66に切られる。
SK77	S77	土坑	Y62区	5.60m		焼土・炭化物混じり土坑。
SE78	S78	井戸	E64区	5.00m		SE79の東側
SE79	S79	井戸	E64区	5.00m		
SK80	S80	土坑	D64区	5.10m		京都系土師器1
SK81	S81	土坑	D64区	5.07m		儀前掘跡。
SK82	S82	土坑	Y62区	5.80m		焼土・炭化物坑。
SK83	S83	土坑	Z63区	4.84m		
SD84	S84	溝状	V63区	4.49m		
			V64区	4.46m		
			W64区			
			X63区	4.69m		
			Y64区			
			Z53区	4.53m		
SK84	S84	溝状	Z64区	4.21m		
			Y64区	大門の一壁	4.74m	
SK85	S85	土坑	C63区	5.18m		砂利層。
SK86	S86	土坑	C63区	4.99m		砂利層。
SE87	S87	井戸	B63区	4.98m		SD32に切られる。
SK88	S88	土坑	D63区			S4下位検出。
SD89	S89	溝	D63区			S4下位検出。
SD90	S90	溝	X61区			SK91を切る。
SK91	S91	粘土探掘坑	X61区			S92に切られる。
SD92	S92	溝	X61区	4.57m		SK91を切る。
SD93	S93	溝	D63区			石列。
SK94	S94	土坑	Y63区			砂の詰まった坑。
SK95	S95	土坑	C63区			調査区外に延びる。
SK96	S96	土坑	Z62区	4.79m		SK97を切る。
SK99	S97	土坑	Z62区			SK96に切られる。
SP98	S98	柱穴	B63区	5.20m		道路の西脇。
SK99	S99	土坑	W61区			層土は黒褐色。
SE100	S100	井戸	W61区			
SK101	S101	土坑	A63区	4.99m		検土の入る土坑
SD102	S102	溝状	A63区	5.01m		
SD103	S103	溝状	X63/W63区等	4.64m (Y63)		S105に切られる。
			X63区	4.63m		
SD104	S104	溝状	Z64区	4.75m		
			W62区	4.40m		S103との関係不明。
SX105	S105	匂舎層	W63区	4.38m		
			V63区	4.49m		S123になるかも(11/8)
SD107	S107	溝状	W63区	4.54m		SK105に切られる、S103との関係不明。
			X63区	4.57m		
			X64区	4.76m		
SD108	S108	溝状	W62/63/X63	4.34m		SD103・104・109・110に切られる。
SE108	S108	井戸?	W62/63区	4.29m		
SD109	S109	探土坑	X62/63区			S107を切る。
SK110	S110	土坑	V62/W62区	4.40m		溝群、S107を切る。
SK111	S111	土坑	Y64区	4.75m		コンクリート壁が切る。
SD112	S112	溝状	V62/63/W63	4.54m		
			V61区	4.45m		
			V62区	4.25m		
			V63区	4.45m		
			W63区	4.47m		
			X65区	4.59m		

第41次調査区遺構一覧表 3

本報告の遺構番号	旧遺構番号	遺構の性格	遺構の位置	検出標高	遺構の時期	特記事項
SD113	S113	溝状	U63/64V63区	4.5m		3条あり。
SP114	S114	溝状	U63区	4.56m		S122と同一？(11/22)
SD115	S115	溝状	Y63/64区			
SK116	S116	土坑	V61/62区	4.59m		並んだ2基をSK116とする
SK117	S117	土坑	Z63区	4.78m		
SK118	S118	土坑	Z63区	4.77m		焼土少量。
SK119	S119	土坑	Y63区			S120を切る。
SK120	S120	土坑	Y62/63区	4.69m		
SD121	S121	溝状	Y63区			S119に切られる。
SD122	S122	溝状	V63区			S113との前後関係不明(11/22)
SK123	S123	溝状	V63/W63区			S103-113を切る。SD112とSD103の交点
SK124	S124	土坑	Z63区	4.97m		
SK125	S125	土坑	Z63区	4.78m		全面に少量の焼土。
SP126	S126	土坑	C63区			道路下層。
SX127	S127	土坑	Z63/64区	4.74m		茶褐色中に黒褐色が混んで分布。
SK128	S128	土坑	X64区			焼土。
SK129	S129	探土坑	X63区			S109と同じ。
SD130	S130	溝状	X64区	4.63m		中央部に疎集中。
SK131	S131	土坑	X61/62区			雑群
SD132	S132	溝状	W61/X61区			S133と密接。浅い溝。
SD133	S133	溝状	X61区	4.62m		深い溝。
SK134	S134	土坑	X61/62区			照褐色土の浅い土坑。
SK135	S135	土坑	X62区			下位でS90検出。
SK136	S136	土坑	X62区			雑群
SK137	S137	探土坑	X62区			
SK138	S138	土坑	C63区			
SK139	S139	土坑	W64区			
SK140	S140	探土坑？	X64区	4.44m		S140に切られる。
SK141	S141	土坑				
SK142	S142	土坑	X63/Y63区	4.52m		礎
SK143	S143	土坑	X63/Y63区	4.52m		SK142の北側。
SK144	S144	土坑	B63区			焼土が堆積。
SD145	S145	溝状	V63区	4.07m		S103の下層で、二列並行の北溝。
SK146	S146	土坑	Y62区			
SK147	S147	土坑	Y62区	4.57m		浅い。
SK148	S148	土坑	X63区	4.46m		雑群
SK149	S149	土坑	V64区	4.49m		
SE150	S150	井戸	Z62区	4.53m		井戸側は礎。
SD151	S151	溝状	B63区	5.02m		SD169と同じ。
SK152	S152	土坑	A64区	4.76m		焼土の浅い土坑。半分は第36次調査区。
SK153	S153	土坑	A64区	4.76m		浅い土坑。
SK154	S154	土坑	Z64区	4.76m		
SK155	S155	土坑	Z64区	4.76m		SK154と同じか？
SD156	S156	土坑	A64区			
SD156	S156	溝状	X62区	4.45m		
SK157	S157	土坑	C64区			SK152と同じ？
SK158	S158	土坑	Z63区	4.59m		道路下の土坑。
SD159	S159	溝状	B63区	5.03m		S124の南にある。
SK160	S160	土坑	Y63区	4.59m		
SK161	S161	土坑	Y63区	4.50m		埋土最上層は砂層。厚さ79cm。
SK162	S162	土坑	Z64区	4.65m		
SK163	S163	土坑	Z63区	4.74m		焼土なし。周辺は一面焼土。
SE164	S164	井戸？	A64区			厚さ3cmの土坑
SD165	S165	溝状	X62区	4.39m		SK137が切る。
SK166	S166	土坑	X62区			
SK167	S167	土坑	X62区	4.50m		
SK168	S168	土坑	Y62区	4.56m		
SD169	S169	溝状	B63区	5.04m		SD151と同じ。
SD170	S170	溝状	B63区北西	4.99m		
SK171	S171	土坑	T60区	4.37m		
SK172	S172	土坑	U60区			
SK172	S172	土坑	T62区	4.41m		
SK172	S172	土坑	Z64区	4.81m		溝の上面高
SX173	S173	土坑	Z64区	4.80m		雑群

第41次調査区遺構一覧表4

本報告の遺構番号	旧遺構番号	遺構の名称	遺構の位置	検出標高	遺構の時期	特記事項
SK174	S174	土坑	D62/63区			
SK175	S175	土坑	D64区	4.99m		
SK176	S176	土坑	T59区	4.39m		土師器片多量。遺物の上面高4.99m
SK177	S177	土坑	D63区			
SK178	S178	土坑	D64区	4.85m		S10-38に切られる。埋土は炭化物・焼土
SK179	S179	土坑	D64区			S81に切られる。
SK180	S180	土坑	D63区			S4・S180に切られる。
SK181	S181	土坑	D63区	4.86m		SK179を切る。
SK182	S182	土坑	C63/D63区			
SK183	S183	土坑	C63/D63区	5.12m		
SK184	S184	土坑	C63区	5.10m		
SK185	S185	土坑	C63/64区	4.96m		焼土が多く入る。
SK186	S186	土坑	C64区			上部は炭と焼土、舟徳利。
SK187	S187	土坑	C63区			種多数。
SK188	S188	土坑	X61区	4.49m		
SK189	S189	土坑	X61区	4.47m		
SK190	S190	土坑	B63区	4.04m		内部に礫群
SK191	S191	土坑	V60区			
SK192	S192	土坑	V60/W60区	4.46m		
SK193	S193	土坑	X63区	4.37m		
SK194	S194	土坑	D62/63区			SD165を切る。深さ12cm。
SK195	S195	土坑	D62/63区			SK179を切る。
SK196	S196	土坑	D63区			全層に炭混入。
SK197	S197	土坑	B63区	4.88m		SK195に切られる。炭・土少量。
SK198	S198	土坑	A63区			砂多量。
SK199	S199	土坑	A63区			
SD200	S200	溝状	C64区			
SK201	S201	土坑	C63区			第36次に続く。
SK202	S202	土坑	C63区			SK184の下層。
SD203	S203	溝状	C63区	4.80m		SK185の西側。
SK204	S204	土坑	C63/64区			
SK205	S205	土坑	C64区			
SK206	S206	土坑	A63区	4.86m		
SK207	S207	土坑	C64区			焼土多量。
SE208	S208	井戸?	Z63区	4.55m		SK185から分層。
SD209	S209	溝状	Z62/63区	4.58m		
SD210	S210	溝状	Y63区	4.52m		3条からなる。
SK211	S211	土坑	Y64	4.55m		土師器完形。
SD212	S212	溝状	V59-60区	4.60m		掘土坑?
SD213	S213	溝状	C63区		C64区で4.66m, C63区で4.77m	
SP214	S214	柱穴類	Z64/A64区	4.89m		SD203との関係不明(2/17)
SD215	S215	溝状	Z63区	4.88m		SK153と同じ?
SK216	S216	土坑	B64区			
SK217	S217	土坑	B64区	4.78m		
SK218	S218	土坑	F63区	4.97m		
SK219	S219	土坑	F63区	4.96m		鏡蓋2枚。
SK220	S220	土坑	F63区	4.97m		
SK221	S221	土坑	F63区	4.94m		
SK222	S222	土坑	F63区	4.92m		長方形。焼土。
SK223	S223	土坑	F63区	5.09m		焼土。
SK224	S224	土坑	B64区			
SK225	S225	土坑	B64区			
SD226	S226	溝状	B63区	4.96m		
SD227	S227	溝状	B63区	4.96m		SD258と同じ。
SK228	S228	土坑	E63区	4.97m		
SK229	S229	土坑	E63区	4.96m		
SD230	S230	溝状	Y63区	4.37m		
SK231	S231	土坑	B64区	4.88m		SK211の下位検出。
SK232	S232	土坑	B64区	5.28m		SK79に切られる。
SK233	S233	土坑	V60区	4.07m		
SK234	S234	土坑				S112を切る。SD170に切られる。
SD235	S235	溝状	U60区			
SK236	S236	土坑	E63区	4.86m		S112の北西側のこと
SK237	S237	土坑	E63区	4.92m		焼土。
SK238	S238	土坑	E63区	4.92m		
SK239	S239	土坑	E63区	4.93m		SK38・S1に切られる

第41次調査区遺構一覧表5

本報告の遺構番号	百遺跡番号	遺構の性格	遺構の位置	検出標高	遺構の時期	特記事項
SD240	S240	溝状	C63区	4.74m		S255と同じ。
SK241	S241	土坑	E63区	4.94m		
SK242	S242	竪穴	E63/F63区	4.96m		地下式竪穴。土師器圓形1。
SK243	S243	土坑	E63区/D63区	4.87m		S38と同じ?
SK244	S244	土坑	F63区	4.76m		
SK245	S245	土坑	B63/64区	4.60m		
SD246	S246	溝状	B64区南	4.60m		
SD247	S247	溝状	B63区	4.56m		
SD248	S248	溝状	A63/B63区	4.58m		SD246を切る。
SK249	S249	土坑	A63/B63区	4.58m		
SD250	S250	溝状	Z63/A63区	443m(Z区)・ 453m(A区)		
SK251	S251	土坑	Z64/A64区			SK153と同じ?
SP252	S252	柱穴類	A63区	4.58m		
SP253	S253	柱穴類	A64区	4.42m		遺物なし
SK254	S254	土坑	A64区	4.44m		遺物なし
大森	S255					SD240と同じ。
SD256	S256	溝状	B63区			
SD257	S257	溝状	Y63/64区			第36次に続く。
SD258	S258	溝状	B63/C63区			
SK259	S259	土坑	E63区			
SD263	S263	溝状	V64区	4.46m		
SP1000		柱穴類	A63区	5.09m		
SP1001		柱穴類	E64区	5.09m		
SP1002		柱穴類	E64区	5.08m		
SP1003		柱穴類	C63区	5.09m		
SP1004		柱穴類	C63区	5.05m		
SP1005		柱穴類	D63区	5.08m		
SP1006		柱穴類	D63区	5.13m		
SP1007		柱穴類	D63区	5.09m		
SP1008		柱穴類	D63区	5.07m		
SP1009		柱穴類	D63区	5.09m		
SP1010		柱穴類	D63区	5.08m		
SP1011		柱穴類	D63区	5.06m		
SP1012		柱穴類	D63区	5.09m		
SP1013		柱穴類	D63区	5.07m		
SP1014		柱穴類	D63区	5.07m		
SP1016		柱穴類	D63区	4.84m		
SP1017		柱穴類	D64区	5.08m		
SP1019		柱穴類	F64区	5.11m		
SP1020		柱穴類	F64区	4.85m		
SP1021		柱穴類	F64区	5.11m		
SP1022		柱穴類	F64区	5.12m		
SP1023		柱穴類	F64区	5.10m		
SP1024		柱穴類	F64区	5.12m		
SP1025		柱穴類	F64区	5.10m		
SP1026		柱穴類	D63区	5.30m		
SP1027		柱穴類	D63区	5.00m		
SP1029		柱穴類	F64区	5.12m		
SP1030		柱穴類	E64区	4.99m		
SP1031		柱穴類	E64区	5.08m		
SP1032		柱穴類	E64区	4.99m		
SP1033		柱穴類	F64区	4.93m		
SP1034		柱穴類	E64区	4.97m		
SP1035		柱穴類				
SP1036		柱穴類	E64区	4.99m		
SP1037		柱穴類	E64区	5.00m		
SP1038		柱穴類	E64区	4.99m		
SP1040		柱穴類	F63区	5.18m		
SP1041		柱穴類	F63区	5.02m		
SP1042		柱穴類	F63区	5.06m		
SP1043		柱穴類	F63区	5.17m		
SP1044		柱穴類	A63区	4.95m		
SP1045		柱穴類	A63区	4.93m		

第41次調査区遺構一覧表 6

本報告の 遺構番号	旧遺構番号	遺構の性格	遺構の位置	検出標高	遺構の時期	特 記 事 項
SP1046		柱穴類	A63区	4.92m		
SP1047		柱穴類	A63区	4.97m		
SP1049		柱穴類	F63区	5.21m		
SP1050		柱穴類	E63区	5.07m		
SP1051		柱穴類	E63区	5.06m		
SP1052		柱穴類	E63区	5.03m		
SP1053		柱穴類	A64区	4.98m		
SP1054		柱穴類	A64区	5.00m		
SP1055		柱穴類	A64区	5.00m		
SP1056		柱穴類	A64区	4.97m		
SP1068		柱穴類	A63区	5.12m		
SP1069		柱穴類	A63区	5.09m		
SP1070		柱穴類	A63区	5.13m		
SP1071		柱穴類	A63区	5.00m		
SP1072		柱穴類	B64区	5.07m		
SP1073		柱穴類	B64区	5.07m		
SP1074		柱穴類	B64区	5.07m		
SP1075		柱穴類	B64区	5.06m		
SP1076		柱穴類	B64区	5.09m		
SP1077		柱穴類	B64区	5.11m		
SP1078		柱穴類	B64区	5.10m		
SP1079		柱穴類	B64区	5.11m		
SP1080		柱穴類	B64区	5.11m		
SP1082		柱穴類	B64区	5.11m		
SP1085		柱穴類	B64区	5.07m		
SP1086		柱穴類	B64区	5.09m		
SP1087		柱穴類	B64区	5.06m		
SP1088		柱穴類	B64区	5.12m		
SP1089		柱穴類	B64区	5.09m		
SP1090		柱穴類	B64区	5.09m		
SP1091		柱穴類	B64区	5.10m		
SP1092		柱穴類	B64区	5.16m		
SP1093		柱穴類	B64区	5.16m		
SP1094		柱穴類	B63区	5.08m		
SP1101		柱穴類	A63区	5.07m		
SP1102		柱穴類	Y62区	4.59m		
SP1103		柱穴類	Y62区	4.57m		
SP1104		柱穴類	Y62区	4.58m		
SP1105		柱穴類	Y62区	4.58m		
SP1106		柱穴類	Y62区	4.56m		
SP1107		柱穴類	Y62区	4.57m		
SP1108		柱穴類	Y62区	4.59m		
SP1109		柱穴類	Y62区	4.57m		
SP1110		柱穴類	Y62区	4.59m		
SP1111		柱穴類	Y62区	4.58m		
SP1112		柱穴類	Y62区	4.59m		
SP1113		柱穴類	Y62区	4.57m		
SP1115		柱穴類	Y62区	4.57m		
SP1116		柱穴類	Y62区	4.58m		
SP1117		柱穴類	Y62区	4.58m		
SP1118		柱穴類	Y62区	4.59m		
SP1119		柱穴類	D63区	4.99m		
SP1120		柱穴類	D63区	5.00m		
SP1121		柱穴類	D63区	5.04m		
SP1122		柱穴類	C63区	5.03m		
SP1123		柱穴類	C63区	5.08m		
SP1124		柱穴類	C63区	5.02m		
SP1127		柱穴類	C63区	5.17m		
SP1128		柱穴類	C63区	4.86m		
SP1129		柱穴類	C63区	5.20m		南西向き傾斜柱痕
SP1130		柱穴類	C63区	5.20m		南向き傾斜柱痕
SP1131		柱穴類	C63区	5.21m		
SP1132		柱穴類	C63区	5.20m		
SP1136		柱穴類	Y62区	4.57m		
SP1137		柱穴類	A63区	5.02m		
SP1138		柱穴類	A63区			

第41次調査区遺構一覧表7

本報告の 遺構番号	旧遺構番号	遺構の性状	遺構の位置	検出標高	遺構の時期	特 記 事 項
SP1139		柱穴類	E64区	5.00m		SE79を切る
SP1140		柱穴類	A63区	5.02m		焼土の入る遺構
SP1141		柱穴類	F63区	4.95m		焼土の入る遺構。平石を据える
SP1142		柱穴類	A63区	5.03m		
SP1143		柱穴類	A63区	5.02m		
SP1144		柱穴類	A63区	5.04m		
SP1145		柱穴類	A63区	5.01m		焼土の入る遺構
SP1146		柱穴類	A63区	5.01m		
SP1147		柱穴類	A63区	5.01m		
SP1148		柱穴類	A63区	4.91m		焼土の入る遺構
SP1149		柱穴類	A63区	5.02m		焼土の入る遺構
SP1150		柱穴類	A63区	4.99m		焼土の入る遺構
SP1151		柱穴類	A63区	4.97m		
SP1152		柱穴類	A63区	5.00m		焼土の入る遺構
SP1153		柱穴類	A63区	5.01m		焼土の入る遺構
SP1154		柱穴類	B63区	5.11m		
SP1155		柱穴類	B63区	5.11m		
SP1156		柱穴類	A63区			
SP1157		柱穴類	B63区	5.12m		
SP1158		柱穴類	A63区			
SP1159		柱穴類	D63区	5.00m		
SP1160		柱穴類	A64区	5.01m		
SP1161		柱穴類	A64区	5.00m		
SP1162		柱穴類	A64区	4.95m		
SP1163		柱穴類	A64区	5.01m		
SP1164		柱穴類	A64区	4.68m		
SP1165		柱穴類	A64区	5.06m		
SP1166		柱穴類	E64区	5.00m		
SP1167		柱穴類	E63区	4.96m		
SP1168		柱穴類	E63区	4.97m		
SP1169		柱穴類	D63区	4.98m		
SP1170		柱穴類	E63区	4.97m		
SP1171		柱穴類	D63区	5.03m		
SP1172		柱穴類	E63区	4.92m		
SP1173		柱穴類	A64区	4.90m		
SP1174		柱穴類	A64区	4.91m		
SP1175		柱穴類	A64区	4.91m		
SP1176		柱穴類	A64区	4.94m		
SP1177		柱穴類	A64区	4.90m		
SP1178		柱穴類	A64区	4.90m		
SP1180		柱穴類	A63区	4.98m		
SP1181		柱穴類	A63区	5.00m		
SP1182		柱穴類	A63区	5.02m		
SP1183		柱穴類	A63区	5.02m		
SP1185		柱穴類	A63区	4.99m		
SP1186		柱穴類	A63区	4.96m		
SP1187		柱穴類	A63区	4.97m		焼土の入る遺構
SP1188		柱穴類	A63区	4.95m		
SP1189		柱穴類	A63区	4.99m		
SP1190		柱穴類	A63区	5.01m		焼土の入る遺構
SP1192		柱穴類	A63区	4.95m		焼土の入る遺構
SP1193		柱穴類	A63区	5.02m		逆斜する同・遺構か、焼土の入る遺構
SP1194		柱穴類	A63区	4.95m		
SP1195		柱穴類	A63区	4.96m		
SP1196		柱穴類	A63区	4.88m		
SP1197		柱穴類	A63区	4.89m		
SP1198		柱穴類	A63区	4.89m		
SP1199		柱穴類	A63区	5.00m		焼土の入る遺構
SP1200		柱穴類	A63区	5.02m		
SP1201		柱穴類	A63区	4.94m		
SP1202		柱穴類	A63区	4.96m		
SP1203		柱穴類	B63区	5.09m		
SP1205		柱穴類	E63区	4.98m		
SP1206		柱穴類	D64区	4.97m		
SP1207		柱穴類	D64区	5.03m		
SP1208		柱穴類	D64区	4.99m		

第41次調査区遺構一覧表 8

本報告の遺構番号	旧遺構番号	遺構の性格	遺構の位置	検出標高	遺構の時期	特記事項
SP1209		柱穴類	D64区	4.098m		
SP1211		柱穴類	C63区	5.01m		
SP1212		柱穴類	C63区	5.07m		
SP1213		柱穴類	C63区	5.07m		
SP1214		柱穴類	C63区	5.10m		
SP1215		柱穴類	Z63区	4.81m		
SP1217		柱穴類	Z63区	4.81m		
SP1256		柱穴類	X63区	4.44m		
SP1257		柱穴類	X63区	4.44m		
SP1258		柱穴類	X63区	4.40m		
SP1259		柱穴類	X63区	4.41m		
SP1268		柱穴類	A64区	4.76m		
SP1269		柱穴類	A64区	4.78m		
SP1270		柱穴類	A64区	4.75m		
SP1271		柱穴類	A64区	4.71m		
SP1272		柱穴類	A64区	4.71m		
SP1273		柱穴類	A64区	4.75m		
SP1274		柱穴類	A64区	4.75m		
SP1275		柱穴類	A64区	4.75m		
SP1276		柱穴類	A64区	4.74m		
SP1277		柱穴類	A64区	4.73m		
SP1278		柱穴類	A64区	4.76m		
SP1280		柱穴類	A64区	4.76m		
SP1281		柱穴類	A64区	4.77m		
SP1282		柱穴類	A64区	4.77m		
SP1283		柱穴類	A64区	4.76m		
SP1284		柱穴類	A64区	4.75m		
SP1285		柱穴類	A64区	4.76m		
SP1289		柱穴類	B63区	5.05m		
SP1290		柱穴類	A63区	4.76m		
SP1291		柱穴類	A63区	4.69m		
SP1293		柱穴類	A63区	4.74m		
SP1294		柱穴類	A63区	4.72m		
SP1294		柱穴類	F62区	4.93m		
SP1296		柱穴類	Y63区	4.60m		
SP1298		柱穴類	Y63区	4.56m		
SP1299		柱穴類	A64区	4.71m		
SP1300		柱穴類	X62区	4.44m		
SP1301		柱穴類	X62区	4.45m		
SP1302		柱穴類	X62区	4.46m		
SP1303		柱穴類	X62区	4.46m		
SP1305		柱穴類	W62区	4.42m		
SP1306		柱穴類	Z62区	4.54m		
SP1307		柱穴類	Z62区			
SP1308		柱穴類	Z62区	4.57m		
SP1309		柱穴類	Z62区	4.66m		
SP1310		柱穴類	Z63区	4.54m		
SP1311		柱穴類	Z63区	4.60m		
SP1312		柱穴類	Z63区	4.60m		
SP1313		柱穴類	Z63区	4.59m		
SP1315		柱穴類	Z63区	4.59m		
SP1316		柱穴類	Y62区	4.59m		
SP1316		柱穴類	C64区	5.06m		
SP1317		柱穴類	C64区	5.06m		
SP1318		柱穴類	C64区	5.06m		
SP1319		柱穴類	C64区	5.05m		
SP1320		柱穴類	C64区	4.99m		
SP1321		柱穴類	D63区	4.97m		
SP1322		柱穴類	D63区	4.80m		
SP1323		柱穴類	D63区	4.80m		
SP1324		柱穴類	D64区	4.79m		
SP1325		柱穴類	D64区	4.80m		
SP1326		柱穴類	D64区	4.80m		
SP1328		柱穴類	D64区	4.89m		
SP1329		柱穴類	D63区	4.84m		
SP1330		柱穴類	D63区	4.85m		土師器Ⅲ 1
SP1331		柱穴類	D63区	4.88m		

第41次調査区遺構一覧表 9

本報告の遺構番号	旧遺構番号	遺構の性格	遺構の位置	検出高さ	遺構の時期	特 記 事 項
SP1332		柱穴類	D64区	4.84m		
SP1333		柱穴類	D64区	4.83m		
SP1334		柱穴類	D63区	4.85m		
SP1335		柱穴類	D63区	4.85m		
SP1336		柱穴類	D63区	4.79m		
SP1337		柱穴類	D64区	4.81m		
SP1338		柱穴類	D64区	4.79m		
SP1339		柱穴類	Z63区	4.52m		
SP1340		柱穴類	Z63区	4.61m		
SP1341		柱穴類	C63区	4.79m		
SP1342		柱穴類	D62区	4.90m		
SP1343		柱穴類	Y62区	4.61m		
SP1344		柱穴類	Y62区	4.52m		
SP1345		柱穴類	W61区	4.50m		
SP1350		柱穴類	V61区	4.62m		
SP1351		柱穴類	V61区	4.56m		
SP1362		柱穴類	A64区	4.73m		
SP1353		柱穴類	B63区	4.89m		
SP1358		柱穴類	X61区	4.54m		
SP1359		柱穴類	X61区	4.56m		
SP1366		柱穴類	A63区	4.87m		
SP1370		柱穴類	A64区	5.13m		
SP1375		柱穴類	A64区	4.99m		
SP1376		柱穴類	A64区	4.91m		
SP1377		柱穴類	A63区	5.03m		
SP1373		柱穴類	C63区	4.73m		
SP1375		柱穴類	B63区	4.78m		
SP1378		柱穴類	A63区	5.04m		
SP1379		柱穴類	B63区	4.89m		
SP1380		柱穴類	A63区	5.06m		
SP1381		柱穴類	A63区	5.14m		
SP1382		柱穴類	A63区	5.14m		
SP1387		柱穴類	Z64区	4.79m		
SP1888		柱穴類	Z63区	4.88m		土手内。
9K1389		柱穴類	Z63区	4.92m		小型。土手撤去時に拡大。
SP1392		柱穴類	F63区	4.97m		
SP1393		柱穴類	F63区	4.96m		
SP1394		柱穴類	F62区	4.96m		
SP1395		柱穴類	F63区	4.96m		
SP1396		柱穴類	F63区	4.94m		
SP1397		柱穴類	F63区	4.94m		
SP1399		柱穴類	F63区	4.94m		
SP1400		柱穴類	F63区	4.92m		
SP1401		柱穴類	F63区	4.93m		
SP1402		柱穴類	F63区	4.93m		
SP1403		柱穴類	F63区	4.92m		向かい合わせの上階梁四枚
SP1404		柱穴類	B63区	4.71m		
SP1405		柱穴類	B63区	4.73m		
SP1406		柱穴類	B63区	4.72m		
SP1407		柱穴類	B63区	4.89m		
SP1408		柱穴類	B63区	4.87m		
SP1409		柱穴類	B63区	4.86m		
SP1410		柱穴類	F63区	4.92m		
SP1414		柱穴類	E63区	4.94m		
SP1415		柱穴類	E63区	4.95m		
SP1416		柱穴類	E63区	4.97m		
SP1417		柱穴類	E63区	4.97m		
SP1418		柱穴類	F64区	4.77m		
SP1419		柱穴類	F64区	4.80m		
SP1420		柱穴類	F64区	4.87m		
SP1421		柱穴類	F64区	4.83m		
SP1425		柱穴類	F63区	5.01m		平石を据える
SP1426		柱穴類	F63区	5.00m		
SP1427		柱穴類	E63区	4.73m		
SP1428		柱穴類	E63区	4.74m		
SP1429		柱穴類	E63区	4.89m		

第41次調査区遺構一覧表10

本報告の遺構番号	旧遺構番号	遺構の性格	遺構の位置	検出標高	遺構の時期	特記事項
SP1430		柱穴類	E63区	4.88m		
SP1431		柱穴類	E63区	4.93m		
SP1434		柱穴類	F64区	4.93m		
SP1437		柱穴類	E63区	5.10m		
SP1438		柱穴類	E63区	4.99m		
SP1443		柱穴類	F63区	4.80m		
SP1444		柱穴類	E63区	4.79m		
SP1445		柱穴類	E63区	4.86m		
SP1446		柱穴類	A63区	4.61m		平石を掘える
SP1447		柱穴類	A63区	4.58m		平石を掘える
SP1448		柱穴類	A63区	4.63m		
SP1449		柱穴類	A63区	4.61m		
SP1452		柱穴類	A63区	4.62m		
SP1453		柱穴類	A63区	4.52m		
SP1454		柱穴類	A63区	4.51m		
SP1455		柱穴類	B63区	4.61m		
SP1456		柱穴類	B63区	4.69m		
SP1457		柱穴類	A64区	4.52m		
SP1459		柱穴類	A64区	4.51m		
SP1460		柱穴類	A63区	4.49m		
SP1461		柱穴類	A63区	4.52m		
SD2000		柱穴類	W61/62区	4.45m		
SD2001			B64区	4.76m		
SD2002	なし	溝状	X64区	4.65m		
焼貨			B64区	5.24m		木製の円盤に載っていた。
鏡貨			E64区	5.34m		11枚

遺物觀察表

府内町跡41次調査区遺物観察表 1

標本No.	器 種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考(網は起遺構にも分布するもの)	
			口径(径)	底径(幅)	高(厚)			
第11図1	在地系土師器	皿	在地	8.6	4.8	1.7	SK1	段々土師器
第11図2	京都系土師器	皿	在地	9.4			SK1	
第11図3	京都系土師器	皿	在地	8.5		1.9	SK1	口縁部に煤付着
第11図4	京都系土師器	皿	在地	8.6		2.1	SK1	
第11図5	白磁	皿	中国	11.8	5	2.8	SK1	
第11図6	瓦質土器	錘鉢	在地				SK1	S220-1が同一個体
第11図7	瓦質土器	鉢	在地				SK1	内面から口縁外部は斜め刷毛
第11図8	瓦質土器	鉢	在地				SK1	溝槽は7と同じ
第11図9	磁器青花	小杯	焼締鉢	5.4	7.6	3.4	SK1	
第13図1	在地系土師器	皿	在地	8.4	6	1.4	SK2	底部に糸切・板状圧痕
第13図2	陶器	鉢	備前				SK2	
第13図3	赤土器	甕	在地	19.6			SK2	刷毛目調整
第13図4	弥生土器	甕	在地	21.4			SK2	外面に突帯
第13図5	土師器	高杯	在地				SK2	
第15図1	在地系土師器	皿	国内	13.2	7.4	2.2	SK3	段々土師器
第15図2	陶器	甕	備前				SK3	S3-8
第15図3	瓦質土器	鉢	在地	22.8			SK3	S3-6. なで調整
第15図4	瓦質土器	鉢	在地				SK3	
第15図5	弥生土器	甕	在地	15.5			SK3	
第15図6	鉄器	釘	在地	8.5	0.5	6.6g	SK3	
第15図7	鉄器		在地				SK3	隠なし
第17図1	在地系土師器	皿	在地	10.1		3.6	SK4	
第17図2	京都系土師器	皿	在地	10.3		1.8	SK4	
第17図3	京都系土師器	皿	在地	11.6		3.4	SK4	
第17図4	京都系土師器	皿	在地	11.8		2.0	SK4	S4-144
第17図5	京都系土師器	皿	在地	10.4		2.1	SK4	S4-137
第17図6	京都系土師器	皿	在地	9.4		1.7	SK4	口縁部に煤付着
第17図7	京都系土師器	皿	在地	12.3		2.6	SK4	S4-95+107
第17図8	京都系土師器	皿	在地	8.6		1.9	SK4	
第17図9	京都系土師器	皿	在地	7.6		1.8	SK4	
第17図10	京都系土師器	皿	在地	11.6		2.6	SK4	S4-132
第17図11	京都系土師器	皿	在地	11.9		2.6	SK4	S4-105
第17図12	京都系土師器	皿	在地	12.0		2.3	SK4	S4-123
第17図13	京都系土師器	皿	在地	11.6		2.5	SK4	S4-138
第17図14	京都系土師器	皿	在地	12.8		2.6	SK4	S4-111~113. 煤付着
第17図15	京都系土師器	皿	在地	9.0		2.1	SK4	S4-42. 煤付着
第17図16	京都系土師器	皿	在地	12.5		2.4	SK4	S4-126. 見込みに刻み線
第17図17	京都系土師器	皿	在地	9.3		1.7	SK4	
第17図18	京都系土師器	皿	在地	7.4		1.7	SK4	
第17図19	京都系土師器	皿	在地	19.2			SK4	S4-120
第17図20	京都系土師器	皿	在地	11.7		2.6	SK4	S4-88
第17図21	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.3	SK4	
第17図22	陶器	甕	備前	11.1			SK4	磨揃き波状文. S4-129+130
第17図23	陶器	煎	備前				SK4	S4-94. 磨小径3.0cm
第18図24	陶器	煎	備前				SK4	S4-119
第18図25	陶器	四耳壺	タイ				SK4	S4-28. 外重下半に輪多い.
第18図26	瓦質土器	鉢	在地				SK4	外面板状ナシ
第18図27	陶器	鉢	備前	25.9	15.0	15.7	SK4	S4-63・75・78-83-86-90-91-96
第18図28	瓦質土器	火鉢	在地					S4-110
第18図29	瓦質土器	火鉢	在地	34.6	27.6		SK4	S4-42
第19図30	瓦質土器	火鉢	在地	13.5	11.1	3.8	SK4	S4-64. 刻印2種
第19図31	須恵器	高杯	国内				SK4	S4-108

府内町跡41次調査区遺物観察表 2

種別No.	器 種	生産地	法属(単位cm)			遺物名	備考(※は他遺構にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(幅)	高(厚さ)			
第19図32	瓦質	埴	在地		3.0	SK4	S4-17	
第19図33	瓦質	埴	在地		3.2	SK4	S4-16	
第19図34	石製品	茶臼下臼	在地	13.1	16.0	14.0	SK4	S4-134
第19図35	石製品	上臼	安山岩			7.7	SK4	S4-61
第19図36	鉄製品	組合わせ		9.6	4.1	25.2g	SK4	S4-142
第19図37	陶器	三彩	華南				SK1	S4-45
第19図38	ガラス玉	孔		0.4	0.3		SK4	S4-106, 緑色
第19図39	石製品	上臼	安山岩	32.8	31.6	8.2	SK4	S4-72
第20図40	磁器	青花碗		14.8			SK4	S4-147, 内面型押し紋
第20図41	磁器	青花皿	漳州窯	18.4	10.1	2.7	SK4	S4-65~67
第20図42	磁器	青花皿	景德鎮				SK4	
第20図43	磁器	青花皿	景德鎮				SK4	
第21図44	銅製品	銭貨	中国	2.4		2.6g	SK4	字不明
第23図1	京都系土師器	皿	在地	12.7		2.5	SK5	S6-1
第23図2	京都系土師器	皿	在地	12.4			SK5	S5-4
第23図3	瓦質土器	鉢	在地				SK5	S5-2, ナゲ調整
第25図1	在地系土師器	皿	在地	12.0		3.6	SK6	煤付着
第25図2	在地系土師器	皿	在地	12.3	8.2	3.6	SK6	
第25図3	京都系土師器	皿	在地	17.2		2.4	SK6	
第25図4	京都系土師器	皿	在地	12		3.5	SK6	
第25図5	京都系土師器	皿	在地	9.4			SK6	
第25図6	京都系土師器	皿	在地	8.6		2.1	SK6	
第25図7	京都系土師器	皿	在地				SK6	
第25図8	京都系土師器	皿	在地				SK6	
第25図9	土師質土器	埴	国内	11	5	4.1	SK6	全面ナゲ調整
第25図10	土師質土器	埴	国内				SK6	
第25図11	石製品	紡錘車	在地	4.1	1.4	9.0g	SK6	凝灰岩
第25図12	青銅製品	火箸?	在地	4.7	0.3	5.8g	SK6	
第25図13	鉄器		在地	5.7	1.1	5.4g	SK6	
第27図1	京都系土師器	皿	在地	12.8		2.5	SK7	
第27図2	陶器	天目碗	瀬戸式濃	11.2	4.5	6	SK7	S7-5+7
第27図3	陶器	天目碗	瀬戸美濃	11.8			SK7	S7-1
第27図4	鉄製品	斧	在地	12	6	308.5g	SK7	S7-4
第29図1	京都系土師器	皿	在地	8		2	SK8	S8-1
第30図1	京都系土師器	皿	在地	8		2	SK10	すず付着
第30図2	京都系土師器	皿	在地	12		3	SK10	
第30図3	京都系土師器	皿	在地	11.9		3.2	SK10	S10-2
第30図4	陶器	捕鉢	備前	28.4			SK10	
第30図5	土師質土器	埴	国内				SK10	内外面へう磨き
第30図6	鉄製品	ヤス?	国内	17.3	1.3	19.7g	SK10	
第30図7	磁器	青花皿						一筆書き
第31図8	銅製品	銭貨	皇宋通宝	2.3		2.2g		1038年初鑄
第33図1	在地系土師器	皿	在地	12.7	8.9	3.4	SK11	S11-1
第33図2	在地系土師器	皿	在地	8.5	3.4	1.4	SK11	
第33図3	在地系土師器	皿	在地	8.5	7.2	1.1	SK12	
第33図4	京都系土師器	皿	在地	8.8		2.0	SK12	内面に煤付着
第33図5	土師質土器	埴	在地	10.2		4.8	SK12	
第35図1	銅製品	銭貨	開元通宝	2.4		2.5g	SK13	S13-1, 621年初鑄
第35図2	銅製品	銭貨	祥符通宝	2.2		1.9g	SK13	S13-8, 1009年初鑄
第35図3	銅製品	銭貨	天禧通宝	2.5		2.5g	SK13	S13-5, 1017年初鑄
第35図4	銅製品	銭貨	元祐通宝	2.4		2.6g	SK13	S13-6, 1086年初鑄
第35図5	銅製品	銭貨	紹聖元宝	2.4		2.5g	SK13	S13-7, 1094年初鑄

府内町跡41次調査区遺物観察表 3

種別No.	部 種	生産地	質量(単位cm)			遺構名	備考 (同じ遺構にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(短)	高(厚)重			
第35図6	銅製品	銭貨	大定通宝	2.5	2.5g	SK13	S13-9, 1178年初跡	
第35図7	銅製品	銭貨	永楽通宝	2.5	3.9g	SK13	S13-2, 1408年初跡	
第35図8	銅製品	銭貨	永楽通宝	2.5	3.0g	SK13	S13-3, 1408年初跡	
第35図9	銅製品	銭貨	永楽通宝	2.5	3.5g	SK13	S13-4, 1408年初跡	
第37図1	銅製品	銭貨	祥符元宝?	2.3	1.9g	SK14	S14-9, 1009年初跡	
第37図2	銅製品	銭貨	治平元宝	2.4	1.1g	SK14	S13-10, 1064年初跡	
第37図3	銅製品	銭貨	嘉祐通宝	2.2	1.3g	SK14	S13-5, 1017年初跡	
第37図4	銅製品	銭貨	治平元宝	2.4	1.8g	SK14	S13-11, 1064年初跡	
第37図5	銅製品	銭貨	洪武通宝	2.0	2.3g	SK14	S13-3, 1368年初跡	
第37図6	銅製品	銭貨	不明		1.4g	SK14	S13-2,	
第39図6	京都系土師器	皿	在地	7.4	1.5	SK15		
第39図8	青銅製品	ボタン状		1.6	1.3	9.0g	SK15	S15-1
第39図7	青銅製品	棒状		6.8	0.3	5.4g	SK15	S15-2
第39図1	在地系土師器	皿	在地	8.6	6.6	1.2	SK16	S16-1
第39図2	京都系土師器	皿	在地	19.6			SK16	
第41図1	在地系土師器	皿	在地	8	5	2	SK18	
第41図2	京都系土師器	皿	在地	9.3		2	SK18	S18-60
第41図3	京都系土師器	皿	在地	9.4		2	SK18	S18-61
第41図4	京都系土師器	皿	在地	9.4		2	SK18	S18-3, 煤付著
第41図5	京都系土師器	皿	在地	9		1.9	SK18	S18-40, 煤付著
第41図6	京都系土師器	皿	在地	4.6		2	SK18	S18-100, 煤付著
第41図7	京都系土師器	皿	在地	9.6		2.7	SK18	
第41図8	京都系土師器	皿	在地	13		2.4	SK18	
第41図9	京都系土師器	皿	在地	16		3.1	SK18	S18-101
第41図10	京都系土師器	皿	在地	17.6		2.7	SK18	S18-10
第41図11	京都系土師器	皿	在地	12.1		3.7	SK18	S18-79, 煤付著
第41図12	京都系土師器	皿	在地	11.3		3.5	SK18	S18-112
第41図13	京都系土師器	皿	在地	10.4		3.6	SK18	
第41図14	京都系土師器	皿	在地	11.2			SK18	
第41図15	京都系土師器	皿	在地	10.8		3.1	SK18	煤付著
第41図16	陶器	壺	備前	8.8			SK18	S18-36
第41図17	陶器	壺	備前		9.6		SK18	S18-62
第41図18	陶器	壺	備前	23			SK18	S18-91
第41図19	陶器	壺	備前		13.9		SK18	S18-1+65
第41図20	磁器	青花碗	景徳鎮	14			SK18	S18-112
第41図21	磁器	青花皿	景徳鎮				SK18	S18-38
第41図22	磁器	青花皿	景徳鎮				SK18	
第41図23	磁器	青磁鉢	中国				SK18	S18-8
第42図24	陶器	播鉢	備前	30			SK18	S18-92
第42図25	陶器	播鉢	備前	8.8/9.8	9	5.7	SK18	S18-49, 交叉すり目
第42図26	陶器	鉢	備前	32.2	22.4	7.2	SK18	S18-11
第42図27	陶器	鉢	備前	20.1			SK18	S18-78
第42図28	捺鉢の陶器	鉢	中国南部	28.4	16.2	12	SK18	S18-58
第43図29	瓦質土器	火鉢	在地	27.7	20.4	9.9	SK18	S18-23+45+87
第43図30	瓦質土器	火鉢	在地				SK18	雷紋
第43図31	瓦質土器	火鉢	在地				SK18	S18-106
第43図32	瓦質土器	播鉢	在地				SK18	S18-86
第43図33	瓦器	埴	在地	9.0			SK18	最下層黒色土出土
第43図34	石製品		凝灰岩	34.7	23.7	8.4kg	SK18	S18-109
第43図35	瓦	軒平瓦	在地	8.5			SK18	S18-50
第43図36	瓦質土器	埴埴	在地				SK18	
第43図37	石製品	磁石	在地	11.5	3.6	56.4g	SK18	結晶片岩

府内町跡41次調査区遺物観察表 4

検出No.	器種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考(前は他遺構にも分布するもの)	
			口径(%)	底径(%)	深高(%)			
第43図36	鉄製品	釘	在地	5.6	0.6	3.3g	SK18	
第43図39	鉄製品	釘	在地	6.8	0.6	6.2g	SK18	
第43図40	石製品	磨石	石製品	9.5	8.0	460.2g	SK18	六太郎石(山香町産)
第44図41	瓦	丸瓦	在地	17.3	15.0	3.0	SK18	S18-19
第45図42	石製品	下臼	在地	34.7		8.0	SK18	S18-25, 安山岩
第45図43	石製品	下臼	在地	37.0		6.7	SK18	S18-88, 安山岩
第45図44	石製品	上口	在地	16.1		9.4	SK18	S18-29, 安山岩
第45図45	石製品	下臼	在地	37.7		9.5	SK18	S18-25, 安山岩
第41図46	磁器	白磁皿			6.4		SK18	S18-81
第46図47	銅製品	銭貨	元徳通宝	2.3		2.3g	SK18	1978年初鑄
第48図1	京都系土師器	皿	在地	10.0		2.0	SK19	S19-1
第61図1	瓦	鬼瓦	在地				SK20	S20-11, 角閃石・長石
第61図2	石製品	紡錘車	在地	5.3	2.4	66.6g	SK20	白い凝灰岩
第51図3	石製品	上臼	在地			2.9	SK20	S20-5, 凝灰岩
第61図4	石製品	砥石	在地	18.2		5.9	SK20	S20-7, 結晶片岩
第61図5	石製品	砥石	在地	21.7	7.1	762.6g	SK20	S20-9結晶片岩
第51図6	ガラス玉	ガラス玉	在地	0.6	0.3		SK20	緑色
第51図7	鉄製品	釘	在地	5.3	1.2	5.2g	SK20	
第51図8	鉄製品	釘	在地	18.2	7.5	11.0g	SK20	
第51図9	磁器	青花皿	景徳鎮				SK20	
第50図10	銅製品	銭貨					SK20	
第52図1	京都系土師器	皿	在地	9.4		2.3	SK21	
第52図2	京都系土師器	皿	在地	12.0		2.4	SK21	
第52図3	陶器	壺	備前	14.1	8.2		SK21	S84-86/S146-2も
第52図4	瓦質土器	火鉢	在地				SK21	
第52図5	焼締め陶器	壺	中国南部	9.6	13.6	44.0	SK21	S21-9他, 暗茶褐色
第53図6	銅製品	銭貨	景徳元字	2.4		3.7g	SK21	S21-2, 1004年初鑄
第56図1	在地系土師器	皿	在地	11.6	6.8	2.0	SK22	
第56図2	瓦質	磚	在地	8.4		3.3	SK22	
第57図3	銅製品	銭貨	元徳通宝	2.4		2.3g	SK22	S21-1, 1078年初鑄
第58図1	京都系土師器	皿	在地	13.0		2.4	SK23	
第58図2	瓦質	土樋	在地	3.0	1.0	3.3g	SK23	
第58図3	瓦質	土樋	在地	3.5	1.2	4.6g	SK23	
第58図4	瓦質	土樋	在地	3.3	1.2	4.4g	SK23	
第58図5	青銅製品	棒状		3.7	0.3	1.1g	SK23	
第61図1	京都系土師器	皿	在地	14.5	4.0		SK26	S26-20, 見込みに煤付着
第61図2	京都系土師器	皿	在地	12.0		1.8	SK26	S26-46
第61図3	京都系土師器	皿	在地	20.0			SK26	S26-66
第61図4	陶器	播鉢	備前				SK26	S26-4+17, 交叉すり目
第61図5	陶器	壺	備前	9.2	7.4	9.0	SK26	S26-3+51, ヘラ掻き
第61図6	瓦質土器	火鉢	在地				SK26	S26-28
第61図7	磁器	白磁皿		14.1	9.8	2.8	SK26	S26-57
第61図8	瓦	平瓦	在地			2.3	SK26	S26-24+30
第62図9	銅製品	銭貨	元祐通宝	2.4		2.0g	SK26	S26-34, 1086年初鑄
第63図1	陶器	播鉢	肥前系				SK28	近世
第63図2	京都系土師器	耳皿	在地	6.2	4.4		SK30	
第66図1	京都系土師器	皿	在地	11.0		2.3	SK33	S33-5
第66図2	磁器	白磁皿	中国	16.0			SK33	
第66図3	磁器	青花碗	漳州窯			4.4	SK33	一筆掻き
第68図1	在地系土師器	皿	在地	10.2	5.9	10.2	SK34	S34-8
第68図2	京都系土師器	皿	在地	10.5		2.3	SK34	S34-2
第68図3	陶器	播鉢	備前	33.8	16.8	12.4	SK34	S34-9

府内町跡41次調査区遺物観察表 5

検体No	器 種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考 (跡は地遺構にも分布するもの)	
			口径(φ)	底径(φ)	高さ(厚)			
第68図4	陶器	播鉢	備前			SK34	S34-4	
第68図5	青銅製品	はばき	国内	2.6	3.3	12.1g	SK34	
第68図6	石製品	容器状	在地			SK34	S34-7. 凝灰岩	
第68図7	石製品	アイゴ羽口	在地	20.4	12.4		SK34	S34-3. 石塔の九輪を転用・凝灰岩
第71図1	京都系土師器	皿	在地	15.1		2.2	SK36	S36-6~8・10・11・21
第71図2	京都系土師器	皿	在地	12		2	SK36	S36-16・20・27・28・31~33
第71図3	京都系土師器	皿	在地	16.5		2.0	SK36	S36-2・12~14・18・27・47. 内面窪
第71図4	京都系土師器	皿	在地	10.4		2.4	SK36	S36-22~25・27・38・39. 内面窪
第71図5	京都系土師器	皿	在地	12.6			SK36	S36-14・15・41・45
第73図1	京都系土師器	皿	在地	11.8			SK37	S37-14
第73図2	陶器	播鉢	備前				SK37	S37-12
第73図3	焼締め陶器	壺	中国南部				SK37	S37-4. 濃い灰色
第73図4	瓦葺	埴	在地			3.4	SK37	S37-18
第74図5	石製品	下臼		37.2		4.9	SK37	S37-10
第74図6	石製品	下臼	砂岩				SK37	
第74図7	石製品	下臼	凝灰岩			10.2	SK37	
第74図8	石製品	容器状	凝灰岩	20.3			SK37	
第74図9	石製品	石塔?	凝灰岩	26.1			SK37	S37-27
第76図1	在地系土師器	皿	在地	11.6	6.8	2.6	SK38	S38-7. 段々土師器
第76図2	在地系土師器	皿	在地	5.6	3.5	1.2	SK38	S38-3. 段々土師器
第76図3	京都系土師器	皿	在地	19.2		3.2	SK38	S38-4
第76図4	京都系土師器	皿	在地	10.6		2.1	SK38	S38-8. 金色黄母少量
第78図5	青銅製品	円盤状		3.1	0.9	7.3g	SK38	S38-9
第78図6	銅製品	銭貨	照奉元宝	2.4		2.0g	SK38	1068年初鑄
第78図1	磁器	白磁皿		10.4	5.4	2.2	SK39	見込みは釉薬無し(備前)
第78図2	在地系土師器	皿	在地	12.3	6.0	2.9	SK40	S40-1. 段々土師器
第81図1	瓦質土器	鉢	在地				SK41	S41-3
第81図2	京都系土師器	皿	在地	13.0			SK47	内面窪付着
第81図3	京都系土師器	皿	在地	9.0		2.4	SK47	S47-2
第81図4	京都系土師器	皿	在地	15.6			SK48	
第81図5	京都系土師器	皿	在地	10.6		1.9	SK48	
第81図6	京都系土師器	皿	在地	13.4		2.2	SK49	S49-1
第81図7	京都系土師器	皿	在地	12.3		2.3	SK49	S49-6
第81図8	京都系土師器	皿	在地	8.6		1.9	SK49	S49-4
第81図9	京都系土師器	皿	在地	10.4		2.5	SK49	S49-3. 煤付着
第86図1	銅製品	箸		3.8	0.6	7.6g	SK55	S55-1
第86図1	在地系土師器	皿	在地	12.8	8.2	3.6	SK57	S57-23
第86図2	在地系土師器	皿	在地	12.0	8.7	3.7	SK57	S57-25
第86図3	在地系土師器	皿	在地	12.4	8.5	3.2	SK57	S57-24
第86図4	在地系土師器	皿	在地	12.7	9.2	3.2	SK57	S57-20
第86図5	在地系土師器	皿	在地	13.0	9.5	3.8	SK57	S57-14
第86図6	在地系土師器	皿	在地	10.4	7.3	1.1	SK57	S57-19
第86図7	在地系土師器	皿	在地	13.0	7.0	1.4	SK57	S57-10
第86図8	在地系土師器	皿	在地	13.0	8.8	3.5	SK57	S57-3
第86図9	在地系土師器	皿	在地	12.8	9.4	4.3	SK57	S57-11
第86図10	在地系土師器	皿	在地	8.4	7.3	1.1	SK57	S57-21
第86図11	在地系土師器	皿	在地	8.4	7.0	1.4	SK57	S57-29
第86図12	在地系土師器	皿	在地	8.4	6.0	1.2	SK57	S57-8
第86図13	瓦質土器	鉢	国内	29.4			SK57	S57-28
第86図14	瓦質	埴	在地	15.7		2.9	SK57	S57-23
第89図2	在地系土師器	皿	在地	9.4	7.6	1.3	SK58	S58-7
第89図3	瓦質土器	鉢	在地				SK58	S58-1

府内町跡41次調査区遺物観察表 6

神座No.	器 種	生産地	法量(単位:cm)			遺構名	備考 (跡は遺構にも分布するもの)	
			口径(径)	底径(径)	高さ(高さ)			
第89図1	在地系土師器	皿	在地	8.2	6.6	1.6	SK60	S60-1
第89図4	在地系土師器	皿	在地	11.4	8.4	3.6	SK61	S61-3
第89図5	在地系土師器	皿	在地	12.4	9.4	4	SK61	S61-5
第89図6	在地系土師器	皿	在地	12.4	6.0	3.7	SK61	S61-7
第89図7	在地系土師器	皿	在地	12.0	8.2	3.5	SK61	S61-2
第89図8	在地系土師器	皿	在地	8.5	6.7	1.1	SK61	S61-1
第89図9	在地系土師器	皿	在地	8.0	6.6	1.1	SK62	S62-4
第89図10	在地系土師器	皿	在地	8.0	6.2	1.1	SK62	S62-6
第89図11	在地系土師器	皿	在地	8.2	6.6	1.2	SK62	
第89図12	在地系土師器	皿	在地	7.8			SK62	S62-7
第89図13	磁器	青磁碗	中国		5		SK62	S62-2
第89図14	陶器	擂鉢	備前				SK62	S62-1
第91図1	在地系土師器	皿	在地	8.6	7.3	1.2	SK63	S63-5
第91図2	在地系土師器	皿	在地	8.6		1.8	SK63	S63-3
第91図3	在地系土師器	皿	在地	14.0		2.0g	SK63	
第91図4	京都系土師器	皿	在地	8.3			SK63	S63-12, 上層に煤付着
第91図5	瓦質土器	盃					SK63	S63-8
第91図6	鉄製品	埴		8.5	1.8	120.2g	SK63	S63-2
第91図7	石製品	五輪塔	凝灰岩	24.2		13.5	SK63	S63-12
第93図1	京都系土師器	皿	在地	13.0		2.3	SK64	
第93図2	京都系土師器	皿	在地	12.6			SK64	
第94図3	銅製品	銭貨	祥符元宝	2.3		1.8g	SK64	1009年初鑄
第95図1	在地系土師器	皿	在地	11.0	5.6	2.8	SK66	
第95図2	在地系土師器	皿	在地	12.0	8.1	3.5	SK66	
第95図3	在地系土師器	皿	在地	7.9	6.6	1.6	SK66	S66-2, 煤付着
第95図4	在地系土師器	皿	在地	8.5	7.1	1.3	SK66	S66-1
第98図1	京都系土師器	皿	在地	11.6			SK71	
第98図2	京都系土師器	蓋	在地	5.0		1.4	SK71	
第98図3	瓦	軒丸瓦					SK71	S71-1, 古代
第100図1	京都系土師器	皿	在地	7.0		1.9	SK72	
第100図2	瓦質土器	茶釜		15.4	28.8		SK72	S72-2・4・6・8・10・12
第107図1	在地系土師器	皿	在地	10.0	8.5	1.2	SK74	S74-1
第105図1	京都系土師器	皿	在地	21.0			SK77	S77-1
第106図1	銅製品	銀貨	皇宋通宝	2.3		2.0g	SK78	1038年初鑄
第109図1	京都系土師器	皿	在地	11.8			SK79	
第111図1	京都系土師器	皿	在地	11.8		2.0	SK80	
第113図1	京都系土師器	皿	在地	10.4			SK81	
第113図2	京都系土師器	皿	在地	9.5			SK81	
第114図3	陶器	擂鉢	備前				SK81	5/6個体は破損なし
第115図1	在地系土師器	皿	在地	7.4	5.4	1.0	SK82	
第115図2	京都系土師器	皿	在地	13.8		2.5	SK82	
第115図3	京都系土師器	皿	在地	8.8		1.8	SK82	
第115図4	瓦	軒丸瓦				1.3	SK82	S82-5, 巴文
第123図1	在地系土師器	皿	在地	11.8	6.0	2.7	SK84	S84-111
第123図2	在地系土師器	皿	在地	8.8	5.2	2.2	SK84	
第123図3	在地系土師器	皿	在地	8.0	5.3	2.0	SK84	
第123図4	京都系土師器	皿	在地	12.6		2.1	SK84	S84-145, 煤付着
第123図5	京都系土師器	皿	在地	11.8		2.5	SK84	S84-97
第123図6	京都系土師器	皿	在地	13.2		2.8	SK84	
第123図7	京都系土師器	皿	在地	12.3		2.5	SK84	S84-216
第123図8	京都系土師器	皿	在地	13.6			SK84	
第123図9	京都系土師器	皿	在地	11.0		3.0	SK84	S84-72

府内町跡41次調査区遺物観察表7

標識No.	器種	生家地	法量(単位:cm)			遺構名	備考(同じ地遺構にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(短)	胴径(高)			
第123図10	京都系土師器	皿	在地	12.0		2.3	SK84	S84-220
第123図11	京都系土師器	皿	在地	12.0		2.6	SK84	S84-196, 煤付着
第123図12	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.5	SK84	S84-192
第123図13	京都系土師器	皿	在地	13.0		2.6	SK84	
第123図14	京都系土師器	皿	在地	12.3		2.4	SK84	
第123図15	京都系土師器	皿	在地	11.0		2.1	SK84	S84-95
第123図16	京都系土師器	皿	在地	12.8		2.6	SK84	S84-169
第123図17	京都系土師器	皿	在地	12.6		2.5	SK84	S84-141
第123図18	京都系土師器	皿	在地	12.3		2.5	SK84	
第123図19	京都系土師器	皿	在地	10.8		3.4	SK84	
第123図20	京都系土師器	皿	在地	10.0			SK84	
第123図21	京都系土師器	皿	在地	10.2		2.0	SK84	
第123図22	京都系土師器	皿	在地	11.0		2.0	SK84	
第123図23	京都系土師器	皿	在地	9.2		1.8	SK84	S84-5
第123図24	京都系土師器	皿	在地	8.6		1.9	SK84	煤付着
第123図25	京都系土師器	皿	在地	9.2		1.9	SK84	
第123図26	京都系土師器	皿	在地	9.0		1.9	SK84	
第123図27	京都系土師器	皿	在地	8.8			SK84	
第123図28	京都系土師器	皿	在地	9.2		2.2	SK84	
第123図29	京都系土師器	皿	在地	8.8			SK84	
第123図30	京都系土師器	皿	在地	9.0		2.0	SK84	煤付着
第123図31	京都系土師器	皿	在地	9.2		2.0	SK84	
第123図32	京都系土師器	皿	在地	8.8			SK84	
第123図33	京都系土師器	皿	在地	9.0		2.0	SK84	煤付着
第123図34	京都系土師器	皿	在地	8.8		2.1	SK84	煤付着
第123図35	京都系土師器	皿	在地	9.0		2.4	SK84	
第123図36	京都系土師器	皿	在地	8.5		2.0	SK84	S84-218
第123図37	京都系土師器	皿	在地	8.4		2.0	SK84	
第123図38	京都系土師器	皿	在地	8.2		2.0	SK84	S84-134, 煤付着
第123図39	京都系土師器	皿	在地	8.5		2.0	SK84	S84-36,
第123図40	京都系土師器	皿	在地	9.0			SK84	S84-82
第123図41	京都系土師器	皿	在地	9.0		2.1	SK84	S84-128
第123図42	京都系土師器	皿	在地	8.8			SK84	
第124図43	陶器	擂鉢	備前				SK84	S84-14
第124図44	陶器	擂鉢	備前	26.8	13.2	9.7	SK84	S84-13・47・51
第124図45	陶器	杵	備前	10.8			SK84	S84-159
第124図46	陶器	甕	備前		17.9		SK84	S84-99+S127-15
第124図47	陶器	壺	備前		9.7		SK84	S84-173+S103-34
第124図48	陶器	甕	備前	59.0			SK84	S84-112包
第124図49	陶器	鉢	備前	14.2	10.2	5.1	SK84	S84-116
第125図50	瓦質土器	鉢		35.3			SK84	S84-122・S102-57・S112-182
第125図51	瓦質土器	鉢		27.3			SK84	
第125図52	瓦質土器	火鉢		37			SK84	S84-107・221・222
第125図53	瓦質土器	火鉢					SK84	S84-80・S94-2
第125図54	瓦質土器	鉢					SK84	S84-20
第125図55	瓦質土器	鉢		48.0			SK84	S84-19
第125図56	瓦質土器	鉢					SK84	S84・S113-8
第125図57	瓦質土器	擂鉢					SK84	S84-146・215
第125図58	瓦質土器	甕		25.8			SK84	S84-95
第126図59	陶器	擂鉢	備前	27.7	11.3	11.0	SK84	S84-161・167
第126図60	陶器	擂鉢	備前	30.0			SK84	
第126図61	陶器	擂鉢	備前	24.4			SK84	

府内町跡41次調査区遺物観察表 8

種別No.	器 種	生産地	注量(単位cm)			遺構名	備考 (附は近遺構にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(幅)	底厚(重)			
第126図62	瓦質土器		11.3	4.6	4.9	SK84		
第126図63	土師器		11.5			SK84		
第126図64	陶器	瓶	備前	6.7		SK84		
第126図65	銅製品		12.2	1.1	27.8g	SK84	S84-86	
第126図66	石製品	砥石	結晶片岩	10.1	3.3	66.9g	SK84	S84-76
第126図67	瓦	瓦				SK84	S84-69	
第127図68	土師質土器	土師	在地	5.4	1.3	9.9g	SK84	
第127図69	土師質土器	土師	在地	4.5	1.1	5.4g	SK84	
第127図70	鉄製品			8.4	6.1	45.9g	SK84	
第127図71	鉄製品			6.5	2.3	9.2g	SK84	
第127図72	銅製品	小柄		3.5	1.3	2.2g	SK84	
第127図73	ガラス	玉		7.0	8.0	0.65g	SK84	白色
第127図74	鉛	鉄砲玉		1.3		9.7g	SK84	S84-104
第127図75	石製品	砥石	結晶片岩	15.7	8.4	1.8	SK84	S84-42
第127図76	石製品	砥石	結晶片岩	14.7	2.9	99.3g	SK84	S84-131
第127図77	石製品	茶臼	硬砂岩				SK84	
第127図78	陶器	播鉢	備前	28.3			SK84	S84-78, 交叉すり目
第127図79	陶器	播鉢	備前		9.6		SK84	S84-140・S108-80
第127図80	陶器	播鉢	備前	28.0	13.0		SK84	S84-209
第127図81	陶器	壺	備前		20.0		SK84	
第127図82	磁器	青花皿	景徳鎮				SK84	
第127図83	磁器	青花皿	景徳鎮				SK84	
第128図84	磁器	青花皿	景徳鎮	13.2			SK84	S84-198
第128図85	磁器	青花皿	景徳鎮		4.3		SK84	S84-89
第128図86	磁器	青花皿	景徳鎮				SK84	
第129図87	銅製品	鍔首	祥符元電	2.4		1.5g	SK84	1009年初録
第147図1	陶器	播鉢	備前	26.5	14.0		SK85	S85-3
第147図2	京都系土師器	皿	在地	14.6		2.1	SK85	S85-1
第149図1	在地系土師器	皿	在地	8.4	4.4	1.5	SK87	
第149図2	在地系土師器	皿	在地	9.2		2.0	SK87	
第149図3	在地系土師器	皿	在地	11.0		1.8	SK87	
第149図4	京都系土師器	皿	在地	12.9		2.3	SK87	
第149図5	京都系土師器	皿	在地	10.2		2.3	SK87	
第149図6	京都系土師器	皿	在地	9.0		2.4	SK87	S87-2, 煤付着
第149図7	京都系土師器	皿	在地	8.3		2	SK87	
第149図8	陶器	鉢	備前	22.4	12.2	7.3	SK87	
第149図9	鉄製品			27.4	0.75	39.2g	SK87	
第151図1	京都系土師器	皿	在地	11.6	3.6	2.8	SK88	
第151図2	京都系土師器	皿	在地	12.3	6.9	2.4	SK88	
第151図3	京都系土師器	皿	在地	11.2		3.2	SK88	S88-5
第151図4	京都系土師器	皿	在地	10.9		2.3	SK88	S88-9
第151図5	京都系土師器	皿	在地	11.0		2.2	SK88	S88-10
第151図6	京都系土師器	皿	在地	13.4		2.2	SK88	S88-10
第151図7	京都系土師器	皿	在地	11.4		1.8	SK88	
第151図8	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.2	SK88	S88-2
第151図9	京都系土師器	皿	在地	12.2		2.8	SK88	S88-8
第151図10	京都系土師器	皿	在地	11.4		2.5	SK88	S88-12
第151図11	京都系土師器	皿	在地	11.334			SK88	S88-11
第151図12	京都系土師器	皿	在地	8.4		1.8	SK88	
第151図13	京都系土師器	皿	在地	8.6		2.1	SK88	S88-3
第151図14	京都系土師器	皿	在地	9.2		1.9	SK89	
第151図15	京都系土師器	皿	在地	8.8		2.1	SK89	煤付着

府内町跡41次調査区遺物観察表 9

押印No.	器種	生産地	法量(単位:cm)			遺構名	備考(網は他遺構にも分布するもの)	
			口径(長)	高さ(幅)	温度(深)			
第151図16	京都系土師器	皿	在地	8.9		2.0	SK89	煤付着
第155図1	在地系土師器	皿	在地	9.6			SK90	S90-5
第155図2	在地系土師器	皿	在地	12.2	6.0	2.4	SK90	S90-9
第155図3	陶器	甕	備前				SK90	
第155図4	瓦質土器	甕		14.2			SK90	
第155図5	瓦質土器	鍋					SK90	石英混入
第155図6	陶器	摺鉢	備前				SK90	
第155図7	瓦質土器	丸瓦				2.1	SK90	
第159図1	在地系土師器	皿	在地				SK93	
第159図1	石製品	樋割口	凝灰岩	14.5			SK94	
第159図2	石製品	臼	安山岩	30.9		8.7	SK94	
第161図1	京都系土師器	皿	在地	12.8		3	SK95	S95-1
第163図1	京都系土師器	皿	在地	12.2		2	SK99	S99-4
第163図2	京都系土師器	皿	在地	8.2		2.4	SK99	S99-1, 煤付着
第165図1	在地系土師器	皿	在地	8.0	4.4	2.3	SK100	煤付着
第166図2	京都系土師器	皿	在地	9.3	4.7	1.8	SK100	
第166図3	陶器	甕	備前				SK100	
第166図4	瓦質土器	火鉢	在地				SK100	
第166図5	瓦質土器	火鉢	在地	41.0	39.6	16.3	SK100	他にS112-80・S112
第166図6	瓦	軒平瓦				2.0	SK100	S100-5
第166図7	石製品	砥石	結晶片岩	13.6	3.7	163.6g	SK100	S100-16
第166図8	石製品	種		3.7	0.8	2.9g	SK100	
第166図9	磁器	青花皿	中国			3.4	SK100	
第166図10	磁器	青花碗	景德鎮	14.8	6.1	7.3	SK100	外面に印刷紋
第166図11	磁器	白磁皿	中国			5.2	SK100	
第166図12	磁器	青花碗	中国				SK100	S100-4(10と同一體)
第167図13	銅製品	鏡	治平元宝	2.3		2.9g	SK100	1064年初鋳
第169図1	銅製品	鏡	中国				SK100	
第169図1	石製品	物鉢	凝灰岩	5.1	1.4	2.2g	SK101	
第169図2	石製品	上臼		22.1		12.6	SK101	S101-7
第169図1	鉄製品	釘		5.9	1.1	7.8g	SK102	
第138図1	在地系土師器	皿	在地	11.4	5.7	2.5	SK103	S103-9
第138図2	在地系土師器	皿	在地	8.9	5.5	1.8	SK103	S103-11, 煤付着
第138図3	在地系土師器	皿	在地	12.7	7.1	2.8	SK103	S103-2
第138図4	在地系土師器	皿	在地	11.8	6.1	3.1	SK103	S103-52
第138図5	在地系土師器	皿	在地	12.2	7.0	2.2	SK103	S103-88
第138図6	在地系土師器	皿	在地	11.5	6.3	3.1	SK103	S103-1
第138図7	在地系土師器	皿	在地	8.4	4.6	1.9	SK103	S103-97
第138図8	在地系土師器	皿	在地	7.1	6.0	2.4	SK103	S103-77
第138図9	京都系土師器	皿	在地	13.7	9.2	2.4	SK103	S103-89, 糸切痕, 板圧痕
第138図10	京都系土師器	皿	在地	12.4	6.6	2.4	SK103	S103-76, 煤付着
第138図11	京都系土師器	皿	在地	12.7	6.3	2.3	SK103	煤付着
第138図12	京都系土師器	皿	在地	13.5		2.7	SK103	S103-91
第138図13	京都系土師器	皿	在地	12.6	7.2	2.4	SK103	
第138図14	京都系土師器	皿	在地	13.5		2.5	SK103	S103-5
第138図15	京都系土師器	皿	在地	14.0	7.5	2.1	SK103	S103-103
第138図16	京都系土師器	皿	在地	12.5	6.1	2.3	SK103	S103-95
第138図17	京都系土師器	皿	在地	12.2	7.0	2.2	SK103	
第138図18	京都系土師器	皿	在地	10.5	4.6	2.5	SK103	
第138図19	京都系土師器	皿	在地	12.6	6.0	2.4	SK103	S103-106
第138図20	京都系土師器	皿	在地	10.6	5.4	2.1	SK103	
第138図21	京都系土師器	皿	在地	9.8	4.0	2.0	SK103	

府内町跡41次調査区遺物観察表10

調査No	器種	生産地	法長(単位cm)			通稱名	備考(網は色遺構にも分布するもの)	
			口徑(長)	底径(幅)	皿径(高)			
第22	京都系土師器	皿	在り	11.6	4.1	2.5	SK103	
第23	京都系土師器	皿	在り	12.1	5.4	2.2	SK103	
第24	京都系土師器	皿	在り	9.8	4.4	1.9	SK103	S103-105
第138第25	京都系土師器	皿	在り	7.9	3.8	1.9	SK103	S103-71, 煤付着
第138第26	京都系土師器	皿	在り	11.1	5.5	2.1	SK103	S103-27
第138第27	京都系土師器	皿	在り	10.1	6.0	3.3	SK103	S103-49
第138第28	京都系土師器	皿	在り	10.2	5.7	2.2	SK103	S103-104
第138第29	京都系土師器	皿	在り				SK103	S103-35
第138第30	京都系土師器	皿	在り	8.4	2.8	2.1	SK103	S103-10
第138第31	京都系土師器	皿	在り	9.0	4.3	2.0	SK103	煤付着
第138第32	京都系土師器	皿	在り	8.1	3.1	1.8	SK103	S103-98
第138第33	京都系土師器	皿	在り	8.2	3.8	1.9	SK103	
第138第34	京都系土師器	皿	在り	8.6	4.3	2.2	SK103	S103-50
第138第35	京都系土師器	皿	在り	10.3	4.0	2.4	SK103	
第138第36	京都系土師器	皿	在り	5.3	3.2	1.7	SK103	
第139第37	磁器	白磁皿		14.0	8.0	2.5	SK103	S103-7
第139第38	磁器	白磁皿		11.4			SK103	S103-4
第139第39	磁器	青磁碗			5.7		SK103	
第139第40	瓦質	メンコ		4.5	6.5	15.4g	SK103	S103-63
第139第41	土師質土器	燗台	在り	7.2		5.9	SK103	S103-101
第139第42	瓦質土器	鍋	在り	37.4	23.8	13.3	SK103	S103-102・107
第139第43	瓦質土器	鉢		28.6			SK103	S103-78
第139第44	土師質土器	輪		10.4	5.2	5.0	SK103	S103-6
第139第45	瓦器機	輪		11.0			SK103	
第139第46	瓦器機	輪		10.9	3.6	3.4	SK103	
第139第47	瓦	煎飯瓦		15.1		2.3	SK103	S103-100
第139第48	瓦	丸瓦		12.4	14.6	2.4	SK103	S103-44・45
第140第49	陶器	摺鉢	備前	32.4			SK103	S103-47・S123-112
第140第50	陶器	鉢	備前	22.4			SK103	S103-84・S123-117
第140第51	陶器	煎	備前				SK103	S103-49, 最小径3.5cm
第139第52	銅製品	小柄		4.2	1.3	0.6	SK103	S103-37
第140第53	磁器	青花蓮	景徳鎮		6.6		SK103	
第141第54	銅製品	銭貨	太平通宝	2.4		2.7g	SK103	S103-94, 976年初鑄
第141第55	銅製品	銭貨	祥符通宝	2.4		4.2g	SK103	S103-36, 1009年初鑄
第141第56	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.3		2.2g	SK103	S103-31, 1078年初鑄
第169第1	在り系土師器	皿	在り	6.6		1.0	SK104	
第169第2	京都系土師器	皿	在り				SK104	
第136第1	京都系土師器	皿	在り	7.7		1.9	SK105	
第136第2	磁器	青花碗	神州窯				SK105	S105-1
第136第3	磁器	青花皿					SK105	淡い灰オリーブ色
第136第4	銅製品			4.7	0.8	6.7g	SK105	S105-4
第173第1	京都系土師器	皿	在り	12.1			SK108	
第173第2	京都系土師器	皿	在り	8.5		2.0	SK108	
第173第3	磁器	輪花皿	中国	9.8	4.0	2.7	SK108	曇付に砂付着
第173第4	石製品	凝灰岩		30.8	11.2	8.7kg	SK108	
第173第5	石製品	凝灰岩		20.4		9.5	SK108	S108-15
第174第6	木製品	はし		24.4	0.6		SE108	
第174第7	木製品	椀		16.0	7.2	6.0	SE108	
第231	在り系土師器	皿	在り	8.7		1.7	SK109	
第232	須恵質	こね鉢	東播磨系				SK109	
第233	銅製品	銭貨	熙寧元宝	2.3		2.1g	SK109	1068年初鑄
第234	銅製品	銭貨	---通宝			1.1g	SK109	

府内町跡41次調査区遺物観察表11

検出No.	器種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考(銅は他遺構にも分布するもの)
			口径(長)	底径(幅)	厚(高さ)		
第180図1	京都系土師器	皿	在地	11.2		2.5	SD110
第180図2	陶器	壺	備前	10.7			SD110
第180図3	白磁	碗	中国		5.4		SD110 S110-31
第180図4	白磁	皿	中国	17.5	9.6	3.6	SD110
第180図5	瓦質土器	火鉢	在地				SD110 S110-32
第180図6	瓦質	埴	在地			2.1	SD110
第185図1	在地系土師器	皿	在地	11.9	7.6	3.6	SD112
第185図2	在地系土師器	皿	在地	12.8	7.0	2.6	SD112
第185図3	在地系土師器	皿	在地	12.0	6.1	2.9	SD112
第185図4	在地系土師器	皿	在地	12.2	6.5	2.3	SD112
第185図5	在地系土師器	皿	在地	12.6	6.0	3.6	SD112
第185図6	在地系土師器	皿	在地	12.6	6.1	2.8	SD112 S112-110
第185図7	在地系土師器	皿	在地	9.3	5.7	1.9	SD112
第185図8	在地系土師器	皿	在地	9.2	5.5	1.5	SD112
第185図9	在地系土師器	皿	在地	5.4	3.1	1.4	SD112
第185図10	在地系土師器	皿	在地	7.3		1.4	SD112
第185図11	在地系土師器	皿	在地	8.8	6.5	1.3	SD112
第185図12	在地系土師器	皿	在地	9.0	5.5	1.8	SD112 煤付着
第186図13	京都系土師器	皿	在地	12.4		3.4	SD112
第186図14	京都系土師器	皿	在地	12.6		2.4	SD112
第186図15	京都系土師器	皿	在地	12.0		2.4	SD112
第186図16	京都系土師器	皿	在地	12.5		2.2	SD112
第186図17	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.2	SD112 S112-1
第186図18	京都系土師器	皿	在地	12.2		2.5	SD112 S112-164
第186図19	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.3	SD112
第186図20	京都系土師器	皿	在地	12.1		2.3	SD112
第186図21	京都系土師器	皿	在地	12.2		2.2	SD112 S112-417
第186図22	京都系土師器	皿	在地	10.9		2.1	SD112
第186図23	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.2	SD112
第186図24	京都系土師器	皿	在地	10.5		2.2	SD112
第186図25	京都系土師器	皿	在地	10.4		2.1	SD112 S112-111
第186図26	京都系土師器	皿	在地	12.3		2.3	SD112 S112-521
第186図27	京都系土師器	皿	在地	12.2		2.5	SD112 S112-221
第186図28	京都系土師器	皿	在地	11.9		2.3	SD112
第186図29	京都系土師器	皿	在地	10.5		2.1	SD112 S112-351
第186図30	京都系土師器	皿	在地	12.1		2.5	SD112
第186図31	京都系土師器	皿	在地	12.2		2.7	SD112 S112-281. 煤付着
第186図32	京都系土師器	皿	在地	11.8		2.6	SD112 S112-477
第186図33	京都系土師器	皿	在地	10.9		2.1	SD112 S112-508. 煤付着
第186図34	京都系土師器	皿	在地	11.6		3.3	SD112 S112-210. 煤付着
第186図35	京都系土師器	皿	在地	10.6		2.1	SD112 S112-155. 煤付着
第186図36	京都系土師器	皿	在地	10.4		2.1	SD112
第186図37	京都系土師器	皿	在地	10.8		3.2	SD112
第186図38	京都系土師器	皿	在地	11.1		3.0	SD112 S112-339
第186図39	京都系土師器	皿	在地	8.5			SD112
第186図40	京都系土師器	皿	在地	9.1		2.2	SD112 S112-502
第186図41	京都系土師器	皿	在地	10.4		2.2	SD112 S112-103
第186図42	京都系土師器	皿	在地	9.0		2.1	SD112
第186図43	京都系土師器	皿	在地	9.4		1.8	SD112 S112-480. 煤付着
第186図44	京都系土師器	皿	在地	8.6		2.1	SD112 煤付着
第186図45	京都系土師器	皿	在地	9.0		1.9	SD112 煤付着
第186図46	京都系土師器	皿	在地	10.5		2.1	SD112

府内町跡41次調査区遺物観察表12

跡区No.	器種	生産地	法量(単位cm)			遺跡名	備考(備は出清鎮にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(短)	高(厚)			
第186図47	京都系土師器	皿	在地	9.6	2.3	SD112	S112-492. 俵付着	
第186図48	京都系土師器	皿	在地	8.9	1.6	SD112		
第186図49	京都系土師器	皿	在地	10.5	2.2	SD112		
第186図50	京都系土師器	皿	在地	14.2	5.1	SD112	S112-530	
第186図51	京都系土師器	小皿	在地	5.6	2.0	SD112	S112-453	
第187図52	京都系土師器	小皿	在地	5.4	2.0	SD112	S112-476	
第187図53	磁器	白磁皿		11.6	6.1	2.8	SD112	
第187図54	陶器	天目碗	瀬戸美濃	11.6			SD112	
第187図55	焼締め陶器	四耳壺	中国南部	4.8			SD112	S233も
第187図56	焼締め陶器	四耳壺	中国南部	11.0			SD112	
第187図57	焼締め陶器	四耳壺	中国南部				SD112	S112-182
第187図58	焼締め陶器	鉢	中国南部	27.8			SD112	S112-47
第187図59	瓦質土器	鍋		23.0			SD112	
第187図60	瓦質土器	鍋					SD112	S112-443
第187図61	瓦質土器	火鉢					SD112	
第187図62	瓦質土器	鉢					SD112	S112-558
第187図63	土師質土器	メンコ		3.8	13.5g		SD112	S112-109. 土器片加工品
第187図64	瓦質土器	風炉					SD112	S112-464
第187図65	瓦質土器	碗		10.2			SD112	
第187図66	土師器	燗台	在地		8.2		SD112	
第187図67	土師器	燗台	在地		7.5		SD112	S112-564
第187図68	土師器	燗台	在地		6.9		SD112	
第187図69	土師器	燗台	在地	7.2	6.2		SD112	
第187図70	土師器	燗台	在地	7.9			SD112	S112-7
第187図71	土師器	燗台	在地		6.5		SD112	
第188図73	陶器	擂鉢	備前	30.3	16.0	14.1	SD112	S112-319・353・367・435・499
第188図74	陶器	擂鉢	備前	27.5	12.7	14.7	SD112	S112-31・559-567・S110
第189図75	陶器	瓶	備前	4.4			SD112	
第189図76	陶器	瓶	備前				SD112	S112-106
第189図77	陶器	壺	備前	8.3	10.3	15.6	SD112	S112-119・127・S116-2・12
第189図78	陶器	擂鉢	備前	28.0	9.9	11.4	SD112	
第189図79	陶器	擂鉢	備前	27.0			SD112	S112-488・527
第189図80	陶器	擂鉢	備前				SD112	
第189図81	陶器	擂鉢	備前				SD112	S112-144
第189図82	陶器	擂鉢	備前				SD112	
第189図83	陶器	鉢	備前	20.0	14.4	7.7	SD112	
第189図84	陶器	壺	備前	15.9			SD112	他にS170-3も
第189図85	陶器	壺	備前				SD112	
第190図86	陶器	壺	備前	54.4			SD112	S112-344・446・472
第190図87	陶器	壺	備前	58.8			SD112	S112-112・401・426・479・S233
第190図88	陶器	壺	備前	46.0			SD112	S112-262
第190図89	陶器	壺	備前				SD112	S112-223
第191図90	磁器	青花皿		13.6			SD112	S112-215
第191図91	磁器	青花皿		11.2			SD112	S112-102
第191図92	陶器	鉄絵碗	唐津		4.1		SD112	S112-114
第191図93	磁器	青花皿	景徳鎮	10.8	6.8	2.8	SD112	S112-227
第191図94	磁器	五彩鉢			16.5		SD112	
第191図95	磁器	五彩重					SD112	
第191図96	磁器	碗			7.0		SD112	S112-181
第191図97	磁器	曹磁碗		13.8			SD112	S112-457. 榭掻き沈線紋
第191図98	磁器	白磁皿		11.4	5.0	3.2	SD112	灰白色
第191図99	磁器						SD112	

府内町跡41次調査区遺物観察表13

標本No.	器種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考(別は他遺構にも分布するもの)
			口徑(長)	底径(幅)	高さ(厚)		
第191図100	陶器	婁	備前	56.0		SD112	
第191図101	陶器	婁	備前	56.0		SD112	
第192図102	磁器	青花皿		13.8	7.9 2.4	SD112	
第192図103	磁器	青花皿	樟州窯			SD112	他にS233からも
第192図104	磁器	青花皿	景徳鎮	10.0		SD112	
第192図105	磁器	青花皿			9.5	SD112	
第192図106	磁器	青花皿	景徳鎮	7.0	3.2 3.6	SD112	
第192図107	磁器	青花皿	樟州窯		6.0	SD112	S112-506
第192図108	磁器	青花碗	景徳鎮		4.8	SD112	
第192図109	磁器	青磁碗			6.3 2.3	SD112	
第193図110	陶器	華南三彩				SD112	ヒスイ種、外底面型押し紋
第193図111	陶器	華南三彩				SD112	沈陳の渦巻き
第193図112	陶器	婁	備前	46.0		SD112	S112-366-374-382・S233
第193図113	陶器	婁	備前	42.0	39?	SD112	S112-146-S116-7-19-2324-2630
第193図113A	陶器	婁	備前		39.0	SD112	S84-20-S112-6片-S116-23片-S233
第194図114	陶器	婁	備前	51.6		SD112	S112-8片・S233
第195図115	土師質土器	埴埴	在地	8.6	4.0	SD112	S112-193
第195図115	土師質土器	埴埴	在地	8.3		SD112	S112-211、内面に金属付着
第195図117	土師質土器	埴埴	在地	7.6	5.0	SD112	S112-197、緑青色物付着
第195図118	土師質土器	埴埴	在地	9.0		SD112	S112-199、金属付着
第195図119	土師質土器	埴埴	在地	9.2	4.2	SD112	S112-216
第195図120	土師質土器	埴埴	在地	7.8	4.6	SD112	S112-204
第195図121	土師質土器	埴埴	在地	8.4	4.2	SD112	S112-203、緑青色物の付着
第195図122	土師質土器	埴埴	在地	9.1	4.4	SD112	S112-200
第195図123	土師質土器	埴埴	在地	7.0	4.3	SD112	S112-192、緑色の付着
第195図124	土師質土器	埴埴	在地	8.7	4.2	SD112	S112-127、刺?の付着多量
第195図125	土師質土器	埴埴	在地	7.0	4.1	SD112	S112-196、緑青色物の付着多量
第195図126	瓦	軒平瓦				SD112	S112-15
第195図126Z	瓦	軒丸瓦				SD112	S112-552
第195図127	瓦	平瓦	古代		2.1	SD112	S112-123、布目
第195図128	瓦	平瓦	古代		2.0	SD112	布目
第195図129	瓦	平瓦	古代			SD112	S112-129、布目
第195図130	瓦	垂木先瓦		9.2	1.5	SD112	
第196図131	瓦質	埴			3.2	SD112	S112-108
第196図132	瓦質	埴		22.5	22.5 3.1	SD112	S112-35-186
第196図133	瓦質	埴		22.5	22.5 3.2	SD112	S112-183-370
第196図134	弥生土器	婁	在地		5.6	SD112	
第196図135	土師器	高杯	在地	10.7		SD112	S112-566、古墳時代
第196図136	鉄製品	釘		7.9 2.1	22.5g	SD112	
第196図137	鉄製品			7.0 2.0	48.8g	SD112	
第196図138	鉄製品			4.9 1.8	16.2g	SD112	
第196図139	鉄製品			13.7 0.3	3.6g	SD112	
第196図140	鉄製品			4.6 4.0	23.6g	SD112	
第196図141	銅製品	小銅		6.0 0.5	10.6g	SD112	S112-172
第196図142	瓦質	埴		8.0 11.7	2.9	SD112	
第196図143	土壁			15.5 7.9	6.2	SD112	
第196図144	石製品	硯	赤間石	6.7 7.4	1.5	SD112	S112-273、輝緑凝灰岩
第196図145	石製品	砥石	泥岩	7.6 5.6	3.5	SD112	
第196図146	土壁			8.1 5.6	7.3	SD112	S112-391
第196図147	石製品	砥石	結晶片岩	12.3 5.1	1.3	SD112	S112-483、123.7g
第196図148	石製品	砥石	結晶片岩	14.5 7.2	4.4	SD112	S112-74、493.2g
第196図149	石製品	石さじ				SD112	縄文時代の石器

府内町跡41次調査区遺物観察表14

押印No.	器 種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考(同じ地産物にも分布するもの)
			口徑(φ)	底径(φ)	腹厚(厚)		
第198図150	土師質	土師	在地	5.0	1.1	6.3g	SD112
第198図151	土師質	土師	在地	5.4	2.0	18.4g	SD112
第198図152	土師質	土師	在地	4.3	1.3	5.5g	SD112
第198図153	土師質	土師	在地	6.9	1.6	14.8g	SD112
第198図154	土師質	土師	在地	2.8	0.8	1.6	SD112
第198図155	土師質	土師	在地	3.4	1.4	6.0g	SD112
第198図156	土師質	土師	在地	5.1	2.0	16.6g	SD112
第198図157	土師質	土師	在地	5.6	1.3	7.3g	SD112
第198図158	土師質	土師	在地	4.6	1.7	14.1g	SD112
第198図159	土師質	土師	在地	3.4	1.2	4.7g	SD112
第198図160	土師質	土師	在地	4.2	1.1	4.1g	SD112
第198図161	土師質	土師	在地	6.0	1.3	10.1g	SD112
第198図162	土師質	土師	在地	5.7	1.3	9.5g	SD112
第199図163	銅製品	銭貨	皇宗通宝	2.4		1.3g	SD112 1038年初鑄
第199図164	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.3		2.3g	SD112 1078年初鑄
第199図165	銅製品	銭貨	元符通宝	2.3		2.4g	SD112 1098年初鑄
第199図166	銅製品	銭貨	大觀通宝	2.4		2.3g	SD112 1107年初鑄
第199図167	銅製品	銭貨	不明	2.4		2.3g	SD112
第142図1	在地系土師器	皿	在地	9.4	5.4	2.4	SK113 S113-30.煤付着
第142図2	京都系土師器	皿	在地	10.4		2.7	SK113 S113-9
第142図3	京都系土師器	皿	在地	11.2		2.3	SK113
第142図4	京都系土師器	皿	在地	8.4		2.0	SK113 S113-6
第142図5	陶器	天目碗	瀬戸美濃	11.8	4.5	6.1	SK113 高熱を受けている
第142図6	磁器	青磁碗				5.6	SK113
第142図7	陶器	鉢	備前	19.8	12.0	4.7	SK113 S113-29
第142図8	瓦質土器	鍋		15.9			SK113
第142図9	土師質土器	埴埴	在地				SK113
第142図10	瓦	軒丸瓦					SK113
第142図11	瓦質土器	風伊	在地				SK113 橙色
第142図12	石製品	剥片	在地	2.4	1.3	5.2g	SK113 S113-14
第142図13	石製品	砥石		7.1	5.6	3.5	SK113 232.5g
第142図14	磁器	白磁碗		17.6			SK113 13世紀
第143図15	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.4		2.7g	SK113
第201図1	在地系土師器	皿	在地	10.0	4.6	2.8	SK114 S114-10
第201図2	京都系土師器	皿	在地	12.0		1.8	SK114 S114-8
第201図3	京都系土師器	皿	在地	11.3			SK114 S114-14.煤付着
第201図4	京都系土師器	皿	在地	10.6		1.7	SK114 S114-3.煤付着
第201図5	京都系土師器	皿	在地	12.9		2.7	SK114
第201図6	陶器	播鉢	備前				SK114
第201図7	ガラス	容器		1.7	2.0		SK114 青色
第201図8	石製品	砥石	結晶片岩	8.3	3.8	1.5	SK114 S114-1.69.4g
第202図9	銅製品	銭貨	景徳元宝	2.2		1.9g	SK114 1004年初鑄
第204図1	京都系土師器	皿	在地	11.3		2.1	SK115 S115-4
第204図2	陶器	播鉢	備前				SK116 S116-59
第204図3	陶器	甕	備前				SK116
第204図4	陶器	甕	備前				SK116 S116-21・23・33・42・57
第204図5	瓦質土器	こね鉢	在地	39.2			SK116 S116-36~13.438
第205図1	京都系土師器	皿	在地	13.4		2.0	SK118
第205図2	京都系土師器	皿	在地	13.0		2.4	SK119 S119-1
第208図1	在地系土師器	皿	在地	12.0	9.1	3.0	SK120 糸切機に煤付着
第208図2	在地系土師器	皿	在地	8.4	6.1	1.5	SK120
第208図3	在地系土師器	皿	在地	7.6	5.5	0.8	SK120

府内町跡41次調査区遺物観察表15

種別No	器種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考(編は他遺構にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(幅)	深溝(高さ)			
第208図4	陶器	播鉢	備前	27.4		SK120	S120-2	
第208図5	土製品	土鉢	在地	4.5	1.8	12.2g	SK120	
第131図1	京都系土師器	皿	在地	12.0		2.2	SK123	S123-38
第131図2	京都系土師器	皿	在地	12.0		2.4	SK123	S123-23
第131図3	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.3	SK123	S123-12
第131図4	京都系土師器	皿	在地	8.8		2.1	SK123	S123-83
第131図5	京都系土師器	皿	在地	8.0		1.6	SK123	S123-5, 煤付着
第131図6	京都系土師器	皿	在地				SK123	S123-76
第131図7	土師質土器	在地	14.2		5.6	SK123	S123-110	
第131図8	土師質土器	燗台	在地		6.3	7.0	SK123	S123-87
第131図9	瓦質土器	火鉢	在地				SK123	S123-12
第131図10	瓦質土器	火鉢	在地	41.0			SK123	S123-4
第131図11	瓦質土器	鉢		31.1			SK123	S123-88
第131図12	石製品	下臼	安山岩	32.4		7.7	SK123	S123-7
第131図13	石製品	容器	凝灰岩	16.3		7.8	SK123	S123-3, 500g
第132図14	陶器	播鉢	備前	24.2	10.0	10.1	SK123	S123-8, 10
第132図15	陶器	播鉢	備前	29.8	12.4	12.6	SK123	S123-471-72, S103-41
第132図16	陶器	播鉢	備前	31.2	13.0	13.3	SK123	S103-22-82, S105-7, S123-1, 23
第133図17	瓦	丸瓦	在地	17.7		2.7	SK123	S123-65, 66
第133図18	瓦質	埴瓦	在地	11.2		2.2	SK123	S123-115
第133図19	土師質土器	土罐	在地	3.0	0.7	1.4g	SK123	
第133図20	陶器	甕	備前?	10.2			SK123	S123-24
第133図21	磁器	青花小杯			2.1		SK123	
第133図22	銅製品	鉄杖		1.7	1.0	0.7g	SK123	S123-59
第133図23	磁器	青花碗	景徳鎮	10.0	3.4	3.9	SK123	
第133図24	磁器	白磁皿		10.0	5.0	2.0	SK123	
第134図25	ガラス	皿	西洋?	6.3	3.4		SK123	
第134図26	銅製品	銭貨	景徳元宝	2.4		2.1g	SK123	S123-27, 1009年初鑄
第134図27	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.3		2.1g	SK123	S123-62, 1078年初鑄
第134図28	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.2		1.5g	SK123	S123-74, 1078年初鑄
第134図29	銅製品	銭貨	無紋	2.0		0.8g	SK123	
第211図1	磁器	青花碗	博州窯	13.2	4.6	4.5	SK125	S125-1
第211図2	京都系土師器	皿	在地	12.2		2.6	SK126	
第211図3	土師質土器	高台付椀			4.4		SK126	貼付け高台, 金色の雲母含む
第211図4	陶器	播鉢	備前				SK126	
第211図5	銅製品	円盤状		2.7	2.5	0.5	SK126	2.7g
第211図6	磁器	青磁碗	在地	13.0			SK126	沈澱紋
第214図1	京都系土師器	皿	在地	12.6		2.3	SK127	S127-8
第214図2	京都系土師器	皿	在地	13.0		2.5	SK127	煤付着
第214図3	京都系土師器	皿	在地	13.0		2.4	SK127	煤付着
第214図4	京都系土師器	皿	在地	12.3		2.6	SK127	
第214図5	京都系土師器	皿	在地	12.4		3.6	SK127	S127-78
第214図6	京都系土師器	皿	在地	13.1		2.4	SK127	S127-76
第214図7	京都系土師器	皿	在地	12.6		1.9	SK127	
第214図8	京都系土師器	皿	在地	12.5		2.2	SK127	S127-77
第214図9	京都系土師器	皿	在地	13.3		2.6	SK127	煤付着
第214図10	京都系土師器	皿	在地	13.4		2.4	SK127	
第214図11	京都系土師器	皿	在地	8.8		2.3	SK127	S127-80
第214図12	京都系土師器	皿	在地	8.8		1.8	SK127	S127-46
第214図13	京都系土師器	皿	在地	8.6			SK127	S127-79
第214図14	京都系土師器	皿	在地	9.0		1.9	SK127	S127-25
第214図15	京都系土師器	皿		8.9		1.7	SK127	S127-74, 煤付着

府内町跡41次調査区遺物観察表16

押図No.	器種	生産地	法量(単位:cm)			遺物名	備考(※は他遺構にも分布するもの)
			口径(長)	底径(幅)	高(厚)		
第214図16	京都系土師器	皿	在地	10.3		2.1	SK127 S127-47
第214図17	京都系土師器	皿	在地	10.5		2.2	SK127 S127-53
第214図18	京都系土師器	皿	在地	4.7		1.7	SK127 S127下の褐色土層
第214図19	陶器	甗	備前	8.9			SK127
第214図20	須恵器?	高台付壺			5.9		SK127 S127-9
第214図21	陶器	甗	備前		13.4		SK127
第214図22	陶器	甗	備前	4.9			SK127 S127-1
第214図23	磁器	青花碗	中国		6.5		SK127
第214図24	陶器	擂鉢	備前	24.3	12.0	10.4	SK127
第214図25	陶器	擂鉢	備前				SK127 S127-54・62
第214図26	陶器	擂鉢	備前				SK127 S127-32
第215図27	土師質土器	燗台	在地		5.0	4.3	SK127 S127-35, 糸切後, 板圧痕
第215図28	土師質土器	燗台	在地		6.6		SK127 S127-24
第215図29	瓦	軒平瓦					SK127 S127-22
第215図30	瓦	丸瓦	在地		12.7	2.2	SK127 S127-17
第215図31	瓦	雁振り瓦	在地	19.2		2.1	SK127 S127-26
第216図33	瓦質	埴瓦	在地			2.1	SK127 S127-43
第216図34	磁器	青花碗	景徳鎮	14.0	6.3		SK127 S127-37
第216図35	磁器	青花碗	景徳鎮				SK127
第216図36	磁器	青花皿	景徳鎮		9.4		SK127 S127-23, 「天下春平」?
第216図37	陶器	華南三彩	中国南部				SK127 深緑色
第216図38	陶器	華南三彩	中国南部				SK127 他にAk区19も。鳥形水注
第217図39	銅製品	銭貨	不明			2.6g	SK127 S127下の褐色土層
第218図1	銅製品	銭貨	不詳	2.0		1.4g	SK128 S128-1
第222図1	銅製品	銭貨	祥符通宝	2.4		2.3g	SK129 1009年初鑄
第222図1	在地系土師器	皿	在地	8.4	5.2	1.5	SK132 祥符通宝
第222図2	在地系土師器	皿	在地	11.0		1.6	SK133 糸切難し底部
第222図3	京都系土師器	皿	在地	13.0			SK133
第222図4	京都系土師器	皿	在地	11.6			SK133
第225図1	陶器	甗	備前				SK136 S136-8
第225図2	磁器	青花碗	景徳鎮				SK136 S136-11
第225図3	石製品	火打ち石	六太郎石	14.1	9.5	860g	SK136 S136-5, 大分窯
第228図1	在地系土師器	皿	在地	9.2	7.0	1.7	SK137
第228図2	石製品	上臼	安山岩	31.4		11.0	SK138 S138-1
第228図1	京都系土師器	皿	在地	11.6		2.5	SK139
第230図1	土師質	土罐	在地	2.7	1.2	2.6g	SK140
第231図1	京都系土師器	皿	在地	10.8			SK141
第231図2	瓦質	埴瓦	在地	17.4		2.6	SK141
第232図3	銅製品	銭貨		2.5		1.8g	SK141
第232図4	銅製品	銭貨		2.3		2.3g	SK141
第232図5	銅製品	銭貨	紹聖元宝	2.2		2.4g	SK141
第232図6	銅製品	銭貨		2.3		2.2g	SK141
第234図1	京都系土師器	皿	在地	13.0			SK142 S142-11, 煤付着
第234図2	京都系土師器	皿	在地	13.0		2.2	SK142 S142-10, 施成後の穿孔2個
第236図1	在地系土師器	皿	在地	12.0	2.4	3.9	SK143 S143-6, 糸切後, 板圧痕
第236図2	在地系土師器	皿	在地	8.6	6.3	1.4	SK143 S143-2
第236図3	在地系土師器	皿	在地	8.8	6.4	1.5	SK143 S143-3
第236図4	在地系土師器	皿	在地	8.4	4.6	1.5	SK143
第236図5	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.0	SK143
第236図6	京都系土師器	皿	在地	8.8		1.8	SK143
第236図7	京都系土師器	皿	在地	14.8			SK143

府内町跡41次調査区遺物観察表17

標本No.	器種	生産地	法量(単位:cm)			遺構名	備考(隣接遺構にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(幅)	厚(深)			
第236調8	京都系土師器	蓋	在地	4.8	4.0	1.4	SK143	
第238調1	京都系土師器	皿	在地	13.0		2.1	SK144	
第238調2	京都系土師器	皿	在地	8.0		2.0	SK144	
第238調3	磁器	青磁碗	竜泉窯		7.6		SK144	緑青色
第239調1	土師質	土師	在地	2.8	0.8	1.6g	SK145	
第239調2	土師質	土師	在地	2.8	1.0	2.6g	SK145	
第239調3	土師質	土師	在地	4.6	1.0	4.5g	SK145	
第239調4	土師質	土師	在地	5.7	1.2	8.4g	SK145	
第239調5	土師質	土師	在地	5.8	1.3	8.4g	SK145	
第239調6	土師質	土師	在地	5.0	1.2	7.5g	SK145	
第239調7	土師質	土師	在地	4.3	1.2	6.3g	SK145	
第239調8	土師質	土師	在地	5.5	1.2	8.2g	SK145	
第239調9	土師質	土師	在地	4.8	1.2	5.3g	SK145	
第239調10	土師質	土師	在地	5.7	1.2	8.2g	SK145	
第239調11	土師質	土師	在地	4.8	1.0	6.1g	SK145	
第239調12	土師質	土師	在地	5.2	1.2	7.7g	SK145	
第239調13	土師質	土師	在地	5.4	1.1	7.1g	SK145	
第239調14	磁器	青磁輪花皿		9.2	4.1	2.8	SK145	見込み蛇の目軸剥ぎ
第241調1	在地系土師器	皿	在地	6.8	5.4	1.1	SK146	
第241調2	京都系土師器	皿	在地	12.2			SK146	S146-18
第241調3	京都系土師器	皿	在地	10.8		1.8	SK146	S146-10
第241調4	京都系土師器	皿	在地	12.2		2.3	SK146	S146-19
第241調5	京都系土師器	皿	在地	10.7		2.6	SK146	S146-5
第241調6	京都系土師器	皿	在地	10.7		2.6	SK146	S146-5
第241調7	京都系土師器	皿	在地	9.0		2.2	SK146	S146-16
第241調8	石製品	磨器	安山岩	16.5		7.1	SK146	S146-12
第241調9	在地系土師器	皿	在地	12.4	7.2	2.2	SK147	S147-7
第241調10	在地系土師器	皿	在地	10.0	5.7	2.1	SK147	S147-25
第241調11	京都系土師器	皿	在地	10.8		2.1	SK147	
第241調12	瓦	軒平瓦					SK147	石突・角閃石・長石多量
第245調1	在地系土師器	皿	在地	12.4	9.6	2.9	SK151	S151-1.糸切後、板圧痕
第245調2	在地系土師器	皿	在地	11.5	7.8	3.1	SK151	
第245調3	在地系土師器	皿	在地	11.0	8.2	2.9	SK151	
第245調4	在地系土師器	皿	在地	8.8	6.7	1.0	SK151	
第245調5	瓦質土器	鉢	在地				SK151	内面は横刷毛
第245調6	在地系土師器	皿	在地	12.8	8.8	3.1	SK155	
第245調7	瓦	鬼瓦	在地				SK155	石英少量
第245調8	銅製品	銭貨	元龜通宝	2.3		2.2g	SK155	1078年初鋳
第247調1	京都系土師器	皿	在地	11.0			SK158	
第247調2	京都系土師器	皿	在地	13.0			SK159	
第247調3	瓦	平瓦	古代	3.8	7.6	1.5	SK160	凹面布目、凸面平行叩き
第249調1	在地系土師器	皿	在地	11.8	6.6	2.0	SK161	
第249調2	在地系土師器	皿	在地	11.4	6.0	2.3	SK161	糸切後、板圧痕
第249調3	京都系土師器	皿	在地	9.0			SK161	
第249調4	京都系土師器	皿	在地	15.2		3.0	SK163	S163上の褐色土
第249調5	京都系土師器	皿	在地	12.0			SK163	
第249調6	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.4	SK163	S163-1
第249調7	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.2	SK163	
第249調8	陶器	天目碗	瀬戸美濃	12.6			SK163	
第249調9	銅製品	銭貨	元龜通宝	2.3		1.7g	SK163	1038年初鋳
第249調10	銅製品	銭貨	元龜通宝	2.3		2.2g	SK163	1078年初鋳
第251調1	京都系土師器	皿	在地	12.8		2.2	SK164	

府内町跡41次調査区遺物観察表18

神田No.	器 種	生産地	法量(単位:cm)			遺構名	備考 (湖は地遺構にも分布するもの)	
			口径(径)	底径(径)	高(厚)量			
第251図2	京都系土師器	皿	在地	12.8		2.1	SK164	
第251図3	京都系土師器	皿	在地	12.4			SK164	金色の雲母微量
第251図4	京都系土師器	皿	在地	8.8			SK164	金色の雲母微量
第251図5	京都系土師器		在地	4.0		1.3	SK164	石炭
第251図6	瓦	軒平瓦					SK164	
第251図7	磁器	青磁皿		10.2	2.5	2.6	SK164	緑灰色、疊付に石付着
第251図1	瓦質土師	鉢	在地				SK165	
第251図1	土師質	土師	在地	5.1	1.3	7.5g	SK166	
第251図1	在地系土師器	皿	在地	8.9	5.1	2.0	SK170	S170-21. 煤付着
第251図2	京都系土師器	皿	在地	13.0			SK170	S17-19.
第251図3	京都系土師器	皿	在地	12.8	4.9	2.6	SK170	S170-20. 煤付着
第251図4	瓦質土師	火鉢	在地				SK170	
第251図5	磁器	青花碗	景徳鎮		4.4		SK170	S170-2
第251図6	鉄製品			4.8	5.7	27.8g	SK170	
第257図1	在地系土師器	皿	在地	8.0	6.4	1.1	SK171	
第260図1	在地系土師器	皿	在地	12.6	8.9	3.1	SK172	S172-1
第260図2	京都系土師器	皿	在地	8.3			SK172	煤付着
第260図3	陶器	壺鉢	備前	30.8			SK172	S172-4
第260図4	石製品	容器状	凝灰岩	20.0	18.3	8.5	SK172	S172-3
第260図5	石製品	砥石	結晶片岩	22.3	5.7	2.6	SK172	S172-2. 567.1g
第263図1	京都系土師器	皿	在地	17.0		3.3	SK174	
第263図2	京都系土師器	皿	在地	13.1		2.9	SK174	
第263図3	京都系土師器	皿	在地	12.8		2.4	SK174	
第263図4	京都系土師器	皿	在地	12.8		3.0	SK174	煤付着
第263図5	京都系土師器	皿	在地	12.5		2.1	SK174	
第263図6	京都系土師器	皿	在地	11.8		2.2	SK174	S174-1
第263図7	京都系土師器	皿	在地	11.0		2.3	SK174	煤付着
第263図8	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.1	SK174	
第263図9	京都系土師器	皿	在地	9.0		1.8	SK174	
第263図10	京都系土師器	皿	在地	11.0			SK174	
第263図11	京都系土師器	皿	在地	11.6		3.8	SK174	
第263図12	京都系土師器	皿	在地	11.2		3.8	SK174	
第263図13	京都系土師器	皿	在地	10.8		3.2	SK174	
第263図14	磁器	青花碗	景徳鎮				SK174	
第263図15	磁器	青花碗	景徳鎮		4.6		SK174	S174-2
第263図16	磁器	青花碗	津州窯	10.0	5.0	2.3	SK174	
第265図1	在地系土師器	皿	在地	12.2	8.2	3.5	SK175	S175-1
第265図2	在地系土師器	皿	在地	11.8	9.2	2.9	SK175	板圧痕
第265図3	在地系土師器	皿	在地	13.0	9.8	3.0	SK175	S175-18. 板圧痕
第265図4	在地系土師器	皿	在地	7.8	6.4	1.0	SK175	S175-12
第265図5	在地系土師器	皿	在地	8.4	7.0	1.1	SK175	S175-14
第265図6	在地系土師器	皿	在地	13.2	9.8	3.0	SK175	
第265図7	在地系土師器	皿	在地	9.2	7.8	1.2	SK175	S175-19
第265図8	在地系土師器	皿	在地	9.2	7.2	1.5	SK175	S175-20
第265図9	在地系土師器	皿	在地	9.1	7.6	1.2	SK175	S175-11
第265図10	在地系土師器	皿	在地	9.2	7.4	1.4	SK175	S175-15
第265図11	在地系土師器	皿	在地	8.4	7.0	1.2	SK175	S175-3
第265図12	須器	こね鉢	東播系				SK175	
第265図13	瓦質土器	鉢		34.0			SK175	
第268図1	在地系土師器	皿	在地	11.7			SK177	内面段々状
第268図2	在地系土師器	皿	在地				SK178	
第268図4	京都系土師器	皿	在地	6.2		2.0	SK179	ス入付着

府内町跡41次調査区遺物観察表19

押図No.	器種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考(特に他遺構にも分布するもの)		
			口徑(長)	底徑(幅)	胴(厚)量				
第268図2	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.9	SK180	S180-1	
第268図5	陶器	浅い鉢	備前	21.0	14.0	7.8	SK181	S181-1	
第270図1	在地系土師器	皿	在地	12.4	6.8	2.8	SK182	S182-9, 内面段々状	
第270図2	在地系土師器	皿	在地	10.0	4.7	2.2	SK182	内面段々状	
第270図3	在地系土師器	皿	在地	11.9	6.5	2.7	SK182	S182-7, 内面段々状	
第270図4	在地系土師器	皿	在地	10.3	5.1	2.0	SK182	S182-8, 内面段々状	
第270図5	在地系土師器	皿	在地	12.2	5.6	2.2	SK182	S182-1, 内面段々状	
第270図6	土師器	燗台	在地				SK182	S182-10, 中心に穴なし	
第275図1	在地系土師器	皿	在地	8.4	4.8	1.6	SK184		
第275図2	在地系土師器	皿	在地	8.0	5.0	1.6	SK184	S184-1, 煤付着	
第275図3	在地系土師器	皿	在地	8.0	5.2	1.6	SK184	煤付着	
第274図4	銅製品	銭貨	皇宋通宝	2.3			1.7g	SK184	1038年初鑄
第277図1	在地系土師器	皿	在地	7.9	4.5	2.2	SK185	煤付着	
第277図2	京都系土師器	皿	在地	13.2		2.2	SK185	S185-4	
第277図3	京都系土師器	皿	在地	12.8		2.0	SK185		
第277図4	京都系土師器	皿	在地	12.8		2.0	SK185		
第277図5	京都系土師器	皿	在地	10.9		2.3	SK185		
第277図6	京都系土師器	皿	在地	11.9		2.4	SK185		
第277図7	京都系土師器	皿	在地	8.3		1.7	SK185		
第277図8	京都系土師器	皿	在地	8.3		2.0	SK185	煤付着	
第277図9	京都系土師器	皿	在地	8.7		1.8	SK185	煤付着	
第277図10	京都系土師器	皿	在地	8.5		2.0	SK185		
第277図11	京都系土師器	皿	在地	8.0		2.1	SK185		
第277図12	陶器	横鉢	備前	28.4	8.2	9.2	SK185	S185-3, S236・S236-1	
第277図13	陶器	瓶	備前				SK185	S185-1, 頸部径3.4cm	
第277図14	瓦質土器	鉢	在地				SK185		
第277図15	瓦質土器	茶釜		17.0			SK185	最大径30.7cm, 石英・角閃石少磁	
第277図16	瓦	平瓦	在地				SK185	石英・角閃石微量	
第277図17	瓦質土器	棒状土師		3.8	1.4	7.0g	SK185		
第277図18	磁器	青花碗		13.1	3.3	6.1	SK185		
第277図19	磁器	皿		12.6			SK185		
第277図20	磁器	白磁皿		13.8	6.2	2.6	SK185		
第277図21	陶器	赤青二彩	中国南部				SK185	高台径3.3cm	
第278図22	銅製品	銭貨	天聖元豊	2.4			2.5g	SK184	1023年初鑄
第280図1	京都系土師器	皿	在地	8.1				SK186	
第280図2	瓦質土器	横鉢		24.0				SK186	
第280図3	京都系土師器	皿	在地	12.5	6.0	2.4	SK187	S187-16	
第280図4	京都系土師器	皿	在地	13.0			SK187	S187-15	
第280図5	陶器	壺	備前					SK187	S187-11
第280図6	土師器	増埴	在地					SK187	
第284図1	京都系土師器	皿	在地	14.7		2.4	SK188	S188-4, 極めて薄手	
第284図2	京都系土師器	皿	在地	10.2		2.0	SK188	S188-2, 極めて薄手	
第284図3	京都系土師器	皿	在地	10.2		2.2	SK188	S188-1, 極めて薄手	
第284図4	京都系土師器	皿	在地	8.4			SK188	S188-3, 極めて薄手	
第284図5	京都系土師器	皿	在地	11.2		2.3	SK190	S190 13	
第285図1	京都系土師器	皿	在地	11.7			SK191		
第286図2	京都系土師器	皿	在地	11.1			SK191	S191-2, 煤付着	
第286図3	磁器	青花皿	澤州窯	13.4				SK192	S192-1
第287図1	瓦質土器	釜		50.0			SK195	S195-1, 外面は横削り、内面ナデ	
第287図2	京都系土師器	皿	在地	12.5			SK195		
第290図1	鉄製品	紡錘車		13.5	3.8	28.1g		SK197	S197 1
第290図2	京都系土師器	皿	在地	14.5			SK199		

府内町跡41次調査区遺物観察表20

種別No.	器種	生産地	法量(単位:cm)			遺構名	備考(網は他遺構にも分布するもの)
			口径(長)	底径(幅)	器高(寸)		
第276図1	京都系土師器	皿	在地	12.0		SK201	
第276図2	京都系土師器	皿	在地	12.0	2.2	SK201	
第276図3	京都系土師器	皿	在地	12.8		SK201	
第276図4	瓦質土器	鉢		28.4		SK201	外面煤付着
第279図1	在地系土師器	皿	在地	10.0	7.6 3.0	SK202	
第279図2	在地系土師器	皿	在地	7.4	4.0 2.0	SK202	両面煤付着
第279図3	京都系土師器	皿	在地	12.6	2.4	SK202	
第279図4	陶器	甕鉢	備前	25.0	13.7 13.5	SK202	
第294図1	在地系土師器	皿	在地	12.4	8.0 3.4	SK203	
第294図2	在地系土師器	皿	在地	12.5	8.1 3.4	SK203	
第294図3	在地系土師器	皿	在地	12.5	9.0 3.3	SK203	糸切後、板圧痕
第294図4	在地系土師器	皿	在地	13.0	7.3 3.5	SK203	
第294図5	在地系土師器	皿	在地	12.6	8.6 3.5	SK203	S203-5
第294図6	在地系土師器	皿	在地	12.4	8.0 3.3	SK203	
第294図7	在地系土師器	皿	在地	12.0	10.0 3.1	SK203	
第294図8	在地系土師器	皿	在地	11.0	8.7 3.2	SK203	
第294図9	在地系土師器	皿	在地	12.0	8.2 3.2	SK203	
第294図10	在地系土師器	皿	在地	7.2	2.0	SK203	
第294図11	在地系土師器	皿	在地	14.0	10.0 4.1	SK203	
第294図12	在地系土師器	皿	在地	7.6	2.0	SK203	
第294図13	在地系土師器	皿	在地	9.4	7.2 1.2	SK203	糸切後、板圧痕
第294図14	在地系土師器	皿	在地	9.0	2.4 1.4	SK203	
第294図15	在地系土師器	皿	在地	8.8	6.8 1.6	SK203	糸切後、板圧痕
第294図16	在地系土師器	皿	在地	8.4	7.4 1.2	SK203	
第294図17	在地系土師器	皿	在地	8.0	6.2 1.2	SK203	
第294図18	在地系土師器	皿	在地	10.0	8.4 1.3	SK203	
第294図19	京都系土師器	皿	在地	11.0	2.2	SK203	両面に煤付着
第294図20	鉄製品	小柄		7.0	1.1 0.2	SK203	8.4g
第294図21	鉄製品	釘		6.5	0.5 7.0g	SK203	
第294図22	鉄製品	釘		5.5	0.5 3.1g	SK203	
第294図23	鉄製品	釘		4.5	0.5 6.9g	SK203	
第294図24	鉄製品	釘		5.5	0.5 8.1g	SK203	
第294図25	鉄製品	釘		5.1	0.7 13.9g	SK203	
第296図26	瓦質土器	鉢		21.0		SK203	
第296図27	瓦質土器	鉢				SK203	
第296図28	瓦質土器	鉢				SK203	灰色・灰褐色
第296図29	瓦質土器	鉢		32.0		SK203	
第296図30	瓦質土器	鉢		26.4	11.2 13.0	SK203	
第296図31	瓦質土器	鉢				SK203	
第296図32	瓦質土器	こね鉢		28.7	10.8 12.4	SK203	
第296図33	瓦質土器	こね鉢	防具系	30.0		SK203	
第296図34	須恵器	こね鉢	東播系	30.0		SK203	S203-4。50%か? 網寸注意
第296図35	須恵器	こね鉢	東播系	30.0		SK203	
第296図36	瓦質土器	甕		31.0		SK203	
第296図37	陶器	甕	備前	22.0		SK203	
第296図38	瓦質土器	甕				SK203	S203-2。S204の12と同・個体
第296図39	須恵器	こね鉢	東播系			SK203	
第296図40	瓦質土器	火鉢				SK203	
第296図41	石製品	下臼	安山岩			SK203	
第297図42	磁器	白磁碗				SK203	
第297図43	瓦質土器	軒平瓦				SK203	
第297図44	土師質	メンコ	土器片加工			SK203	土器片加工品

府内町跡41次調査区遺物観察表21

所跡No.	部 種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考 (湖は地産湖産にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(幅)	厚(深さ)			
第297図45	弥生早期土器	甕	在地	12.6		SK203	ナデ調整	
第297図46	ガラス	玉	緑色	4.5		2.0	SK203	産さ?
第297図47	弥生土器	壺	在地		5.2		SK203	
第298図48	銅製品	鏡貨	皇宋通宝	2.4		1.7g	SK203	1038年初鑄
第298図49	銅製品	鏡貨	元豊通宝	2.8		5.8g	SK203	1078年初鑄
第299図1	在地系土師器	皿	在地	12.0	8.2	3.5	SK204	
第299図2	在地系土師器	皿	在地	8.4	6.6	1.4	SK204	
第299図3	在地系土師器	皿	在地	8.0	6.6	1.2	SK204	
第299図4	土師器	メノコ	再利用	3.7	3.3	11.2g	SK204	土器片加工品
第299図5	土師器	メノコ	再利用	3.0	3.0	5.4g	SK204	土器片加工品
第299図6	土師質	土鍾		4.2	1.2	5.8g	SK204	
第299図7	土師質	土鍾		3.5	2.4	9.4g	SK204	
第299図8	鉄製品	釘		5.5	0.7	2.4g	SK204	
第299図9	鉄製品	釘		4.4	1.4	6.5g	SK204	
第299図10	鉄製品	釘		4.8	1.9	9.5g	SK204	
第299図11	鉄製品	紡錘車		3.9	4.0	16.4g	SK204	
第300図13	銅製品	鏡貨	景祐元宝	2.4		2.8g	SK204	1034年初鑄
第300図14	銅製品	鏡貨	皇宋通宝	2.4		1.7g	SK204	1038年初鑄
第300図15	銅製品	鏡貨	熙寧元宝	2.3		2.5g	SK204	1068年初鑄
第299図13	京都系土師器	皿	在地	16.8		1.8	SK205	京都系1期
第299図14	京都系土師器	皿	在地	14.8		2.3	SK205	
第302図1	在地系土師器	皿	在地	12.4	7.8	2.2	SK206	S206-2
第302図2	瓦質土器	甕		26.0			SK206	S206-1, 暗灰色
第304図4	在地系土師器	皿	在地	11.8	6.0	2.1	SK208	糸切痕
第304図5	在地系土師器	皿	在地	13.2	8.0	2.3	SK208	内面段々状
第304図6	磁器	輪花皿		8.7	3.6	2.6	SK208	灰白色
第304図7	在地系土師器	皿	在地	12.2	8.5	3.4	SK209	
第304図8	在地系土師器	皿	在地	7.8	6.2	1.2	SK209	
第304図9	在地系土師器	皿	在地	11.6	6.4	2.1	SK209	板圧痕
第308図1	在地系土師器	皿	在地	12.4	9.0	3.5	SK210	S210-1
第308図2	在地系土師器	皿	在地	11.0	7.4	3.7	SK210	
第308図3	土師器	甕	古墳時代	13.2			SK210	
第308図4	京都系土師器	皿	在地	15.5		2.1	SK211	
第308図5	京都系土師器	皿	在地	17.0		3.2	SK212	S212-9
第308図6	京都系土師器	皿	在地	13		1.7	SK212	
第308図7	京都系土師器	皿	在地	13.4		2.3	SK212	
第308図8	京都系土師器	皿	在地	12.2		2.4	SK212	
第308図9	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.4	SK212	
第308図10	京都系土師器	皿	在地	10.2		2.1	SK212	
第308図11	京都系土師器	皿	在地	10.9		2	SK212	煤付着
第308図12	京都系土師器	皿	在地	10.2		2.2	SK212	
第308図13	京都系土師器	皿	在地	10.2		1.9	SK212	
第308図14	京都系土師器	皿	在地	12		1.8	SK212	
第308図15	京都系土師器	皿	在地	8.4		1.9	SK212	
第308図16	京都系土師器	皿	在地	10.2		2	SK212	
第308図17	土師器	燗台	在地			1.9	SK212	
第308図18	瓦質土器	角火鉢	在地				SK212	
第308図19	鉄製品	板状		14.5		114.8g	SK212	
第308図20	土師質	土鍾	在地				SK212	
第308図21	鉄製品	釘		5.2	0.4	2.8g	SK212	
第308図22	鉄製品	釘		5.6	0.5	8.6g	SK212	
第308図23	鉄製品	釘		8.5	0.4	13.6g	SK212	

府内町跡41次調査区遺物観察表22

標図No.	器種	生産地	法量(単位cm)			遺物名	備考(類は値遺構にも分布するもの)
			口径(長)	底径(幅)	深さ(高さ)		
第309図24	磁器	白磁皿					
第309図1	在地系土師器	皿	在地	11.1	6.1	3.1	SK212
第309図2	在地系土師器	皿	在地	12.5	8.5	3	S213
第309図3	在地系土師器	皿	在地	8	7	1.2	S213
第309図4	在地系土師器	皿	在地	7.7	6.5	1.4	S213
第309図5	在地系土師器	皿	在地	7.7	5.6	1.5	S213
第309図6	瓦質土器	甕		7.8	6	1.5	S213
第309図7	陶器	甕	常滑				S213
第309図8	須恵器	こね鉢	東播磨	16.9			S213
第309図9	土師器	高杯	古墳時代	11.4	4.5	2.7	S213
第309図10	磁器	白磁皿					S213
第311図1	弥生土器	高杯	在地				SK217
第312図1	銅製品	銭貨	皇室遺宝	2.2		2.2g	SK217
第315図1	在地系土師器	皿	在地	8	6.4	1.8	SK222
第315図2	在地系土師器	皿	在地	8.4	6.9	1.5	SK222
第315図3	在地系土師器	皿	在地	8.2	6.7	1.3	SK222
第315図4	瓦質土器	こね鉢		29.6			SK223
第315図5	弥生土器	甕	在地		5		SK223
第315図6	磁器	青花皿	美濃焼		8.8		SK223
第315図7	陶器	播鉢	備前				SK225
第315図8	在地系土師器	皿	在地	8.8	7.0	1.3	SK226
第315図9	在地系土師器	皿	在地	7.8	6.2	1.2	SK227
第330図7	陶器	播鉢	備前	26.0			SK228
第306図1	在地系土師器	皿	在地	12.4	6.6	2.7	SK230
第306図2	在地系土師器	皿	在地	7.7	5.2	1.7	SK230
第306図3	京都系土師器	皿	在地	8.3	1.7		SK232
第233図1	京都系土師器	皿	在地	13.1		1.8	SK233
第233図2	京都系土師器	皿	在地	9.2	6.6	2.0	SK233
第233図3	京都系土師器	皿	在地	12.5		2.5	SK233
第233図4	京都系土師器	皿	在地	12.5			SK233
第233図5	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.3	SK233
第233図6	京都系土師器	皿	在地	12.0		2.3	SK233
第233図7	京都系土師器	皿	在地	12.0		2.2	SK233
第233図8	京都系土師器	皿	在地	10.4		2.3	SK233
第233図9	京都系土師器	皿	在地	9.0		1.9	SK233
第233図10	京都系土師器	皿	在地	9.1			SK233
第233図11	京都系土師器	皿	在地	10.6			SK233
第233図12	土師質	揚合	在地	8.7	6.5	7.1	SK233
第233図13	陶器	壺	備前	12.0			SK233
第233図14	瓦質	専	在地	17.4	14.6	2.1	SK233
第233図15	瓦質	専	在地	11.4	11.5	2.9	SK233
第233図16	瓦質	専	在地	11.4	8.4	2.8	SK233
第233図17	石製品	砥石	泥岩	8.4	4.3	3.5	SK233
第321図1	土師質	揚合	在地		7.4	6.4	SK234
第321図2	陶器	クロツ	タイ	11.6		11.0	SK235
第321図3	陶器	碗	朝鮮		4.9		SK235
第323図1	京都系土師器	皿	在地	12.7		2.5	SK236
第323図2	京都系土師器	皿	在地	11.2			SK236
第323図3	陶器	鉢	中国	20.0			SK236
第325図1	陶器	甕	備前				SK237
第325図2	在地系土師器	皿	在地	12.2	7.0	3.8	SK240
第327図1	在地系土師器	皿	在地	7.8	6.3	1.5	SK241

府内町跡41次調査区遺物観察表23

検出No.	部 種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考(備は此遺構にも分布するもの)
			口径(径)	底径(径)	取手(径)		
第327図2	在地系土師器	皿	在地	8.2	6.4	1.2	SK241
第327図3	在地系土師器	皿	在地	8.2	6.6	1.5	SK241
第327図4	在地系土師器	皿	在地	8.8	7.2	1.4	SK241
第327図5	在地系土師器	皿	在地	7.0	5.1	1.4	SK241
第327図6	京都系土師器	皿	在地	16.4		8.3	SK241
第327図7	京都系土師器	皿	在地	10.2		1.8	SK241
第327図8	京都系土師器	皿	在地	9.1		2.2	SK241
第329図1	在地系土師器	小皿	在地	8.5	5.7	1.2	SK242
第329図2	京都系土師器	皿	在地	8.3		3.2	SK242
第330図1	在地系土師器	皿	在地	12.6	10.4	3.2	SK243
第330図2	在地系土師器	皿	在地	12.2	8.4	2.9	SK243
第330図3	在地系土師器	皿	在地	12.5	9.7	2.9	SK243
第330図4	須恵器	こね鉢	東播磨	39.6			SK243
第330図5	陶器	甕	備前	21.5			SK243
第330図6	瓦質土器	鉢					SK243
第332図1	在地系土師器	皿	在地	8.6	6.5	1.4	SK244
第332図2	在地系土師器	皿	在地	7.3	5.6	1.5	SK244
第332図3	在地系土師器	皿	在地	8.8	7.4	1.4	SK244
第332図4	在地系土師器	皿	在地	7.9	7.5	1.0	SK244
第332図5	在地系土師器	皿	在地	8.3	7.7	1.5	SK244
第332図6	在地系土師器	皿	在地	7.6	6.0	1.5	SK244
第332図7	在地系土師器	皿	在地	10.9	8.5	3.0	SK245
第332図8	在地系土師器	皿	在地	11.6	7.4	3.2	SK247
第332図9	在地系土師器	皿	在地	12.7	10.4	3.0	SK247
第332図10	在地系土師器	皿	在地	7.8	7.2	1.1	SK247
第332図11	在地系土師器	皿	在地	8.1	7.6	1.1	SK247
第332図12	瓦質土器	鉢					SK257
第332図13	土師質	土罐	在地	4.1	1.5	9.5g	SK267
第345図1	陶器	鉢	備前	20.0			SK263
第345図1	石製品	砥石	結晶片岩	13.2	4.3	2.5	SK283
第345図2	在地系土師器	皿	在地	12.7	9.0	3.6	S1019
第345図3	在地系土師器	皿	在地	8.2	6.5	1.4	S1035
第345図4	磁器	青花皿	景徳館		6.0		S1043
第345図5	京都系土師器	皿	在地	10.7		2.1	S1044
第345図6	京都系土師器	皿	在地				S1052
第345図7	京都系土師器	皿	在地	13.2		2.5	S1072
第345図8	京都系土師器	皿	在地	7.7		1.8	S1072
第345図9	京都系土師器	皿	在地	12.4			S1075
第345図10	京都系土師器	皿	在地	12.8		2.6	S1076
第345図11	磁器	青花皿		14.3	6.7	2.3	S1076
第345図12	磁器	白磁皿		14.5			S1076
第345図13	在地系土師器	皿	在地	8.0	4.8	1.7	S1077
第345図14	京都系土師器	皿	在地	12.3		2.1	S1077
第345図15	京都系土師器	皿	在地	12.4			S1077
第345図16	京都系土師器	皿	在地	9.4			S1084
第346図1	京都系土師器	皿	在地				S1088
第346図2	京都系土師器	皿	在地				S1115
第346図3	土師質	土鉢	在地	11.4		3.1	S1124
第346図4	土師質	土罐	在地	4.0	1.3	5.6g	S1130
第346図5	京都系土師器	皿	在地	3.8	1.4	5.3g	S1139
第346図6	京都系土師器	皿	在地	12.4			S1148

府内町跡41次調査区遺物観察表24

調査No.	器種	生産地	法量(単位:cm)			遺構名	備考(同じ調査区にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(幅)	胴(高さ)			
第346図7	京都系土師器	皿	在地			S1148		
第346図8	京都系土師器	皿	在地			S1149		
第346図9	京都系土師器	皿	在地	11.2		2.2	S1154	
第346図10	京都系土師器	皿	在地				S1161	
第346図11	京都系土師器	皿	在地	10.8		2.1	S1178	
第346図12	京都系土師器	皿	在地	15.4		2.0	S1203	
第346図13	京都系土師器	皿	在地	8.5		1.8	S1203	煤付着
第346図14	在地系土師器	小皿	在地	4.2		1.9	S1214	
第346図15	ガラス	玉		0.4	0.4		S1241	
第346図16	ガラス	容器		0.3	0.8	0.5	S1242	緑色。1.4g
第346図17	京都系土師器	皿	在地	8.2		1.5	S1243	
第346図18	瓦	軒平瓦		17.8	18.3	2.0	S1243	
第346図19	在地系土師器	皿	在地	11.8	9.0	4.1	S1244	
第346図20	京都系土師器	皿	在地	14.6			S1244	煤付着
第346図21	京都系土師器	皿	在地	8.4	4.8	1.8	S1245	煤付着
第346図22	京都系土師器	皿	在地	14.6		1.7	S1249	
第346図23	京都系土師器	皿	在地	7.6		1.5	S1249	
第346図24	在地系土師器	皿	在地	8.2	6.8	1.5	S1256	
第346図25	京都系土師器	小皿	在地	4.4		1.6	S1245	
第346図26	在地系土師器	皿	在地	12.4	9.6	3.6	S1260	
第346図27	在地系土師器	皿	在地	8.4	6.4	1.6	S1260	
第347図1	在地系土師器	皿	在地	6.8	5.4	1.6	S1262	
第347図2	在地系土師器	皿	在地	8.4	6.8	1.5	S1262	
第347図3	在地系土師器	皿	在地	7.4	6.2	1.5	S1262	
第347図4	土師貫	棒状土師		3.6	2.0	15.6g	S1262	
第347図5	京都系土師器	皿	在地	12.8		2.2	S1274	
第347図6	在地系土師器	皿	在地	9.0	5.7	1.9	S1288	
第347図7	在地系土師器	皿	在地	8.2	5.2	2.1	S1288	煤付着
第347図8	器蓋	白磁皿		12.8	6.2	2.3	S1290	
第347図9	在地系土師器	皿	在地	7.7		1.7	S1308	
第347図10	在地系土師器	皿	在地	11.6			S1313	
第348図1	京都系土師器	皿	在地	13.0			S1324	
第348図2	京都系土師器	皿	在地	14.0	10.1	3.0	S1325	
第348図3	在地系土師器	皿	在地	8.8	7.4	1.2	S1325	
第348図4	在地系土師器	皿	在地	8.8	7.2	1.3	S1325	
第348図5	在地系土師器	皿	在地	9.2	7.4	1.3	S1325	
第348図6	在地系土師器	皿	在地	11.6	7.0	3.7	S1329	
第348図7	在地系土師器	皿	在地	8.4	6.8	1.3	S1329	
第348図8	土師貫	土師	在地	2.7	1.3	5.0g	S1338	
第348図9	土師貫土器	燭台	在地				S1343	
第348図10	京都系土師器	皿	在地	16.0			S1362	
第348図11	京都系土師器	皿	在地	12.6		2.6	S1364	
第348図12	京都系土師器	皿	在地	17.0			S1365	
第348図13	瓦質土器	鉢		28.0			S1367	
第348図14	瓦質土器	鉢					S1367	
第348図15	京都系土師器	皿	在地	12.6		2.3	S1372	
第348図16	京都系土師器	皿	在地	14.0		1.9	S1376	
第348図17	京都系土師器	皿	在地	10.6			S1382	
第348図18	京都系土師器	皿	在地	10.0		1.9	S1382	
第348図19	在地系土師器	皿	在地	7.6		1.5	S1389	
第348図20	京都系土師器	皿	在地	12.8		2.2	S1389	
第348図21	在地系土師器	皿	在地	8.0	7.0	1.2	S1399	

府内町跡41次調査区遺物観察表25

検出No	器種	生成地	法量(単位:cm)			遺構名	備考(附は他遺構にも分布するもの)		
			口径(径)	底径(幅)	胴厚(高)				
第348図22	在地系土師器	皿	在地	7.6	6.9	0.9	S1400		
第348図23	在地系土師器	皿	在地	8.4	6.6	1.5	S1403		
第348図24	在地系土師器	皿	在地	7.5	6.8	1.3	S1403		
第348図25	在地系土師器	皿	在地	8.1	7.0	1.3	S1403		
第348図26	在地系土師器	皿	在地	8.4	6.6	1.3	S1403		
第349図1	在地系土師器	皿	在地	7.7	6.5	1.3	S1408		
第349図2	京都系土師器	皿	在地	15.9			2.9	S1410	
第349図3	在地系土師器	皿	在地				3.1	S1411	
第349図4	在地系土師器	皿	在地	8.0	6.6	1.3	S1413		
第349図5	在地系土師器	皿	在地					S1422	
第349図6	土師器	椀	在地					S1442	古墳時代
第349図7	在地系土師器	皿	在地	8.3	7.2	1.3	S1446		
第349図8	在地系土師器	皿	在地	7.9	6.5	1.4	S1446		
第349図9	在地系土師器	皿	在地	12.4				S1446	
第349図10	在地系土師器	皿	在地	12.8	7.9	3.5	S1449		
第349図11	在地系土師器	皿	在地	8.8	7.0	1.1	S1450	糸切後、板圧痕	
第349図12	在地系土師器	皿	在地	8.2	6.4	1.4	S1450		
第349図13	在地系土師器	皿	在地	12.0	9.2	3.1	S1451		
第349図14	在地系土師器	皿	在地	14.8	11.0	3.5	S1452		
第349図15	在地系土師器	皿	在地	8.1	6.6	1.6	S1453		
第349図16	在地系土師器	皿	在地	8.4	6.0	1.4	S1453		
第349図17	京都系土師器	皿	在地	13.0			2.3	S1832	煤付着
第350図2	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.5			1.8g	S1490	
第350図1	銅製品	銭貨	皇宋通宝	2.4			2.8g	S1144-1	
第354図1	銅製品	銭貨	洪武通宝	2.2			2.1g	W61区	1368年初跡
第354図2	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.4			2.2g	X62区	
第360図1	銅製品	銭貨	開元通宝	2.5			2.3g	Y63区-10cm	621年初跡
第360図2	銅製品	銭貨	明元元宝	2.4			2.4g	Y63区-10cm	1032年初跡
第360図3	銅製品	銭貨	皇宋通宝	2.4			1.8g	Y63区6	1038年初跡
第360図4	銅製品	銭貨	順平元宝	2.4			2.8g	Y63区22	1068年初跡
第360図5	銅製品	銭貨		2.3			1.8g	Y63区42	
第354図3	銅製品	銭貨	開元通宝	2.3			2.4g	Y64区表採	621年初跡
第354図4	銅製品	銭貨	開元通宝	2.3			1.3g	Y64区11	621年初跡
第354図5	銅製品	銭貨	元祐通宝	2.3			1.5g	Y64区6	1086年初跡
第360図6	銅製品	銭貨	周通元宝	2.4			2.2g	Z63区16	955年初跡
第360図7	銅製品	銭貨	至道元宝	2.4			2.5g	Z63区53	995年初跡
第360図8	銅製品	銭貨	至道元宝	2.4			2.2g	Z63区54	995年初跡
第360図9	銅製品	銭貨	皇宋通宝	2.4			1.6g	X63区-15cm	1038年初跡
第360図10	銅製品	銭貨	治平元宝	2.4			3.1g	Z63区18	1064年初跡
第360図11	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.4			2.0g	Z63区50	1078年初跡
第360図12	銅製品	銭貨	元祐通宝	2.3			1.8g	Z63区63	1086年初跡
第360図13	銅製品	銭貨	紹聖元宝	2.3			2.7g	Z63区17	1094年初跡
第360図14	銅製品	銭貨	洪武通宝	2.2			2.6g	Z63区25	1368年初跡
第360図15	銅製品	銭貨	永樂通宝	2.3			1.2g	Z63区-20cm	1408年初跡
第350図3	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.4			1.9g	Z東壁	
第354図6	銅製品	銭貨	開元通宝	2.3			1.8g	Z64区	
第354図7	銅製品	銭貨	順寧元宝	2.4			2.5g	Z64区3	
第354図8	銅製品	銭貨	熙寧元宝	2.4			2.2g	Z64区13	
第354図9	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.4			1.1g	Z64区-35cm	
第354図10	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.4			1.9g	Z64区21	
第354図12	銅製品	銭貨	大定通宝	2.5			2.1g	Z64区19	
第354図13	銅製品	銭貨	永樂通宝	2.4			4.2g	Z64区20	三枚重ね

府内町跡41次調査区遺物観察表26

種別No.	品名	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考(附は他遺構にも分布するもの)
			口徑(長)	底径(幅)	高さ(厚)		
第354図14	銅製品	銭貨	永楽通宝	2.4	2.4	Z64区20	三枚重ね
第354図15	銅製品	銭貨	永楽通宝	2.4	3.5	Z64区20	
第358図1	銅製品	銭貨	至道元宝	2.4	2.3	A63区上層	
第358図2	銅製品	銭貨	景徳元宝	2.4	1.3	A63区20	
第358図3	銅製品	銭貨	明道元宝		1.8	A63区上層	
第358図4	銅製品	銭貨	嘉祐元宝	2.4	1.9	A63区-20cm	
第358図5	銅製品	銭貨	熙寧元宝	2.3	1.5	A63区-30cm	
第358図6	銅製品	銭貨	熙寧元宝	2.5	1.0	A63区	
第358図7	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.5	2.8	A63区71	
第358図8	銅製品	銭貨	元祐通宝	2.4	1.6	A63区上層	
第358図9	銅製品	銭貨	永楽通宝	2.5	1.3	A63区-25cm	
第358図10	銅製品	銭貨	天一宝	2.5	1.5	A63区上層	
第358図11	銅製品	銭貨	不明	2.5	1.2	A63区	
第358図12	銅製品	銭貨	寛永通宝	2.4	2.2	A64区20	
第358図13	銅製品	銭貨	不明	2.3	2.3	A64区38	
第362図1	銅製品	銭貨	開元通宝	2.4	0.9	B63区遺3西	
第362図2	銅製品	銭貨	皇宋通宝	2.5	1.9	B63区	
第362図3	銅製品	銭貨	熙寧元宝	2.4	2.2	B63区	
第362図4	銅製品	銭貨	熙寧元宝	2.3	1.5	B63区	
第362図5	銅製品	銭貨	至道元宝	2.2	2.8	B63区33	
第362図6	銅製品	銭貨	洪武通宝	2.4	2.5	B63区13	
第362図7	銅製品	銭貨	無紋銭	2.2	1.1	B63区66	
第362図8	銅製品	銭貨	不明	2.3	3.1	B63区15	
第362図9	銅製品	銭貨	不明	2.1	2.4	B63区47	
第369図1	銅製品	銭貨	祥符元宝	2.4	1.6	B64区26-1	
第369図2	銅製品	銭貨	天禧通宝	2.4	0.9	B64区	
第369図3	銅製品	銭貨	皇宋通宝	2.6	2.4	B64区23	
第369図4	銅製品	銭貨	皇宋通宝	2.4	1.5	B64区11	
第369図5	銅製品	銭貨	熙寧元宝	2.3	2.0	B64区37	
第369図6	銅製品	銭貨	熙寧元宝	2.4	2.3	B64区17	
第369図7	銅製品	銭貨	熙寧元宝	2.4	2.5	B64区43	
第369図8	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.2	1.6	B64区110a	
第369図9	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.4	2.1	B64区22	
第369図10	銅製品	銭貨	元祐通宝	2.4	1.8	B64区65	
第369図11	銅製品	銭貨	元符通宝	2.3	1.4	B64区17	
第369図12	銅製品	銭貨	宣徳通宝	2.5	2.0	B64区10	
第369図13	銅製品	銭貨	銀刻銭	2.3	1.4	B64区	
第369図14	銅製品	銭貨	無紋銭	2.0	0.6	B64区21	
第369図15	銅製品	銭貨	不明	2.3	1.9	B64区20	
第369図16	銅製品	銭貨	不明	2.3	1.8	B64区39	
第362図10	銅製品	銭貨	天禧通宝	2.5	1.8	C63区37	
第362図11	銅製品	銭貨	皇宋通宝	2.4	1.2	C63区15	
第362図12	銅製品	銭貨	嘉祐元宝	2.3	1.8	C63区-括	
第362図13	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.4	2.3	C63区遺跡下	
第362図14	銅製品	銭貨	祥符元宝	2.3	2.8	C63区-括	
第371図1	銅製品	銭貨	元祐通宝	2.4	2.3	C64区1	
第371図2	銅製品	銭貨	咸平元宝	1.9	1.4	C64区30	
第図1	銅製品	銭貨	咸平元宝	2.5	2.0	F63区8	
第図1	銅製品	銭貨	熙寧元宝	2.3	3.0	F63区12	
第図1	銅製品	銭貨	元豊通宝	2.4	2.9	F63区6	
第図1	銅製品	銭貨	洪武通宝	2.2	2.5	F64区1	
第図2	銅製品	銭貨	天禧通宝	2.5	2.2	D63区28	

府内町跡41次調査区遺物観察表27

神原No.	品 種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考(網は他遺構にも分布するもの)	
			口径(長)	表径(幅)	底径(厚)			
第350	銅製品	銭貨	不明		1.1g	D63-6区1層		
第350区4	銅製品	銭貨	至道元宝	2.5	1.7g	A区東壁2層		
第350区5	銅製品	銭貨	元祐通宝	2.3	2.0g	A区東壁2層		
第350区6	銅製品	銭貨	洪武通宝	2.2	2.6g	A区東壁2層		
第350区7	銅製品	銭貨	不明	2.4	1.7g	A区東壁2層		
第372区1	銅製品	銭貨	嘉祐元宝	2.3	2.5g	表採		
第372区2	銅製品	銭貨	淳祐元宝	2.4	1.4g	表採	裏面に「十」	
第372区3	銅製品	銭貨	無紋銭	2.5	3.1g	表採		
第372区4	銅製品	銭貨	治平元宝	2.3	2.6g	表採		
第372区5	銅製品	銭貨	順寧元宝					
第372区6	銅製品	銭貨						
第383区1	在地系土師器	皿	在地	13.0	6.9	2.3	A63区37	
第383区2	在地系土師器	皿	在地	8.0	4.2	1.9	A63区	
第383区3	京都系土師器	皿	在地	16.8		2.2	A63区82-83	
第383区4	京都系土師器	皿	在地	13.6		2.4	A63区74	
第383区5	京都系土師器	皿	在地	13.3		2.1	A63区75	
第383区6	京都系土師器	皿	在地	13.2		2.6	A63区79	
第383区7	京都系土師器	皿	在地	12.8		2.0	A63区24	
第383区8	京都系土師器	皿	在地	12.7		2.9	A63区51	
第383区9	京都系土師器	小皿	在地	4.5		1.5	A63区35cm	
第383区10	京都系土師器	小皿	在地	4.7		1.5	A63区25cm	
第383区11	京都系土師器	小皿	在地	4.1		1.5	A63区上層	
第383区12	京都系土師器	皿	在地	11.7		3.6	A63区48	
第383区13	京都系土師器	皿	在地				A63区49	
第383区14	京都系土師器	皿	在地	10.3		2.8	A63区59	
第383区15	京都系土師器	皿	在地	10.3		2.8	A63区41	
第383区16	京都系土師器	皿	在地	8.5		1.7	A63区73	
第383区17	京都系土師器	皿	在地	8.7		2.0	A63区26cm	
第383区18	京都系土師器	小皿	在地	4.7		1.9	A63区	
第383区19	磁器	青花碗					A63区50	
第383区20	陶器	碗	肥前				A63区11	
第383区21	磁器	青花皿			4.6	2.0	A63区2	
第383区22	磁器	青花碗		12.0			A63区3	
第383区23	磁器	青花皿		12.6	7.4	2.7	A63区上層	
第383区24	磁器	青花碗		13.4			A63区56	
第383区25	磁器	青花碗		13.4	5.6	6.0	A63区72	
第383区26	磁器	青花碗			5.2	3.0	A63区39	
第383区27	磁器	青磁碗			5.8	2.9	A63区	
第383区28	磁器	白磁		14.4	7.4	2.8	A63区14	
第384区1	磁器	白磁皿		13.4	7.8	2.0	A63区壁P3	
第384区2	磁器	青磁碗			6.4		A63区7	
第384区3	磁器	青磁碗					A63区25	
第384区4	陶器	碗	朝鮮				A63区	同一個体
第384区5	陶器	碗	朝鮮	5.0			A63区25cm	
第384区6	陶器	壺	華南三彩				A63区20cm	
第384区7	陶器	碗					A63区69	
第384区8	磁器	青磁碗		12.8			A63区上層	東壁19層・A区25cm
第384区9	磁器	青磁碗		12.4			A63区	
第384区10	陶器	碗	肥前?				A63区33	
第384区11	磁器	青磁碗			5.0		A63区31	
第384区12	瓦質土器	鉢					A63区23	
第384区13	瓦質土器	鉢		30.0	17.0	10.5	A63区	A23区27~30

府内町跡41次調査区遺物観察表28

神宮No.	器種	生産地	法量(単位:cm)			遺坑名	備考(湖内地遺構にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(幅)	高(厚)			
第384図14	土師質	土師	在地		0.7	0.9g	A63K-25cm	
第384図15	土師質	土師	在地	5.3	1.0	4.6	A63区上層	
第384図16	土師質	メンコ	凝灰岩	4.0	3.8	1.4	A63区上層	土器片加工品,11.2g
第384図17	土師質	メンコ	在地	2.9	2.3	0.6	A63K-20cm	土器片加工品,5.9g
第384図18	石製品	紡車車	凝灰岩	3.0	3.2	1.2	A63区一帯	4.7g
第384図19	銅製品						A63K32	
第384図20	銅製品	煙管断首					A63区上層	
第384図21	銅製品	柄杓		5.3	4.7		A63区74	
第384図22	銅製品	小柄					A63区10	
第384図23	鉄製品			20.2	0.4	20.8g	A63区一帯	
第384図24	土師器	小型丸底蓋	在地	6.1			A63区東壁	
第384図25	弥生土器	甕	在地		8.4		A63区65	
第386図1	石製品	砥石		10.0	2.7		A63K-25cm	77.4g
第386図2	石製品	砥石	結晶片岩	21.4	7.3	6.2	A63区80	814.8g
第386図3	石製品	砥石		4.5	3.3	0.9	A63区-30cm	19.9g
第386図4	石製品	硯		5.2	2.2	9.2g	A63区-30cm	
第386図5	ガラス	玉		0.5	0.4		A63区	白色
第386図6	ガラス	玉		0.4	0.2		A63区75	白色
第386図7	在地系土師器	皿	在地	12.1	6.9	3.0	A64区14	糸切縁、板圧痕
第386図8	在地系土師器	皿	在地	11.8	6.3	2.8	A64区15	
第386図9	在地系土師器	皿	在地	8.4	4.4	2.2	A64区-25cm	
第386図4	京都系土師器	小皿	在地	8.6	2.0		A64区5	襷付着
第386図5	京都系土師器	小皿	在地	12.5	2.5		A64区7	
第386図6	京都系土師器	小皿	在地	12.2	2.4		A64区8	
第386図7	京都系土師器	小皿	在地	10.9	2.4		A64区39	
第386図8	京都系土師器	小皿	在地	8.7	1.8		A64区東壁	
第386図9	京都系土師器	小皿	在地	14.2	4.5		A64区33	襷付着
第386図10	磁器	青花磁		11.6			A64区22	
第386図11	磁器	青花磁	景徳鎮	12.4	3.4	3.1	A64区上層	
第386図12	磁器	青花磁	景徳鎮				A64区32	
第386図13	磁器	白磁皿		12.0	6.2	2.8	A64区上層	
第386図14	磁器	白磁皿		17.0	8.8	3.3	A64区-15cm	
第386図15	磁器	白磁皿		18.0			A64区3	
第386図16	陶器	鳥形水注	華南三彩		3.3		A64区10cm	
第386図17	陶器	皿	華南三彩				A64区27	
第386図18	磁器	鳥形水注	五彩				A64区	
第386図19	陶器	鳥形水注	華南三彩				A64区上層	
第386図20	土師質土器	埴埴	在地	6.1		3.2	A64区1	
第386図21	土師質土器	メンコ	在地	3.3	3.2	0.9	A64K-15cm	土器片加工品, 10.9g
第386図22	石製品	紡車車	在地	4.3	4.3	1.5	A64区27	土器片加工品, 13.0g
第387図1	瓦質土器	鉢		48.0			A64区11	
第387図2	瓦質土器	鉢					A64区	全体的に襷付着
第387図3	陶器	襷鉢	備前	32.0	11.9		A64区9	
第387図4	土師質	土師	在地	5.2	1.1	7.2g	A64区	焼七レベルで出土
第387図5	土師質	土師	在地	3.3	1.2	4.8g	A64K-95cm	
第387図6	土師質	土師	在地	3.3	0.8	2.1g	A64区	焼七レベルで出土
第387図7	土師質	土師	在地	3.8	1.5	8.6g	A64区	焼七レベルで出土
第387図8	土師質	土師	在地	2.2	1.2	3.2g	A64区	
第387図9	土師質	土師	在地	5.2	0.9	4.6g	A64K-30cm	
第387図10	土師質	土師	在地	4.1	1.1	5.6g	A64区	地山直上出土
第387図11	土師質	土師	在地	3.6	1.0	2.9g	A64区	焼七レベルで出土
第387図12	土師質	土師	在地	3.2	0.8	1.6g	A64区-15cm	

府内町跡41次調査区遺物観察表29

標識No.	部 種	生産地	法量(単位cm)			遺種名	備考(同じ地層構にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(短)	最大径(動)			
第387図13	土師質	土罐	在地	4.8	1.3	7.9g	A64区	焼土レベルで出土
第387図14	土師質	土罐	在地	5.1	1.3	7.3g	A64区15cm	
第387図15	鉄製品	毛抜き		9.3	0.2	13.4g	A64区	
第387図16	鉄製品			5.0	0.2	30.3g	A64区-15cm	
第387図17	鉄製品	釘		14.7	0.4	8.5g	A64区18	
第387図18	鉄製品	釘		7.4	0.4	6.8g	A54区-30cm	
第387図19	鉄製品	釘		4.9	0.5	9.2g	A64区-20cm	
第387図20	鉄製品	環状		3.2	0.5	6.0g	A64区-20cm	
第387図21	鉛製品	火筒銃弾		1.3	1.3	4.4g	A64区	スタイ出土レベル
第388図1	土師器	小皿	在地	5.5		2.0	A区東壁	2層
第388図2	土師器	小皿	在地	5.3		1.5	A区東壁	4層
第388図3	陶器	壺	備前	11.8			A区東壁	P4
第388図4	石製品	火打石	石英	4.0	3.9	1.4	A区東壁	9層、24.5g
第389図1	在地系土師器	皿	在地	12.6	8.8	3.2	B63区	地山直上出土
第389図2	在地系土師器	皿	在地	9.5	6.0	1.7	B63区	地山直上出土
第389図3	在地系土師器	皿	在地	7.0	6.0	1.2	B63区	地山直上出土
第389図4	京都系土師器	皿	在地	9.0		2.9	B63区5層	
第389図5	京都系土師器	皿	在地	12.0		3.5	B63区65	
第389図6	土師器	燗台	在地			6.3	B63区61	
第389図7	磁器	青花碗	景德鎮				B63区3	
第389図8	磁器	青花碗	景德鎮			5.2	B63区6	
第389図9	磁器	青花碗	景德鎮			5.4	B63区34	
第389図10	磁器	青花皿	景德鎮	12.8	6.4	3.1	B63区26	
第389図11	陶器	盤	華南三彩				B63区18	
第389図12	磁器	白磁皿				3.0	B63区27	
第389図13	磁器	青磁碗			4.6	2.3	B63区48	円形に加工
第389図14	磁器	白磁皿					B63区49	
第389図15	磁器	青磁皿			7.2		B63区14	
第389図16	磁器	白磁碗			5.6		B63区46	
第389図17	磁器	青磁碗					B63区2	
第389図18	陶器	甕	備前				B63区59	
第389図19	陶器	播鉢	備前				B63区	地山直上出土
第389図20	土師器	メンコ	在地	1.7	1.1	8.7g	B63区	地山直上出土、土器片加工品
第389図21	陶器	壺	備前	20.0			B63区	地山直上出土、生焼片
第389図22	土師質土器	罎					B63区	地山直上出土
第389図23	磁器	白磁皿					B63区4	
第390図1	石製品	火打石	六人塚石	4.7	2.7	1.1	B63区	19.7g
第390図2	石製品	砥石		11.8	6.5	1.6	B63区64	185.1g
第390図3	石製品	砥石		16.7	3.4	1.8	B63区12	159.2g
第390図4	石製品	砥石		7.6	3.2	0.8	B63区	34.0g
第390図5	石製品			4.7	3.9		B63区49	7.3g
第390図6	土師質	土罐		3.7	1.0		B63区上層	3.8g
第390図7	土師質	土罐		6.7	1.6		B63区一拵	17.4g
第390図8	土師質	土罐		6.0	1.4	12.7g	B63区	地山直上出土
第390図9	銅製品	分銅		1.2	0.8	0.3	B63区17	1.3g
第390図10	鉄製品	釘		7.7	0.5	17.4g	B63区20cm	
第390図11	ガラス	玉		0.5	0.5		B63区	白色
第390図12	ガラス	玉		0.5	0.5		B63区	白色
第390図13	ガラス	玉		0.5	0.5		B63区	白色
第390図14	ガラス	玉		0.5	0.3		B63区	白色
第390図15	ガラス	玉		0.4	0.3		B63区	白色
第390図16	ガラス	玉		0.5	0.4		B63区	白色

府内町跡41次調査区遺物観察表30

神岡No.	器 種		生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考 (柄は地産機にも分布するもの)
				口径(長)	底径(幅)	厚(高さ)		
第390図17	ガラス	玉		0.5	0.3		B63区	白色
第390図18	ガラス	玉		0.4	0.4		B63区	白色
第390図19	ガラス	玉		0.5	0.4		B63区	白色
第390図20	ガラス	玉		0.6	0.3		B63区	白色
第390図21	ガラス	玉		0.5	0.4		B63区	白色
第390図22	ガラス	玉		0.5	0.4		B63区	白色
第390図23	ガラス	玉		0.6	0.4		B63区	白色
第390図24	ガラス	玉		0.5	0.4		B63区	白色
第390図25	ガラス	玉		0.5	0.4		B63区	白色
第391図1	在地系土師器	皿	在地	12.0	5.0	2.5	B64区	内面段々状。地山直上
第391図2	在地系土師器	皿	在地	12.4	7.3	2.4	B64区	地山に20cm上
第391図3	在地系土師器	皿	在地	12.4	7.4	2.5	B64区66	
第391図4	在地系土師器	皿	在地	9.0	5.6	1.9	B64区	
第391図5	在地系土師器	皿	在地	9.7	4.8	2.8	B64区56	
第391図7	京都系土師器	皿	在地	13.6		2.9	B64区48	
第391図8	京都系土師器	皿	在地	12.0		1.9	B64区上層	
第391図9	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.6	B64区上層	
第391図10	京都系土師器	皿	在地	9.0		2.8	B64区30cm	煤付着
第391図11	京都系土師器	小皿	在地	6.0		4.5	B64区上層	
第391図12	磁器	青花皿	糸織鎮		2.6		B64区29	
第391図13	磁器	青花碗			4.7		B64区12-14	
第391図14	磁器	青花碗					B64区50	
第391図15	磁器	青花皿		11.2	3.6	2.8	B64区52	
第391図16	陶器	碗			4.9		B64区33	
第391図17	磁器	青磁碗			5.4		B64区46	
第391図18	陶器	碗			4.8		B64区4	
第391図19	磁器	白磁小杯			2.8		B64区24	
第391図20	陶器	長頸瓶	備前	5.9			B64区34	
第391図21	陶器	長頸瓶	備前	3.5			B64区25	
第391図22	陶器	皿	蔡南三彩				B64区5	
第392図1	陶器	漆鉢	備前	30.0			B64区6	
第392図2	土師質	土鉢	在地	5.0	1.0	5.3g	B64区20cm	
第392図3	土師質	土鉢	在地	4.7	1.5	1.5g	B64区	
第392図4	土師質	土鉢	在地	4.4	1.0	4.8g	B64区	
第392図5	土師質	紡錘車		4.2	4.1	1.4	B64区45	12.4g
第392図6	土師器	メンコ		2.7	2.7	0.6	B64区	土器片加工品。 5.7g
第392図7	土師器	メンコ		2.4	2.4	0.5	B64区上層	土器片加工品。 4.1g
第392図8	銅製品	鍔		7.2	7.7	0.2	B64区65	40.6g
第392図9	鉄製品	火打金		2.6	7.5	0.4	B64区	14.7g
第392図10	ガラス	玉		0.3	0.2		B64区	
第392図11	ガラス	玉		1.4	1.3	3.3g	B64区3	
第392図12	銅製品	目貫		3.0	0.2	2.8g	B64区2	
第392図13	銅製品			6.4	0.4	2.5g	B64区67	
第392図14	銅製品	小柄		6.4	1.2	0.5	B64区32	
第392図15	石製品	下白	和泉砂岩				B64区49	
第393図1	在地系土師器	皿	在地	11.9	6.1	2.7	C63区	
第393図2	京都系土師器	皿	在地	13.2		2.3	C62-63区	1層
第393図3	京都系土師器	皿	在地	12.6		2.9	C63区39	
第393図4	京都系土師器	皿	在地	10.2		2.1	C63区21	
第393図5	京都系土師器	皿	在地	7.8		1.9	C63区	煤付着
第393図6	磁器	青花碗					C63区15cm	
第393図7	磁器	染付碗	肥前?				C63区5cm	

府内町跡41次調査区遺物観察表31

探区No.	器種	生産地	法量(単位cm)			遺跡名	備考(跡は他遺構にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(幅)	高さ(厚)			
第393区8	磁器	青花皿	13.2			C63区21		
第393区9	磁器	青花皿		6.6		C63-64区		
第393区10	磁器	青磁碗		8.0		C63区26		
第393区11	磁器	青磁碗	館泉窯	5.7		C63区32		
第393区12	陶器	清緑皿	唐津	4.2		C63区	砂日積み	
第393区13	陶器	天目碗	瀬戸美濃	10.0		C63区		
第393区14	陶器	景徳彩水注	景南三彩			C63区43		
第393区15	陶器	菊花皿	景南三彩	7.8		C63区1層		
第393区16	陶器	菊花皿	華南三彩			C63区表採		
第393区17	銅製品	小柄	9.1	1.2	0.4	C63区1層	19.3g	
第393区18	鉄製品	刀子	18.9	1.0	0.2	C63区7	51.2g	
第393区19	鉄製品		22.1		0.5	C63区	1層、52.7g	
第393区20	土師質	土鉢	在地	3.7	1.2	3.6g	C63区10cm	
第393区21	土師質	土鉢	在地	3.3	1.2	4.2g	C63区20cm	
第393区22	土師質	土鉢	在地	5.1	1.1	5.2g	C63区1層	
第393区23	土師質	土鉢	在地	3.8	1.5	7.8g	C63区1層	
第393区24	土師器	メノコ	在地	2.5	0.8	4.3g	C63区	土器片加工品、地山直上
第394区1	陶器	播鉢	備前	28.4			C63区12	
第394区2	陶器	播鉢	備前	23.0		4.9	C63区	
第394区3	陶器	播鉢	備前	18.4		9.4	C63区63	
第394区4	陶器	鉢	備前				C63区40cm	
第395区1	在地系土師器	皿	在地	11.5	6.6	2.9	C64区	
第395区2	在地系土師器	皿	在地	7.7	6.4	1.3	C64区	地山直上10cm出土
第395区3	京都系土師器	皿	在地	12.1		2.0	C64区28	
第395区4	京都系土師器	皿	在地	13.4		2.3	C64区	道路面。
第395区5	京都系土師器	皿	在地	10.8			C64区	煤片着
第395区6	京都系土師器	皿	在地	8.0		2.0	C64区28	
第395区7	京都系土師器	皿	在地	4.6		1.4	C64区	
第395区8	京都系土師器	小皿	在地	4.5		1.6	C64区	
第395区9	磁器	青花皿	景徳鎮		6		C64区23	
第395区10	磁器	青花皿	景徳鎮				C64区19	
第395区11	陶器	モギ皿	常滑		5.6		C64区22	
第395区12	陶器	碗	朝鮮		5.2		C64区6	ねずみ色
第395区13	陶器	播鉢	備前				C64区	地山直上10cm出土
第395区14	瓦質土器	鉢					C64区7	
第395区15	瓦質土器	鉢					C64区	
第395区16	須恵器	壺					C64区	
第395区17	瓦質土器	鉢					C64区	地山直上
第395区18	磁器	白磁碗					C64区14	
第395区19	陶器	壺	磁州窯				C64区9	
第395区20	陶器	菊花皿	華南三彩				C64区	S18の西
第395区21	土師質	土鉢	在地	4.5	1.1	6.9g	C64区	
第395区22	鉄製品	環状		3.1	4.2	0.2	C64区上層	8.6g
第396区1	磁器	青花皿	津州窯		5.3		D62区1	
第396区2	瓦質土器	播鉢			9		D62区2	
第397区1	在地系土師器	皿	在地	11.6	8.8	2.3	D63区33	
第397区2	在地系土師器	皿	在地	7.3	5.7	2	D63区27	
第397区3	在地系土師器	皿	在地	4.8	3.3	1.4	D63区	包含層
第397区4	磁器	青花皿	景徳鎮	11.6	6	2.7	D63区1層	
第397区5	磁器	青花皿	景徳鎮		5		D63区8	
第397区6	磁器	青磁碗					D63区9	
第397区7	土製品	鉢		3.9	3		D63区12	

府内町跡41次調査区遺物観察表32

押部No.	品 種		生産地	法量(単位cm)			遺跡名	備考(網は他遺物にも分布するもの)
				口径(長)	底径(短)	胴径(高)		
第397図8	鉄製品	釘		5.6	1	19.2g	D63区	1層
第397図9	黒色土器	碗		11.2	3.9	4.8	D63区	遺構検出面
第397図10	陶器	擂鉢	備前				D63区16	
第397図11	陶器	擂鉢	備前	22.4			D63区30	
第397図12	陶器	鉢	備前	20.9	14	7.9	D63区14	
第397図13	陶器	擂鉢	備前				D63区10	
第397図14	瓦質土器	鉢		29.2			D63区13	
第397図15	瓦質土器						D63区	1層
第397図16	土師質	土罎	在地	4.1	2	15.3g	D63区	1層
第397図17	土師質	土罎	在地	3.9	1.8	12.9g	D63区	1層
第397図18	土師質	土罎	在地	2.6	1.2	3.3g	D63区	遺構検出面
第398図1	在地系土師器	皿	在地	8.2	6	1.5	D64区8	
第398図2	京都系土師器	皿	在地	12.2	6.6	2.4	D64区	
第398図3	磁器	輪花皿		9.1			D64区	1層
第398図4	瓦器碗	碗		10.1			D64区7	
第398図5	瓦器碗	碗		10.5	3.9	4.8	D64区2	
第398図6	陶器	鉢	備前	10.4	8	7.9	D64区	
第398図7	須恵器	こね鉢	東播磨系				D64区	地山40cm上
第398図8	陶器	擂鉢	備前?	29.8	14.4		D64区12	
第398図9	土師器	メンコ	在地	2.4	2.6	6.6g	D64区	一括
第398図10	土師質	土罎	在地	5.7	2.2	25.6g	D64区	
第398図11	土師質	土罎	在地	6.2	2.1	18.6g	D64区	一括
第400図1	在地系土師器	皿	在地	11.2	8.6	2.3	E63区-35cm	
第400図2	在地系土師器	皿	在地	12.4	8.4	3.8	E63区17	
第400図3	在地系土師器	皿	在地	12.2	8.8	2.8	E63区20	
第400図4	在地系土師器	皿	在地	13.7	9.1	3.1	E63区7	
第400図5	在地系土師器	皿	在地	12.3	8.6	3.8	E63区	
第400図6	在地系土師器	皿	在地	12.8	7	2.7	E63区	一括
第400図7	在地系土師器	皿	在地	10.2	6	2.1	E63区20	煤付着
第400図8	在地系土師器	皿	在地	9.2	5.5	2.2	E63区-35cm	
第400図9	在地系土師器	皿	在地	8	4.7	2	E63区27	
第400図10	在地系土師器	皿	在地	5.3	3.5	1.3	E63区25	
第400図11	在地系土師器	皿	在地	7.6	7	1.5	E63区-20cm	煤付着
第400図12	在地系土師器	皿	在地	7.5	7	1.3	E63区-35cm	
第400図13	磁器	青花碗	澤州窯		5		E63区	1層
第400図14	磁器	青磁皿		14	6.2	3.4	E63区8	輪花皿。15世紀
第400図15	磁器	青花皿					E63区	1層
第400図16	磁器	五彩碗			6.4		E63区上層	
第401図1	陶器	鉢	備前	23.1	12.7	6.2	E63区30	
第401図2	瓦質土器	甕		24			E63区3	
第401図3	瓦質土器	火鉢		36	32.2	12.9	E63区15	
第401図4	瓦質土器	火鉢	在地	34.6			E63区4	
第401図5	石製品	鍋		19			E63区	地山直上
第402図1	京都系土師器	皿	在地	12.3		2.8	E63区14	
第402図2	京都系土師器	皿	在地	10.8		2.1	E63区19	
第402図3	京都系土師器	皿	在地	10.7		2.3	E63区	煤付着
第402図4	京都系土師器	皿	在地	9.4		1.6	E63区-20cm	
第402図5	京都系土師器	皿	在地	8.7		1.8	E63区12	煤付着
第402図6	京都系土師器	皿	在地	8.8		2	E63区28	煤付着
第402図7	京都系土師器	皿	在地	8.7		2.4	E63区-25cm	煤付着
第402図8	京都系土師器	皿	在地	8	3	1.8	E63区-30cm	
第402図9	磁器	青花皿		10.8			E62区1	

府内町跡41次調査区遺物観察表33

調査No.	器 種		生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考(副遺構にも分布するもの)
				口径(長)	底径(幅)	高さ(厚)		
第402図10	土師質	土罐	在地	6.3	1.1	4.8g	E63区	1層
第402図11	土師質	土罐	在地	6.6	2.6	29.8g	E63区	1層
第402図12	鉄製品	釘		4.8	0.5	4.2g	F63区-25cm	
第402図13	鉄製品	釘		4.1	0.5	3.3g	E63区-25cm	
第402図14	銅製品	煙管		3.6	1.2	3.6g	E63区	1層
第402図15	弥生土器	壺	在地				E63区29	
第402図16	石製品	硯		5.1	2.8	0.9	E63区-30cm	
第402図17	ガラス	玉		0.65	0.55		E63区	
第402図18	鉄製品	鉄滓		7.2	6.2	2.7	E63区-25cm	144.9g
第399図12	在地系土師器	皿	在地	16.6	12.4	4.1	E64区6	
第399図13	在地系土師器	皿	在地	13.2	10.5	2.9	E64区2	
第399図14	在地系土師器	皿	在地	13.2	10.3	3.1	E64区	
第399図15	在地系土師器	皿	在地	12.6	9	3.1	E64区3	
第399図16	在地系土師器	皿	在地	8.8	5.8	1.4	E64区	
第399図17	京都系土師器	皿	在地	9.6		2.5	E64区	
第399図18	瓦	垂木先瓦				1.1	E64区	1層
第399図19	土師質	土罐	在地	5.5	1.5	10.7g	E64区	
第399図20	土師質	土罐	在地	3.8	1.1	4.2g	E64区	
第399図22	土師質	土罐	在地	5.4	1.1	4.9g	E64区	
第403図1	在地系土師器	皿	在地	12.9	9.7	3.6	F63区	
第403図2	在地系土師器	皿	在地	12.9	4.1	8.7	F63区	地山直上
第403図3	在地系土師器	皿	在地	13.3	6.9	2.4	F63区26	
第403図4	在地系土師器	皿	在地	9.4	6.2	1.8	F63区11	
第403図5	在地系土師器	皿	在地	10.6	7.4	1.8	F63区	地山直上
第403図6	在地系土師器	皿	在地		6.8		F63区	地山直上
第403図7	在地系土師器	皿	在地	8.2	6.9	1.6	F63区	地山直上
第403図8	京都系土師器	皿	在地	12.6		2.4	F63区-20cm	
第403図9	京都系土師器	皿	在地	8.8		2.4	F63区9	煤付着
第403図10	陶器	甕	常滑				F63区	地山直上
第403図11	磁器	白磁皿		13.9	6.7	2.6	F63区21	
第403図12	陶器	皿	雷前				F63区	地山直上
第403図13	瓦質土器	鉢		31	19.4	9.4	F63区4	
第403図14	陶器	天目碗	瀬戸美濃				F63区	
第403図15	瓦質土器	鉢		14.8			F63区	マイナス25~32cm
第403図16	土師質	土罐	在地	3.3	2	14.8g	F63区	地山直上
第403図17	土師質	土罐	在地	5.1	1.5	11.8g	F63区	マイナス25~32cm
第404図18	銅製品	煙管		0.9	1.4	0.2	F63区22	
第404図19	鉄製品	環状		5	0.7	51.6g	F63区7	
第404図20	鉄製品	刀子		1.5	0.2	27.1g	F63区	マイナス25~20cm
第404図21	弥生土器	壺	在地				F63区	地山直上
第404図22	ガラス	玉		1.1	1.1	1.6g	F63区	緑色
第405図1	在地系土師器	皿	在地	12.7	10.1	2.8	F64区3	
第405図2	在地系土師器	皿	在地	7.9	6.4	1.1	F64区	上層
第405図3	在地系土師器	皿	在地	12	7.8	3.5	F64区	地山直上
第405図4	瓦質土器						F64区2	
第405図5	弥生土器	甕	在地				F64区	上層
第405図6	陶器	甕	常滑				F64区5	
第405図7	土師質	土罐	在地	3.7	1.7	12.2g	F64区-5cm	
第374図1	在地系土師器	皿	在地	13	8.2	3.9	T60F2	
第374図2	陶器	甕	常滑				T60区1	
第374図3	土師質	土罐状	在地	3.6	1.3	3.8g	TUV60区	
第374図4	瓦質土器	鉢					V60F2	

府内町跡41次調査区遺物観察表34

神田No.	品 種		生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考 (副は地遺構にも分布するもの)
				口径(長)	底径(幅)	高(厚)		
第374図5	石製品	下臼	安山岩	33	31	6.6	V60区2	
第374図1	陶器	甕	備前				W61区5cm	
第374図2	土師質	土罐	在地	3.4	1.2	4.5g	W64区20cm	
第374図3	土師質	土罐	在地	5	1	5.4g	W64区	
第374図4	土師器	皿	在地			6	W61区3	
第374図5	瓦質土器	鉢					W61区第1面	
第374図6	瓦質土器	鉢					W63区	検出面
第374図12	在地系土師器	皿	在地	12.2	8.5	4.5	W66区3	
第374図13	在地系土師器	皿	在地	11.9	6.8	2.7	W65区2	
第374図14	磁器	青磁碗				5.2	W65区15	
第375図1	在地系土師器	皿	在地	10	5.8	2.2	X61-62区	
第375図2	在地系土師器	皿	在地	12.4	7.7	4	X62区1	
第375図3	在地系土師器	皿	在地	11.1	7.4	3.4	X63区地山上	
第375図4	在地系土師器	皿	在地	8.3	5.3	2.1	X63区1	
第375図5	京都系土師器	皿	在地	13.4	6.9	2.1	X63区上	
第375図6	京都系土師器	皿	在地	9		2	X63区	
第375図7	瓦質土器	鉢		33	18.2	12.4	X61区3	
第375図8	京都系土師器	皿	在地	13.4		2.4	X61区4	
第375図9	土師器	甕		6.2		4.3	X61区3	
第375図10	陶器	甕	備前				X62区-10cm	
第375図11	陶器	鉢	備前				X62区-10cm	
第375図12	瓦	軒丸瓦					X62区-5cm	
第375図13	土師質	土罐	在地	2.7	0.9	2.2g	X62区	
第375図14	銅製品	環状		2.8	0.4	7.1g	X62区表層	
第375図15	弥生土器	壺	在地			5.5	X62区	
第375図16	土師器	高杯	在地			5.2	X62区3	
第375図17	磁器	青磁碗				5.2	X62区	
第375図18	磁器	青花碗		10			X63区	
第375図19	磁器	青花碗					X63区-5cm	
第375図20	陶器	瓶	華南三彩				X64区-15cm	
第375図21	瓦質土器	甕					X64区-15cm	
第375図22	在地系土師器	皿	在地	8.2	4.5	1.6	X64区-5cm	
第375図23	京都系土師器	皿	在地	4.3	4.5	1.6	X64区-10cm	
第375図24	陶器	甕	備前				X64区3	
第375図25	須恵器	高杯					X64区1	
第375図26	土師質	土罐	在地	3.9	1	3.1g	X63区	S84・S103の間
第375図27	土師質	土罐	在地	4.7	1.1	5.1g	X63区上層	
第375図28	土師質	土罐	在地	4.7	2.4	13.5g	X63区上層	
第375図29	陶器	罐鉢	備前	15.8			X64区上層	
第375図30	土師器	高杯	在地				X64区2	古墳時代
第375図31	土師質	土罐	在地	4.1	1.2	5.8g	X64区-15cm	
第375図32	土師質	土罐	在地	3.9	1.5	8.3g	X64区-15cm	
第375図33	土師質	土罐	在地	3	1.9	4.2g	X64区105	
第377図1	在地系土師器	皿	在地		4.9		Y63区-5cm	
第377図2	京都系土師器	皿	在地	10.4		1.9	Y63区9	
第377図3	京都系土師器	皿	在地	12.4			Y63区18	
第377図4	京都系土師器	皿	在地	12.5		2.7	Y63区28	
第377図5	京都系土師器	皿	在地	9.8		2	Y63区	
第377図6	京都系土師器	皿	在地	12.9		2.7	Y63区29	
第377図7	京都系土師器	皿	在地	10.8			Y63区41	
第377図8	京都系土師器	皿	在地	10		2.3	Y63区30	
第377図9	京都系土師器	皿	在地	9		2	Y63区4	

府内町跡14次調査区遺物観察表35

種別No.	器種	生源地	法量(単位cm)			遺構名	備考(同じ地遺構にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(幅)	胴径(高さ)			
第377図10	京都系土師器	皿	在地			Y63区11		
第377図11	京都系土師器	皿	在地	8.9		1.9	Y63区-5cm	
第377図12	陶器	大目碗	瀬戸美濃		4.2		Y63区	
第377図13	磁器	青磁碗			6		Y63区37	
第377図14	磁器	青花皿		13.6	7.6	2.8	Y63区31	
第377図15	磁器	青花碗		12			Y63区-5cm	
第377図16	磁器	青花皿			5.4		Y63区8	
第377図17	磁器	青花碗			4.9		Y63区28	
第377図18	瓦質土器	鉢		31			Y63区1-3-22	
第377図19	瓦質土器	甕		36			Y63区59	
第377図20	土師質	土罐	在地	3	1.2	4.1g	Y63区-5cm	
第377図21	土師質	土罐	在地	4.3	2.5	21.5g	Y63区山5cm	
第377図22	土師器	メンコ	在地	3.1	0.8	9.6g	Y63区-5cm	土器片加工品
第377図23	土師器	メンコ	在地	3.2	0.6	8.5g	Y63区-5cm	土器片加工品
第377図24	土師器	メンコ	在地	4.2	1.3	9.5g	Y63区75cm	土器片加工品
第377図25	土師質	土罐	在地	4.2	1.5	9.2g	Y63区	
第376図1	石製品	砥石		9.8	4.6	1.5	Y63区38	104.1g
第376図2	石製品	砥石		17.2	5.4	2	Y63区直上	289.7g
第376図3	石製品	F臼	安山岩			10.4	Y63区23	
第376図4	石製品	砥石		5.6	3.3	1.1	Y63区山5cm	35.4g
第376図5	銅製品	小柄		4.1	1.3	0.4	Y63区山5cm	6.4g
第376図6	ガラス	玉		0.5	0.5		Y63区60	緑色
第376図7	ガラス	玉		0.5	0.3		Y63区7	緑色
第376図8	ガラス	玉		2.3	2.3	0.6	Y63区-5cm	5.3g
第378図1	在地系土師器	皿	在地	10	5.6	2.3	Y64区48	
第378図2	京都系土師器	皿	在地	14		2.4	Y64区21	
第378図3	京都系土師器	皿	在地	12.4		2.9	Y64区7	
第378図4	京都系土師器	皿	在地	9		1.9	Y64区8	
第378図5	土師器	メンコ	在地	4.3	4.2	21.4g	Y64区35cm	土器片加工品
第378図6	土師質	土罐	在地	2.6	0.8	1.5g	Y64区-35cm	
第378図7	土師質	土罐	在地	4.6	1.6	11.2g	Y64区-15cm	
第378図8	土師質	土罐	在地	4.2	1.2	6.3g	Y64区-35cm	
第378図9	磁器	青花皿		10			Y64区-20cm	
第378図10	磁器	青花皿		9.4	5.4	2	Y64区	
第378図11	磁器	青花皿				7.6	Y64区-30cm	
第378図12	磁器	青花碗				4.4	Y64区27	
第378図13	磁器	青花碗					Y64区18	
第378図14	磁器	青磁碗					Y64区-35cm	
第378図15	陶器	部物	新南三彩	5.2	4.8		Y64区36	他にS111にも
第378図16	陶器	鉢	新南三彩				Y63-64区	
第378図17	陶器	壺	新南三彩	4			Y64区-20cm	
第378図18	石製品	砥石	結晶片岩	9.8	5.2	4.2	Y64区-20cm	319.4g
第378図19	ガラス	玉		0.8	0.8	1.2g	Y64区-25cm	
第378図20	瓦生土器	高杯	在地				Y64区-18	
第378図21	銅製品	煙管		1.4		0.8g	Y64区18	
第379図1	在地系土師器	皿	在地	12	9.8	3.3	Y62区10	
第379図2	陶器	甕	備前				Y62-63区	
第379図3	陶器	漆鉢	備前	31.5			Y62区-25cm	
第379図4	瓦質土器	メンコ		4.1	4.1	26.2g	Y区東壁	
第379図5	銅製品	小柄		3	1.2	0.6	Y区東壁2層	5.5g
第381図1	京都系土師器	皿	在地	14.5		3	Z63区32	
第381図2	京都系土師器	皿	在地	10.7		2.5	Z63区山直上	

府内町跡41次調査区遺物観察表36

序号No.	器種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考(副は他遺構にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(短)	高さ(長)			
第381図3	京都系土師器	皿	在地	12.4		Z63区13		
第381図4	京都系土師器	皿	在地	8.9		Z63区52		
第381図5	京都系土師器	皿	在地	11.8		Z63区30cm		
第381図6	京都系土師器	皿	在地	12.2		Z63区31		
第381図7	京都系土師器	皿	在地	8.1		Z63区一括	煤付着	
第381図8	京都系土師器	皿	在地	5		Z63区一括		
第381図9	瓦質	碗		4.5		Z63区		
第381図10	磁器	青花皿	呉徳鎮	5.5		Z63区9		
第381図11	磁器	青花碗		6.2		Z63区8		
第381図12	磁器	青花碗		6.7		Z63区47		
第381図13	磁器	青花碗	景徳鎮			Z63区10		
第381図14	陶器	長頸瓶	備前	5.6		Z63区-15cm		
第381図15	陶器	梅花皿	華南三彩			Z63区30cm		
第381図16	陶器	梅花皿	華南三彩			Z63区		
第381図17	磁器	五彩				Z63区-30cm		
第381図18	磁器	青磁碗				Z63区35		
第381図19	磁器	白磁皿		13.4	7.2	2.4	Z63区2	
第381図20	磁器	白磁皿		12.4	7.3	2.1	Z63区	
第381図21	磁器	青磁碗		13.2	5.7	5.3	Z63区34	
第381図22	陶器	小皿	中国	9.4	4	2.3	Z63区-30cm	
第381図23	瓦質土器	脚					Z63区-30cm	
第381図24				1.9		0.5	Z63区	
第381図25	石製品	上臼	和泉砂岩	19.4			Z63区44	
第381図26	石製品	下臼	凝灰岩				Z63区	
第381図27	土師器	メンコ	在地	3	3	6.8g	Z63区35cm	
第381図28	土師器	メンコ	在地	3.5	3.6	15.6g	Z63区	
第381図29	土師器	メンコ	在地	2.6	2.5	6.5g	Z63区-10cm	
第381図30	土師器	メンコ	在地	5.3	5.1	1	Z63区-5cm	32.8g
第382図1	銅製品	杓子		8.8		2.7	Z63区27	171.2g
第382図2	銅製品	容器		5.1	0.1	13.3g	Z63区1	
第382図3	銅製品	棒		10.1	1.4	24.0g	Z63区5	
第382図4	瓦	丸瓦		10.8	8.5	2.1	Z63区51	
第382図5	土師質	土鏝	在地	2.8	0.8	1.6g	Z63区-20cm	
第382図6	土師質	土鏝	在地	3.6	0.7	1.9g	Z63区-35cm	
第382図7	土師質	土鏝	在地	5	1.2	7.0g	Z63区-5cm	
第382図8	土師質	土鏝	在地	3.7	1.2	5.4	Z63区-5cm	
第382図9	土師質	土鏝	在地	4	1.1	4.1g	Z63区20cm	
第382図10	土師質	土鏝	在地	4.5	2.4	25.5g	Z63区-15cm	
第382図11	土師質	土鏝	在地	4.2	2.5	26.2g	Z63区-10cm	
第382図12	土師質	土鏝	在地	4.1	2	13.8g	Z63区-30cm	
第382図13	土師質	土鏝	在地	4.5	2.3	21.3g	Z63区攪乱	
第382図14	土師質	土鏝	在地	4.6	2.6	15.3g	Z63区-30cm	
第382図15	瓦	腰振瓦					Z63区38	
第382図16	瓦質	専		10	8.4	3.1	Z63区48	
第380図1	在地系土師器	皿	在地	12	7.8	1.3	Z64区5	
第380図2	京都系土師器	皿	在地	12.6		2.4	Z64区	
第380図3	京都系土師器	皿	在地	12			Z64区供十層	
第380図4	京都系土師器	皿	在地	9.3		1.9	Z64区	
第380図5	京都系土師器	皿	在地	10.7		2.1	Z64区	
第380図6	磁器	青花碗		14	3.4	5.7	Z64区	
第380図7	磁器	青花皿	津州産	10.9			Z64区41	
第380図8	磁器	白磁皿		5			Z64区42	

府内町跡41次調査区遺物観察表37

押収No.	器 種	生産地	法量(単位cm)			遺構名	備考(網は他遺構にも分布するもの)	
			口径(長)	底径(幅)	高(厚)			
第380図9	磁器	白磁陶			4	Z64区-30cm		
第380図10	磁器	白磁蓋			6.6	Z64区		
第380図11	磁器	青花碗	景徳鎮			Z64区51		
第380図12	陶器	鳥形水注	華南二彩			Z64区35		
第380図13	陶器	甕				Z64区-8cm	網描き紋	
第380図14	瓦	メンコ		5.3	5	1.9	Z64区34	破片加工品。58.1g
第380図15	土師質	土師	在地	5.1	1.2	8.8g	Z64区	
第380図16	土師質	土師	在地	4	1.3	5.0g	Z64区	
第380図17	土師質	土師	在地	4.1	1.4	7.9g	Z64区-8cm	
第380図18	土師質	土師	在地	4	2.6	25.2g	Z64区-35cm	
第380図19	土師質	土師	在地	4.7	1.9	18.4g	Z64区	
第380図20	土師質	土師	在地	4.1	2.5	24.1g	Z64区	
第380図21	銅製品	はばき		2	3.6	10.5g	Z64区-21cm	
第380図22	鉄製品	釘		6.1	0.5	8.7g	Z64区東側	
第380図23	銅製品			3.7	0.2	2.4g	Z64区-35cm	
第380図24	瓦質土器	火鉢					Z64区37	
第380図25	陶器	碗					Z61区32	
第380図26	土師器	メンコ	在地	2.6	2.3	0.7	Z62区	4.4g
第380図27	瓦質土器	火鉢		29.8			No.3	
第380図28	陶器	甕	備前?					表面採集
第406図1	在地系土師器	皿	在地	11.6	4.7	2.8		表面採集
第406図2	在地系土師器	皿	在地	8.6	7	1.2		表面採集
第406図3	在地系土師器	皿	在地	8.6	5.7	2		表面採集
第406図4	京都系土師器	皿	在地	15.2		2.9		表面採集
第406図5	在地系土師器	皿	在地	8.6		1.8		表面採集
第406図6	土師器	燗台	在地	7.2	7.3	6.5		表面採集
第406図7	陶器	甕	備前?	11.6				表面採集
第406図8	瓦質土器	碗		10.8	4.6	4.4		表面採集
第406図9	磁器	青磁皿				7.8		表面採集
第406図10	土師器	碗				5		表面採集
第406図11	陶器	燗鉢	備前?					表面採集
第406図12	ガラス	玉		0.5	0.3			表面採集
第406図13	ガラス	玉		0.8	0.6			表面採集
第406図14	銅製品	鐘		3	2.5	69.1g		表面採集
第406図15	銅製品	鐘		10.9	0.9	23.6g		表面採集
第406図16	銅製品			4.5	1.3	5.3g		表面採集
第406図17	鉄製品			41.8	0.5	62.6g		表面採集
第406図18	土師器	メンコ	在地	2.9	2.7	1		表面採集
第406図19	石製品	紡錘車	凝灰岩	6	5.9	2.2		表面採集
第406図20	石製品	紡錘車	凝灰岩	3.6	3.6	1.3		表面採集
第406図21	土師質	土師	在地	4.1	0.9	3.9g		表面採集
第406図22	土師質	土師	在地	4.9	1.2	5.7g		表面採集
第406図23	土師質	土師	在地	5.4	1	5.6g		表面採集
第407図1	鉛製品	メダイ					A63区	標高5.101m、SP30の北
第407図2	鉛製品	メダイ		2.3		1.68	SK5	11.2g
第407図3	青銅製品	柄杓						
第407図4	青銅製品	棒					A63区	
第407図5	土製品	鉛						